

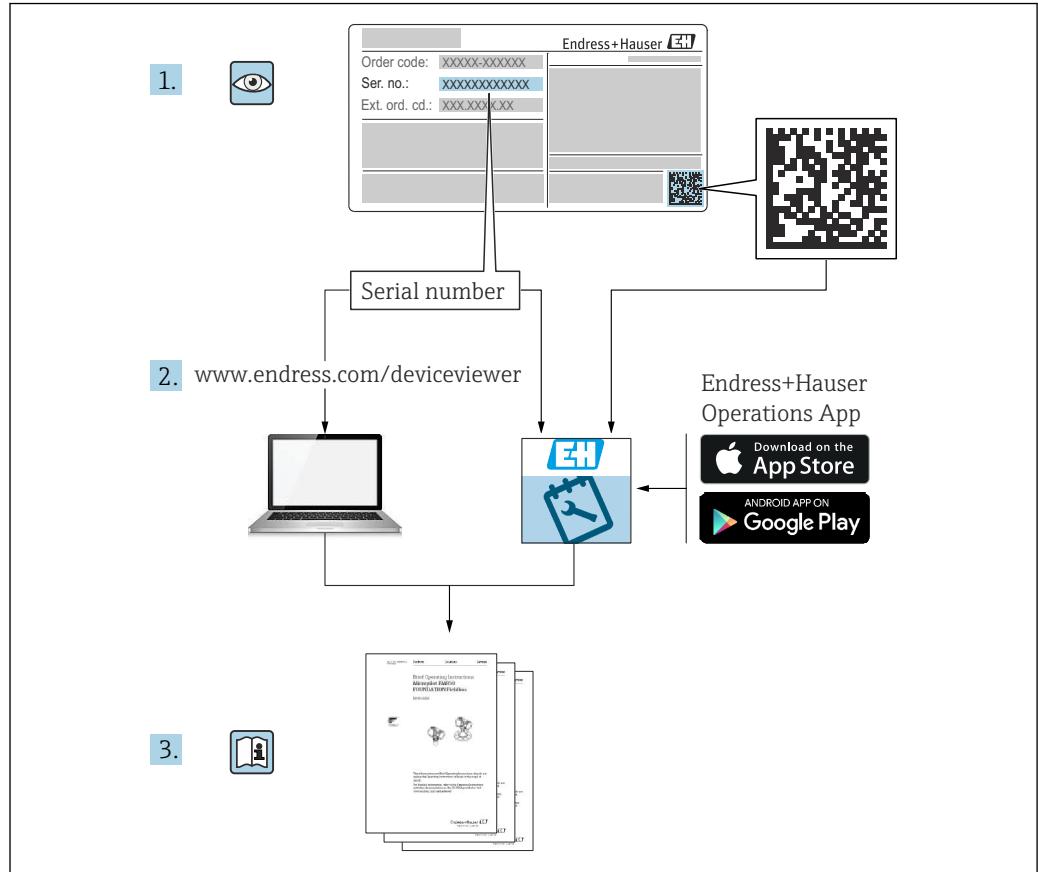
# 取扱説明書

## Micropilot FMR62B

### PROFINET (Ethernet-APL 対応)

非接触マイクロウェーブ式





A0023555

- 本書は、本機器で作業する場合にいつでもすぐに手に取れる安全な場所に保管してください。
- 要員やプラントが危険にさらされないよう、「安全上の基本注意事項」セクション、ならびに作業手順に関して本書に規定されている、その他の安全上の注意事項をすべて熟読してください。

弊社は、事前の予告なしに技術仕様を変更する権利を有するものとします。本書に関する最新情報および更新内容については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

## 目次

<b>1</b>	<b>本説明書について</b> .....	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>電気接続</b> .....	<b>23</b>
1.1	本説明書の目的 .....	5	6.1	接続要件 .....	23
1.2	シンボル .....	5	6.1.1	固定ねじ付きカバー .....	23
1.2.1	安全シンボル .....	5	6.1.2	電位平衡 .....	23
1.2.2	特定の情報や図に関するシンボル .....	5	6.2	機器の接続 .....	24
1.3	略語リスト .....	6	6.2.1	電源電圧 .....	24
1.4	関連資料 .....	6	6.2.2	ケーブル仕様 .....	24
1.5	登録商標 .....	6	6.2.3	過電圧保護 .....	25
<b>2</b>	<b>安全上の基本注意事項</b> .....	<b>8</b>	6.2.4	配線 .....	26
2.1	要員の要件 .....	8	6.2.5	端子の割当て .....	26
2.2	指定用途 .....	8	6.2.6	電線口 .....	27
2.3	労働安全 .....	8	6.2.7	使用可能な機器プラグ .....	28
2.4	操作上の安全性 .....	9	6.3	保護等級の保証 .....	28
2.5	製品の安全性 .....	9	6.3.1	電線管接続口 .....	28
2.6	IT セキュリティ .....	9	6.4	配線状況の確認 .....	29
2.7	機器固有の IT セキュリティ .....	9	<b>7</b>	<b>操作オプション</b> .....	<b>30</b>
2.7.1	パスワードによるアクセス保護 .....	10	7.1	操作オプションの概要 .....	30
2.7.2	Web サーバー経由のアクセス .....	10	7.2	エレクトロニックインサート上の操作キー および DIP スイッチ .....	30
<b>3</b>	<b>製品説明</b> .....	<b>11</b>	7.3	操作メニューの構成と機能 .....	30
3.1	製品構成 .....	11	7.3.1	ユーザーの役割と関連するアクセ ス権 .....	30
<b>4</b>	<b>受入検査および製品識別表示</b> .....	<b>12</b>	7.4	現場表示器を使用した操作メニューへのア クセス .....	31
4.1	納品内容確認 .....	12	7.4.1	機器ディスプレイ (オプション) ..	31
4.2	製品識別表示 .....	12	7.4.2	Bluetooth® ワイヤレス技術を介し た操作 (オプション) .....	31
4.2.1	銘板 .....	12	7.5	ウェブブラウザを使用した操作メニューへ のアクセス .....	33
4.2.2	製造者所在地 .....	13	7.5.1	機能範囲 .....	33
4.3	保管および輸送 .....	13	7.5.2	必須条件 .....	33
4.3.1	保管条件 .....	13	7.5.3	接続の確立 .....	34
4.3.2	測定点までの製品の搬送 .....	13	7.5.4	ユーザーインターフェイス .....	35
<b>5</b>	<b>設置</b> .....	<b>14</b>	7.5.5	Web サーバーの無効化 .....	36
5.1	一般的な設置説明 .....	14	7.5.6	ログアウト .....	37
5.2	設置要件 .....	14	7.6	操作ツールによる操作メニューへのアクセ ス .....	37
5.2.1	タンク内設置物 .....	14	7.6.1	操作ツールの接続 .....	38
5.2.2	不要反射の防止 .....	15	7.7	FieldCare .....	39
5.2.3	アンテナ軸の垂直位置の調整 .....	15	7.7.1	機能範囲 .....	39
5.2.4	アンテナ半径方向の角度調整 .....	15	7.8	DeviceCare .....	39
5.2.5	活用できる対策 .....	15	7.8.1	機能範囲 .....	39
5.3	機器の取付け .....	15	<b>8</b>	<b>システム統合</b> .....	<b>40</b>
5.3.1	ホーンアンテナ 65 mm (2.56 in) ..	15	8.1	デバイス記述 (DD) ファイルの概要 .....	40
5.3.2	PTFE ドリップオフアンテナ 50 mm (2 in) .....	16	8.1.1	現在の機器バージョンデータ .....	40
5.3.3	PTFE 外装付フラッシュマウントア ンテナ 50 mm (2 in) .....	17	8.1.2	操作ツール .....	40
5.3.4	PTFE 外装付フラッシュマウントア ンテナ 80 mm (3 in) .....	17	8.2	機器マスターファイル (GSD) .....	40
5.3.5	ハウジングの回転 .....	19	8.2.1	機器マスターファイル (GSD) のフ ァイル名 .....	41
5.3.6	表示モジュールの回転 .....	19	8.3	サイクリックデータ伝送 .....	42
5.3.7	表示モジュールの取付位置の変更 ..	20	8.3.1	モジュールの概要 .....	42
5.3.8	ハウジングカバーの密閉 .....	22	8.3.2	モジュールの説明 .....	42
5.4	設置状況の確認 .....	22			

8.3.3	ステータス符号化	43	12	メンテナンス	61
8.3.4	スタートアップ設定	44	12.1	洗浄	61
8.4	システム冗長 S2	44	12.1.1	非接液部の表面の洗浄	61
			12.1.2	接液部の表面の洗浄	62
<b>9</b>	<b>設定</b>	<b>46</b>	12.2	シール	62
9.1	準備	46	<b>13</b>	<b>修理</b>	<b>63</b>
9.2	設置確認および機能チェック	46	13.1	一般情報	63
9.3	FieldCare および DeviceCare を使用した 設定	46	13.1.1	修理コンセプト	63
9.3.1	PROFINET プロトコル経由	46	13.1.2	防爆認定機器の修理	63
9.3.2	サービスインタフェース (CDI) 経由	46	13.2	スペアパーツ	63
9.3.3	ハードウェア設定	47	13.3	交換	63
9.3.4	ソフトウェアによる通信パラメー タの設定	47	13.3.1	HistoROM	64
9.4	操作言語の設定	47	13.4	返却	64
9.4.1	現場表示器	47	13.5	廃棄	64
9.4.2	操作ツール	48	<b>14</b>	<b>アクセサリ</b>	<b>65</b>
9.4.3	Web サーバー	48	14.1	日除けカバー : SUS 316L 相当、XW112	65
9.5	機器の設定	49	14.2	日除けカバー、プラスチック、XW111	65
9.5.1	液体用レベル計	49	14.3	M12 プラグコネクタ	66
9.5.2	設定ウィザードによる設定	49	14.3.1	M12 ソケット、ケーブル側	66
9.6	エコーカーブの記録	49	14.3.2	M12 ソケット、90 度、ケーブル側	66
9.7	「シミュレーション」 サブメニュー	50	14.3.3	M12 ソケット、100 度、5 m (16 ft) ケーブル	67
<b>10</b>	<b>操作</b>	<b>51</b>	14.4	リモートディスプレイ FHX50B	67
10.1	機器ロック状態の読取り	51	14.5	ガスタイトフィードスルー	69
10.2	測定値の読み取り	51	14.6	Field Xpert SMT70	69
10.3	プロセス条件への機器の適合	51	14.7	DeviceCare SFE100	69
<b>11</b>	<b>診断とトラブルシューティング</b>	<b>52</b>	14.8	FieldCare SFE500	69
11.1	一般トラブルシューティング	52	<b>15</b>	<b>技術データ</b>	<b>70</b>
11.1.1	一般エラー	52	15.1	入力	70
11.2	エラー - SmartBlue 操作	52	15.2	出力	77
11.3	診断メッセージ	53	15.3	環境	79
11.3.1	現場表示器の診断情報	54	15.4	プロセス	94
11.3.2	操作ツール上の診断情報	54	<b>索引</b>	<b>96</b>	
11.3.3	ステータス信号	54			
11.3.4	診断イベントおよびイベントテキ スト	55			
11.4	対処方法呼び出し	55			
11.4.1	グラフィック表示部 (キー付き)	55			
11.4.2	操作メニュー	56			
11.5	診断情報の適合	56			
11.6	診断イベントのリスト	56			
11.7	イベントログブック	58			
11.7.1	イベント履歴	58			
11.7.2	イベントログのフィルタ処理	59			
11.7.3	情報イベントの概要	59			
11.8	機器のリセット	60			
11.8.1	操作ツールを使用したパスワード リセット	60			
11.8.2	操作ツールを使用した 機器リセ ット	60			
11.8.3	エレクトロニックインサートのキ ーによる機器のリセット	60			
11.9	機器情報	61			
11.10	ファームウェアの履歴	61			

# 1 本説明書について

## 1.1 本説明書の目的

本取扱説明書には、機器ライフサイクルの各種段階（製品の識別、納品内容確認、保管、取付け、接続、操作、設定からトラブルシューティング、メンテナンス、廃棄まで）において必要とされるあらゆる情報が記載されています。

## 1.2 シンボル

### 1.2.1 安全シンボル



**危険**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。



**警告**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。



**注意**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。



**注記**

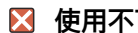
人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。

### 1.2.2 特定の情報や図に関するシンボル



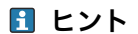
**使用可**

許可された手順、プロセス、動作



**使用不可**

禁止された手順、プロセス、動作



**ヒント**

追加情報を示します。



資料参照



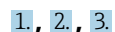
ページ参照



図参照



注意すべき注記または個々のステップ



一連のステップ



操作・設定の結果

**1, 2, 3, ...**

項目番号

**A, B, C, ...**



## 1.3 略語リスト

### MWP

最高動作圧力

MWP は銘板に記載されています。

### $\epsilon_r$ (Dk)

比誘電率

### PLC

プログラマブルロジックコントローラ (PLC)

### CDI

サービスインターフェース

## 1.4 関連資料

 関連する技術資料の概要については、以下を参照してください。

- デバイスビューワー ([www.endress.com/deviceviewer](http://www.endress.com/deviceviewer)) : 銘板のシリアル番号を入力します。
- Endress+Hauser Operations アプリ : 銘板のシリアル番号を入力するか、銘板のマトリクスコードをスキャンしてください。

以下の資料は、機器のバージョンに応じて、当社ウェブサイトのダウンロードエリアから入手できます ([www.endress.com/downloads](http://www.endress.com/downloads))。

ドキュメントタイプ	資料の目的および内容
技術仕様書 (TI)	<b>機器の計画支援</b> 本資料には、機器に関するすべての技術データが記載されており、本機器用に注文可能なアクセサリやその他の製品の概要が示されています。
簡易取扱説明書 (KA)	<b>初回の測定を迅速に行うための手引き</b> 簡易取扱説明書には、受入検査から初期調整までに必要なすべての情報が記載されています。
取扱説明書 (BA)	<b>参考資料</b> 取扱説明書には、機器ライフサイクルの各種段階（製品の識別、受入検査、保管、取付け、接続、操作、設定からトラブルシューティング、メンテナンス、廃棄まで）において必要とされるあらゆる情報が記載されています。
機能説明書 (GP)	<b>使用するパラメータの参考資料</b> この資料には、各パラメータの詳細な説明が記載されています。本説明書は、全ライフサイクルにわたって本機器を使用し、特定の設定を行う人のために用意されたものです。
安全上の注意事項 (XA)	各種認定に応じて、危険場所で電気機器を使用するための安全上の注意事項も機器に付属します。これは、取扱説明書の付随資料です。  機器に対応する安全上の注意事項 (XA) の情報が銘板に明記されています。
機器固有の補足資料 (SD/FY)	関連する補足資料に記載される指示を常に厳守してください。補足資料は、機器資料に付随するものです。

## 1.5 登録商標

### PROFINET®

PROFIBUS User Organization, Karlsruhe, Germany の登録商標です。

### Bluetooth®

Bluetooth® の文字商標とロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、Endress+Hauser は許可を受けてこのマークを使用しています。その他の商標や商品名は、その所有者に帰属します。

**Apple®**

Apple、Apple ロゴ、iPhone、iPod touch は、米国その他各国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

**Android®**

Android、Google Play、Google Play ロゴは Google Inc. の登録商標です。

**KALREZ®、VITON®**

DuPont Performance Elastomers L.L.C., Wilmington, DE USA の登録商標です。

## 2 安全上の基本注意事項

### 2.1 要員の要件

設置、設定、診断、およびメンテナンスを実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受けて、当該任務および作業に関する資格を取得した専門作業員であること。
- ▶ 施設責任者の許可を得ていること。
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること。
- ▶ 作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、ならびに証明書（用途に応じて異なります）の説明を読み、内容を理解しておくこと。
- ▶ 指示に従い、基本条件を遵守すること。

オペレータ要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 施設責任者からその作業に必要な訓練および許可を得ていること。
- ▶ 本資料の説明に従うこと。

### 2.2 指定用途

#### アプリケーションおよび測定物

本書で説明する機器は、液体、ペースト、スラッジの連続した非接触レベル測定に使用することを目的としたものです。動作周波数は約 80 GHz、最大放射ピーク出力は <1.5 mW、平均出力は <70  $\mu$ W です。操作により、人や動物に危険を及ぼすことはありません。

「技術データ」に明記されたりリミット値および取扱説明書やその他の関連文書に記載された条件を遵守した場合に、機器を以下の測定のためのみに使用できます。

- ▶ 測定プロセス変数：レベル、距離、信号強度
- ▶ プロセス変数（計算値）：任意の形状の容器の体積または質量

運転時間中、機器が適切な条件下にあるよう、次の点に注意してください。

- ▶ 本機器は、接液部材質の耐食性を十分に確保できる測定物の測定にのみ使用してください。
- ▶ 「技術データ」のリミット値に従ってください。

#### 不適切な用途

不適切な、あるいは指定用途以外での使用に起因する損傷については、製造者は責任を負いません。

機械的損傷の防止：

- ▶ 硬いものや鋭利なもので機器の表面を触ったり、洗浄したりしないでください。

不明な場合の確認：

- ▶ 特殊な液体および洗浄液に関して、Endress+Hauser では接液部材質の耐食性確認のサポートを提供いたしますが、保証や責任は負いかねます。

#### 残存リスク

電子回路部での発熱に加えてプロセスからの熱伝導により、電子部ハウジングとその中に格納されているアセンブリ（表示モジュール、メイン電子モジュール、I/O 電子モジュールなど）の温度が 80 °C (176 °F) まで上昇する可能性があります。運転中に、センサが測定物の温度に近い温度に達する可能性があります。

表面に接触すると火傷を負う危険があります。

- ▶ 流体温度が高い場合は、接触しないように保護対策を講じて、やけどを防止してください。

### 2.3 労働安全

機器で作業する場合：

- ▶ 各地域/各国の法規制に従って必要な個人用保護具を着用してください。



- ▶ 機器を接続する前に、電源電圧をオフにしてください。

## 2.4 操作上の安全性

機器が損傷する可能性があります。

- ▶ 本機器は、適切な技術条件およびフェールセーフ条件下でのみ操作してください。
- ▶ 施設作業には、機器を支障なく操作できるようにする責任があります。

### 機器の改造

機器を無断で改造することは、予測不可能な危険を引き起こす可能性があるため、禁止されています。

- ▶ 変更が必要な場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

### 修理

操作上の安全性と信頼性を保証するために、以下の点にご注意ください。

- ▶ 機器の修理は、明確に許可された場合にのみ実施してください。
- ▶ 電気機器の修理に関する各地域/各国の規定を遵守してください。
- ▶ 純正のスペアパーツおよびアクセサリのみを使用してください。

## 2.5 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP (Good Engineering Practice) に従って設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。

本機器は一般的な安全基準および法的要件を満たします。また、機器固有の EU 適合宣言に明記された EU 指令にも準拠します。Endress+Hauser は機器に CE マークを添付することにより、機器の適合性を保証します。

## 2.6 IT セキュリティ

取扱説明書の指示に従って製品を設置および使用した場合にのみ、当社の保証は有効です。本製品には、設定が誤って変更されないよう、保護するためのセキュリティ機構が備えられています。

製品および関連するデータ伝送の追加的な保護を提供する IT セキュリティ対策を、事業者自身が自社の安全基準に従って講じる必要があります。

## 2.7 機器固有の IT セキュリティ

本機器はオペレータによる保護対策をサポートする固有の機能を備えます。この機能はユーザー設定が可能であり、適切に使用すると操作の安全性向上が保証されます。最も重要な機能の概要は、次のセクションに示されています。

- ハードウェア書き込み保護スイッチによる書き込み保護
- ユーザーの役割を変更するためのアクセスコード (ディスプレイ、Bluetooth または FieldCare、DeviceCare、アセットマネジメントツール (例: AMS、PDM、Web サーバー) を使用した操作に適用)

機能/インターフェイス	初期設定	推奨
アクセスコード (Web サーバーのログインや FieldCare の接続にも適用)	無効 (0000)	カスタマイズされたアクセスコードを設定中に割り当てる
Web サーバー	有効	リスク評価に従って個別に設定する
サービスインターフェイス (CDI)	有効	リスク評価に従って個別に設定する
ハードウェア書き込み保護スイッチによる書き込み保護	無効	リスク評価に従って個別に設定する

### 2.7.1 パスワードによるアクセス保護

さまざまなパスワードを使用して機器パラメータへの書き込みアクセスを防止できます。

現場表示器、ウェブブラウザ、または操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare）を使用した機器パラメータへの書き込みアクセスを防止します。アクセス権は、ユーザー固有のアクセスコードを使用して明確に管理されます。



#### ユーザー固有のアクセスコード

編集可能なユーザー固有のアクセスコードを使用して、現場表示器、ウェブブラウザ、または操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare）による機器パラメータへの書き込みアクセスを防止できます。

納入時には、機器のアクセスコードは未設定で 0000（オープン）となっています。

#### パスワードの使用に関する一般的な注意事項

- 試運転中に、機器の納入時に使用されたアクセスコードを変更します。
- アクセスコードの設定と管理については、安全なパスワードを生成するための一般規則に従ってください。
- アクセスコードの管理と慎重な取扱いについては、ユーザー側の責任となります。

 詳細については、→  機器のリセットを参照してください。

### 2.7.2 Web サーバー経由のアクセス

本機器には Web サーバーが内蔵されているため、ウェブブラウザおよび PROFINET (Ethernet-APL 対応) を使用して操作および設定が可能です。測定値に加え、機器のステータス情報も表示されるため、機器の状態を監視するために使用できます。また、機器データの管理およびネットワークパラメータの設定が可能です。

PROFINET (Ethernet-APL 対応) 接続には、ネットワークへのアクセスが必要です。


サポートされる機能

操作ユニット（たとえば、ノートパソコンなど）と機器間のデータ交換：

- パラメータ設定のエクスポート（PDF ファイル、測定点設定のドキュメント作成）
- Heartbeat Technology 検証レポートのエクスポート（PDF ファイル、「Heartbeat 検証」アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能）
- システム統合用のドライバダウンロード（GSDML）

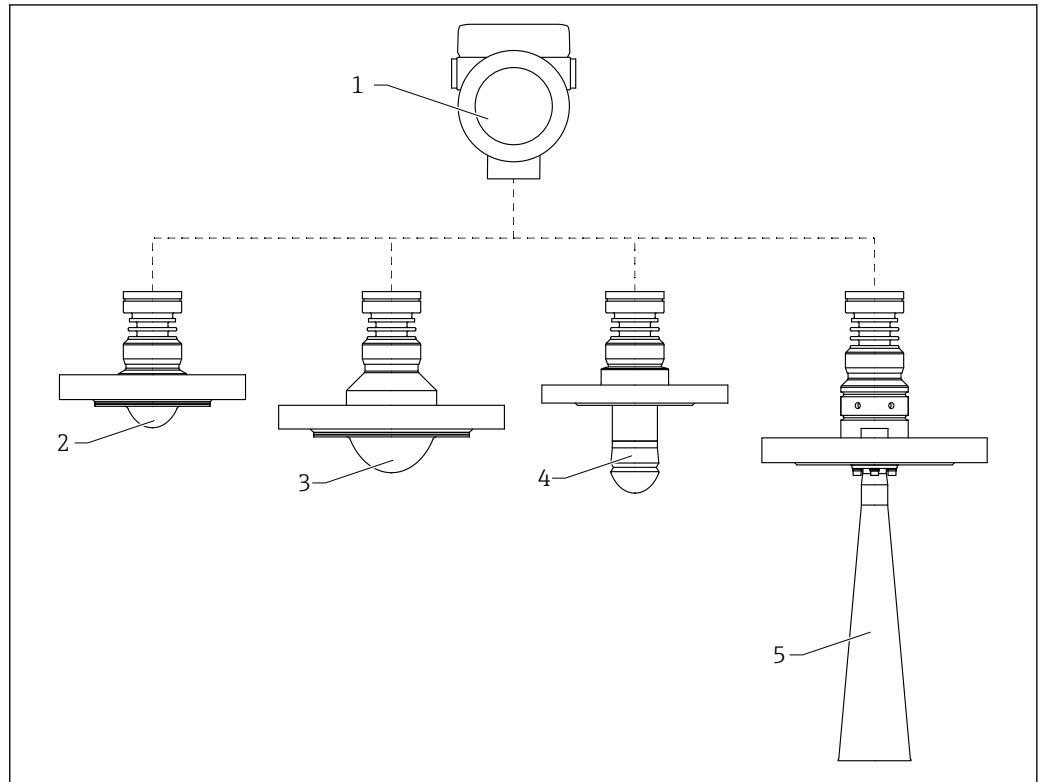
機器の納入時には、Web サーバーが使用可能な状態になっています。必要に応じて（例：設定完了後）、**Web サーバ機能** パラメータを使用して Web サーバーを無効にすることができます。

機器およびステータス情報は、ログインページで非表示にできます。これにより、情報への不正アクセスを防ぐことができます。

 機能説明書

## 3 製品説明

### 3.1 製品構成



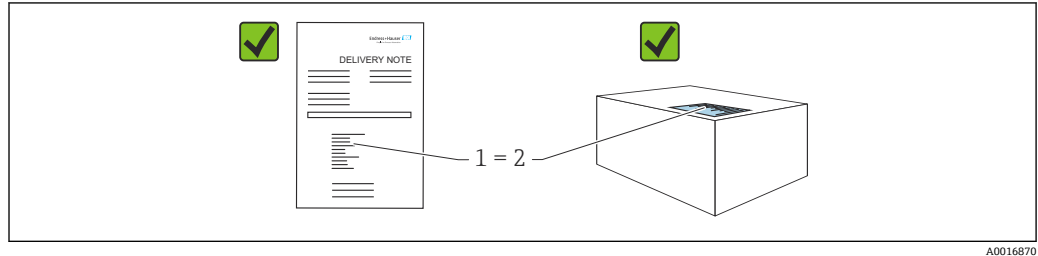
A0046662

図 1 Micropilot FMR62B の構造

- 1 電子部ハウジング
- 2 アンテナ、外装付フラッシュマウント型、PTFE、50 mm (2 in)、フランジ付き
- 3 アンテナ、外装付フラッシュマウント型、PTFE、80 mm (3 in)、フランジ付き
- 4 ドリップオフアンテナ 50 mm (2 in)、フランジ付き
- 5 DN65 ホーンアンテナ、フランジ付き

## 4 受入検査および製品識別表示

### 4.1 納品内容確認



納品内容確認に際して、以下の点をチェックしてください。

- 発送書類のオーダーコード (1) と製品ステッカーのオーダーコード (2) が一致するか？
- 納入品に損傷がないか？
- 銘板のデータがご注文の仕様および発送書類と一致しているか？
- ドキュメントはあるか？
- 必要に応じて (銘板を参照) : 安全上の注意事項 (XA) が提供されているか？

**i** 1 つでも条件が満たされていない場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

### 4.2 製品識別表示

機器を識別するには以下の方法があります。

- 銘板の仕様
- 納品書に記載された拡張オーダーコード (機器仕様コードの明細付き)
- ▶ デバイスビューワー ([www.endress.com/deviceviewer](http://www.endress.com/deviceviewer)) : 銘板のシリアル番号を入力します。
  - ↳ 機器に関するすべての情報が表示されます。
- ▶ Endress+Hauser Operations アプリ : 銘板のシリアル番号を手動入力するか、銘板の 2D マトリクスコードをスキャンしてください。
  - ↳ 機器に関するすべての情報が表示されます。

#### 4.2.1 銘板

正しい機器が納入されていますか？

銘板には機器に関する以下の情報が記載されています。

- 製造者識別、機器名称
- オーダーコード
- 拡張オーダーコード
- シリアル番号
- タグ名 (TAG) (オプション)
- 技術データ、例 : 供給電圧、消費電流、周囲温度、通信関連データ (オプション)
- 保護等級
- 認証 (シンボル付き)
- 安全上の注意事項 (XA) 参照(オプション)
- ▶ 銘板の情報とご注文内容を照合してください。

## 4.2.2 製造者所在地

Endress+Hauser SE+Co. KG  
Hauptstraße 1  
79689 Maulburg, Germany

製造場所：銘板を参照してください。

## 4.3 保管および輸送

### 4.3.1 保管条件

- 当社出荷時の梱包材をご利用ください。
- 機器を清潔で乾燥した環境で保管し、衝撃による損傷から保護してください。

#### 保管温度範囲

技術仕様書を参照してください。

### 4.3.2 測定点までの製品の搬送

#### 警告

#### 不適切な輸送！

ハウジングまたはセンサが損傷したり、外れたりする危険性があります。けがに注意！

- ▶ 機器を測定点に搬送する場合は、出荷時の梱包材を使用するか、プロセス接続部を持ってください。
- ▶ 吊上装置（吊り帯、アイボルトなど）は必ずプロセス接続部に固定し、絶対に電子部ハウジングまたはセンサで持ち上げないでください。機器が意図せずに傾いたり、滑ったりしないよう、機器の重心に注意してください。

## 5 設置

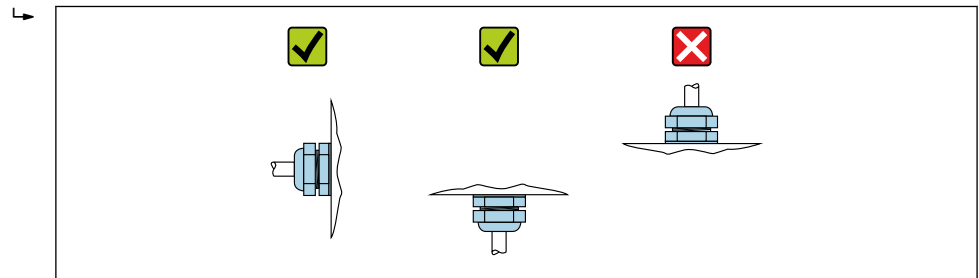
### 5.1 一般的な設置説明

#### ⚠ 警告

機器を湿った環境で開けると保護等級が失われます。

▶ 機器は乾燥した環境でのみ開けてください。

1. 電線管接続口が上を向かないように機器を取り付けるか、ハウジングを回転させます。

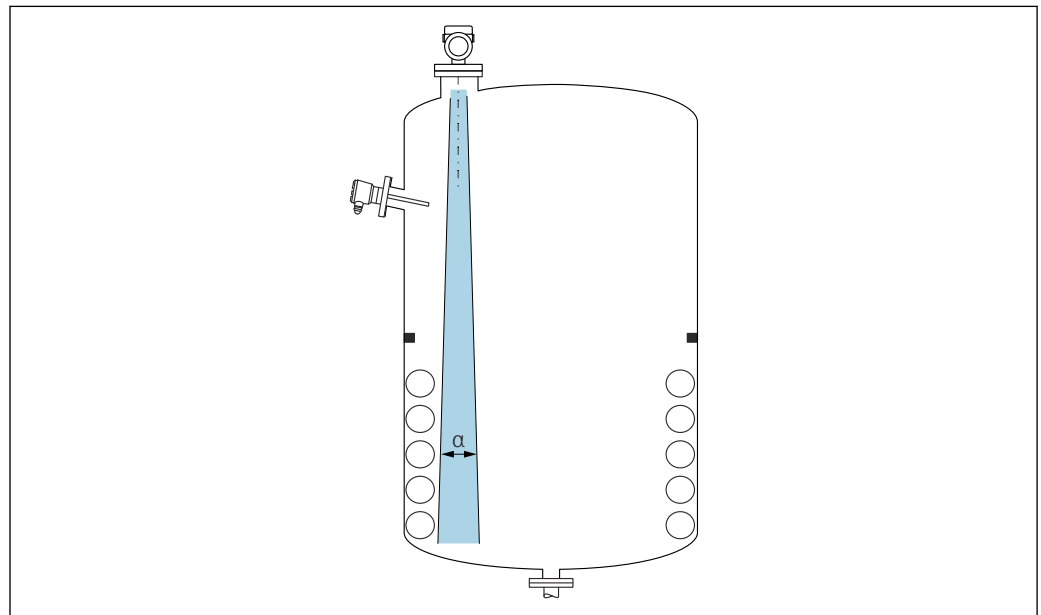


A0029263

2. ハウジングカバーと電線管接続口は常にしっかりと留めつけてください。
3. 電線管接続口を逆に締め付けます。
4. ケーブルの敷設時にはドリップループを設ける必要があります。

### 5.2 設置要件

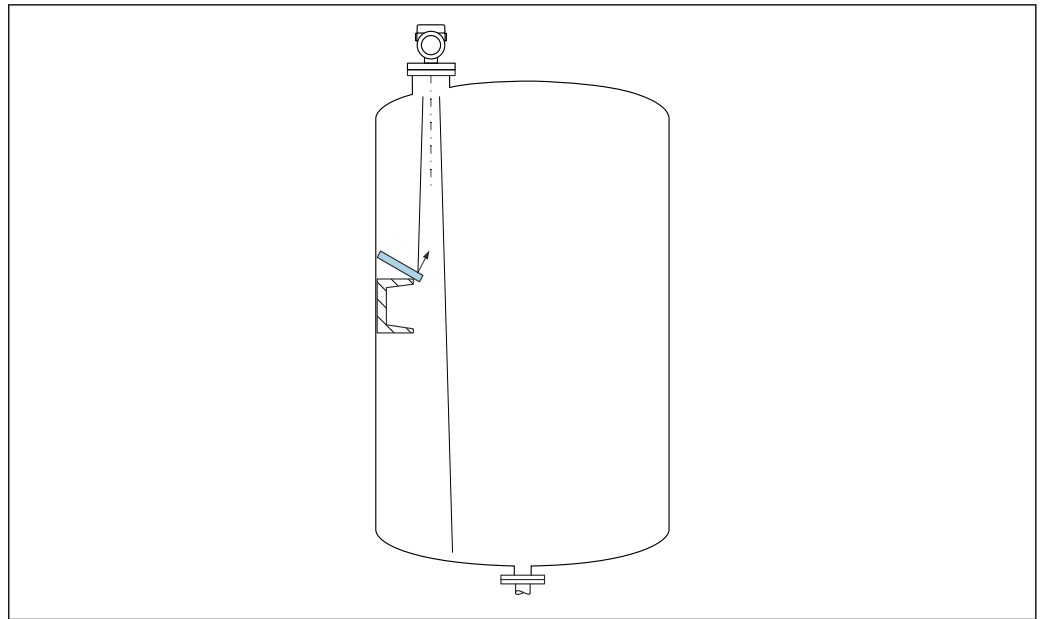
#### 5.2.1 タンク内設置物



A0031777

タンク内設置物（レベルスイッチ、温度センサ、支柱、バキュームリング、ヒーティングコイル、バッフルなど）が信号ビームの内側に入らないようにしてください。ビーム放射角  $\alpha$  に注意してください。

### 5.2.2 不要反射の防止



A0031813

レーダー信号を散乱させるために斜めに設置された金属製偏向板が、不要反射の防止に役立ちます。

### 5.2.3 アンテナ軸の垂直位置の調整

アンテナが測定対象物表面に対して垂直になるように位置合わせします。

**i** アンテナが測定対象物に対して垂直に設置されていない場合、アンテナの最大到達範囲が減少する可能性があり、また、追加の干渉信号が発生する可能性もあります。

### 5.2.4 アンテナ半径方向の角度調整

方向特性に基づき、アンテナ半径方向の角度調整は必要ありません。

### 5.2.5 活用できる対策

#### マッピング

不要反射の電子的な抑制機能により、測定を最適化することが可能です。

**距離の確定** パラメータを参照してください。

## 5.3 機器の取付け

### 5.3.1 ホーンアンテナ 65 mm (2.56 in)

#### 差込み穴

差込み穴の直径は、アンテナホーンの外径 65 mm (2.56 in) より大きくなければなりません。

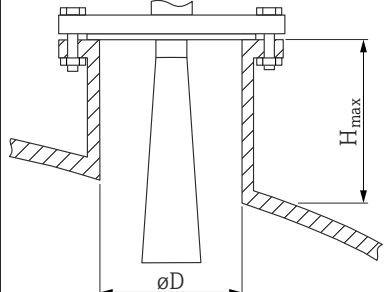
**i** 差込み穴が 42~66 mm (1.65~2.60 in) の場合は、アンテナホーンを先に取り外す必要があります (例: プロセス接続 NPS2", DN50, 50A)。

ホーンは、容器の差込み穴に内側から通して、プロセス接続部に再度取り付けることによって設置されます。最大許容トルクは 3 Nm です。

**取付けノズルに関する情報**

ノズルの最大長  $H_{max}$  はノズル径  $D$  に応じて異なります。

**ノズル径  $D$  に応じたノズル最大長  $H_{max}$**

	$\phi D$	$H_{max}$
	80~100 mm (3.2~4 in)	1700 mm (67 in)
	100~150 mm (4~6 in)	2100 mm (83 in)
	$\geq 150$ mm (6 in)	3200 mm (126 in)

**i** これより長いノズルを使用した場合、測定性能が低下します

以下の点に注意してください。

- ノズルの末端が滑らかでバリがないこと。
- ノズルの縁を丸めること。
- マッピングを実行すること。
- 表に記載されたノズル高より長いノズルを使用する場合は、当社サポート部門にお問い合わせください。

**5.3.2 PTFE ドリップオフアンテナ 50 mm (2 in)**

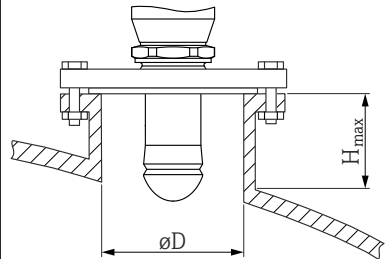
**ネジ込み接続に関する情報**

- ねじ込むときには、六角ボルトのみを回してください。
- 工具：スパナ 55 mm
- 最大許容トルク：50 Nm (36 lbf ft)

**取付ノズルに関する情報**

ノズルの最大長  $H_{max}$  はノズル径  $D$  に応じて異なります。

**ノズルの最大長  $H_{max}$  はノズル径  $D$  に応じて異なります。**

	$\phi D$	$H_{max}$
	50~80 mm (2~3.2 in)	750 mm (30 in)
	80~100 mm (3.2~4 in)	1150 mm (46 in)
	100~150 mm (4~6 in)	1450 mm (58 in)
	$\geq 150$ mm (6 in)	2200 mm (88 in)

**i** これより長いノズルを使用した場合、測定性能が低下します

以下の点に注意してください。

- ノズルの末端が滑らかでバリがないこと。
- ノズルの縁を丸めること。
- マッピングを実行すること。
- 表に記載されたノズル高より長いノズルを使用する場合は、当社サポート部門にお問い合わせください。



### 5.3.3 PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ 50 mm (2 in)

**i** アンテナの外装はプロセスシールの役割も果たします。設置用にシールを追加する必要はありません。

#### 外装付フランジの取付け

- i** 外装付フランジの場合は、以下の点に注意してください。
- 用意されたフランジ穴の数と同数のフランジネジを使用してください。
  - 適切なトルクでネジを締めてください (表を参照)。
  - 24 時間後または最初の温度サイクルの後にネジを締め直してください。
  - プロセス圧力と温度に応じて、必要な箇所は定期的にネジを点検し、締め直してください。

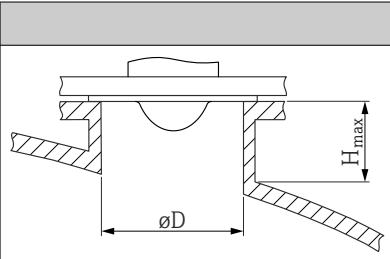
通常、PTFE フランジ外装はノズルと機器のフランジ間のシール材としての役割も果たします。

フランジサイズ	ネジの数	締付けトルク
<b>EN</b>		
DN50 PN10/16	4	45~65 Nm
DN50 PN25/40	4	45~65 Nm
<b>ASME</b>		
NPS 2" Cl.150	4	35~55 Nm
NPS 2" Cl.300	8	20~30 Nm
<b>JIS</b>		
10K 50 A	4	40~60 Nm

#### 取付けノズルに関する情報

ノズルの最大長  $H_{max}$  はノズル径  $D$  に応じて異なります。

**ノズルの最大長  $H_{max}$  はノズル径  $D$  に応じて異なります。**

	$\phi D$	$H_{max}$
	50~80 mm (2~3.2 in)	600 mm (24 in)
	80~100 mm (3.2~4 in)	1 000 mm (40 in)
	100~150 mm (4~6 in)	1 250 mm (50 in)
	$\geq 150$ mm (6 in)	1 850 mm (74 in)

- i** これより長いノズルを使用した場合、測定性能が低下します
- 以下の点に注意してください。
- ノズルの終端が滑らかでバリがないこと。
  - ノズルの縁を丸めること。
  - マッピングを実行すること。
  - 表に記載されたノズル高より長いノズルを使用する場合は、当社サポート部門にお問い合わせください。

### 5.3.4 PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ 80 mm (3 in)

**i** アンテナの外装はプロセスシールの役割も果たします。設置用にシールを追加する必要はありません。

### 外装付フランジの取付け

- i** 外装付フランジの場合は、以下の点に注意してください。
- 用意されたフランジ穴の数と同数のフランジネジを使用してください。
  - 適切なトルクでネジを締めてください (表を参照)。
  - 24 時間後または最初の温度サイクルの後にネジを締め直してください。
  - プロセス圧力と温度に応じて、必要な箇所は定期的にネジを点検し、締め直してください。

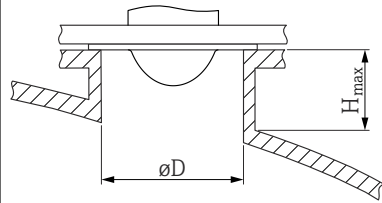
通常、PTFE フランジ外装はノズルと機器のフランジ間のシール材としての役割も果たします。

フランジサイズ	ネジの数	締付けトルク
<b>EN</b>		
DN80 PN10/16	8	40~55 Nm
DN80 PN25/40	8	40~55 Nm
DN100 PN10/16	8	40~60 Nm
DN100 PN25/40	8	55~80 Nm
DN150 PN10/16	8	75~105 Nm
<b>ASME</b>		
NPS 3" Cl.150	4	65~95 Nm
NPS 3" Cl.300	8	40~55 Nm
NPS 4" Cl.150	8	45~65 Nm
NPS 4" Cl.300	8	55~80 Nm
NPS 6" Cl.150	8	85~125 Nm
NPS 6" Cl.300	12	60~85 Nm
NPS 8" Cl.150	8	115~170 Nm
<b>JIS</b>		
10K 50 A	4	40~60 Nm
10K 80 A	8	25~35 Nm
10K 100 A	8	35~55 Nm
10K 150 A	8	75~115 Nm

### 取付けノズルに関する情報

ノズルの最大長  $H_{max}$  はノズル径  $D$  に応じて異なります。

ノズルの最大長  $H_{max}$  はノズル径  $D$  に応じて異なります。

	$\phi D$	$H_{max}$
	80~100 mm (3.2~4 in)	1750 mm (70 in)
	100~150 mm (4~6 in)	2200 mm (88 in)
	$\geq 150$ mm (6 in)	3300 mm (132 in)

**i** これより長いノズルを使用した場合、測定性能が低下します

以下の点に注意してください。

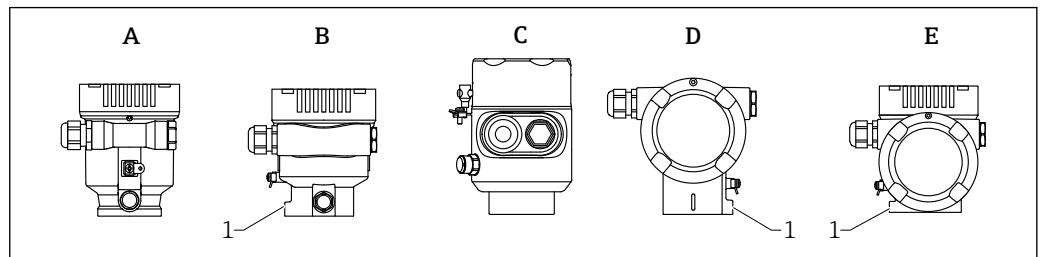
- ノズルの終端が滑らかでバリがないこと。
- ノズルの縁を丸めること。
- マッピングを実行すること。
- 表に記載されたノズル高より長いノズルを使用する場合は、当社サポート部門にお問い合わせください。

### 5.3.5 ハウジングの回転

ハウジングはロックネジを緩めることにより、380°まで回転させることができます。

#### 特長

- ハウジングを最適な位置に合わせることができるため、機器の設置が容易
- アクセスしやすい機器操作
- 現場表示器 (オプション) を最も見やすい位置に設置可能



- A プラスチックシングル端子箱部 (ロックネジなし)
- B アルミニウムシングル端子箱部
- C シングル端子箱部、SUS 316L 相当、サニタリ仕様 (ロックネジなし)
- D デュアル端子箱部
- E デュアル端子箱部、L字型
- 1 ロックネジ

#### 注記

ハウジングのネジを完全に取り外すことはできません。

- ▶ 外部のロックネジを最大 1.5 回転緩めます。ネジを緩め過ぎたり、ネジを限界まで (固定ポイントを超えて) 緩めてしまうと、小型の部品 (カウンターディスク) が緩んで外れることがあります。
- ▶ 固定ネジ (六角ソケット 4 mm (0.16 in)) を締め付けます (最大トルク : 3.5 Nm (2.58 lbf ft)  $\pm$  0.3 Nm (0.22 lbf ft))。

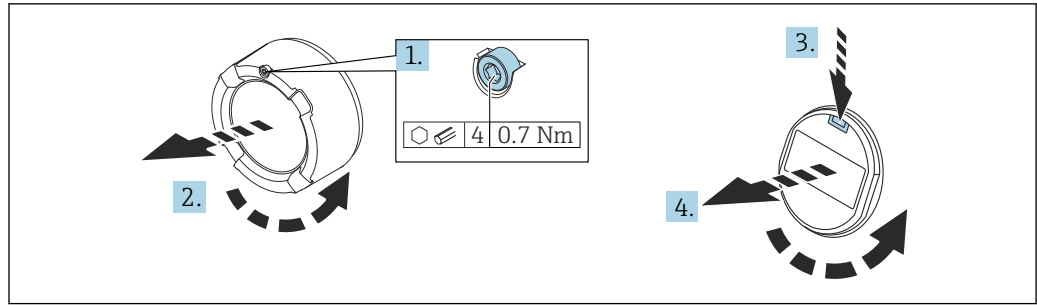
### 5.3.6 表示モジュールの回転

#### 警告

電源電圧のスイッチをオフにしてください。

感電および/または爆発の危険性があります。

- ▶ 電源電圧のスイッチをオフにしてから機器を開けてください。

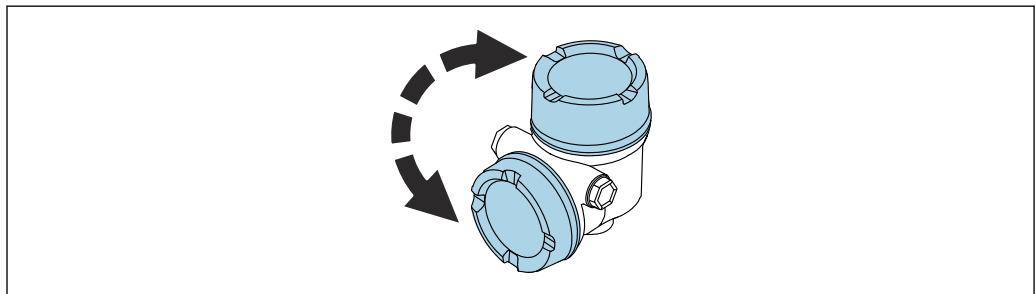


A0038224

1. (取り付けている場合) 六角レンチを使用して、表示部カバーのカバーロックのネジを緩めます。
2. 伝送器ハウジングから表示部カバーを取り外して、カバーシールを確認します。
3. リリース機構を押して表示モジュールを取り外します。
4. 表示モジュールを必要な位置に回転させます (両方向に最大  $4 \times 90^\circ$ )。表示モジュールを表示部の必要な位置でカチッと音がするように取り付けます。伝送器ハウジングに表示部のカバーを戻してねじ込みます。(取り付けている場合) 六角レンチを使用して、カバーロックのネジを締め付けます (0.7 Nm (0.52 lbf ft)  $\pm 0.2$  Nm (0.15 lbf ft))。

### 5.3.7 表示モジュールの取付位置の変更

L字型デュアルコンパートメントハウジングの場合、ディスプレイの取付位置を変えることができます。



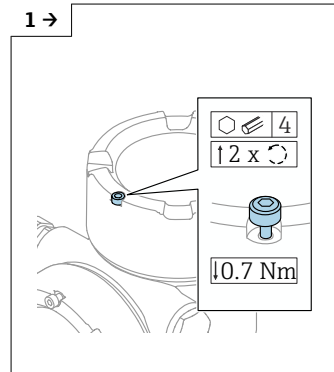
A0048401

**警告**

**電源のスイッチをオンにしてください。**

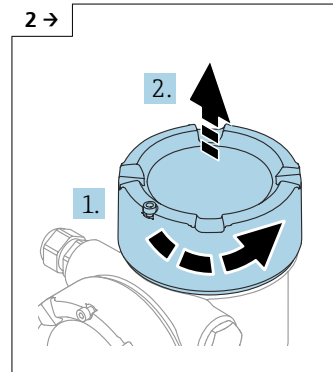
感電および/または爆発の危険性があります。

▶ 計測機器を開く前に、電源をオフにしてください。



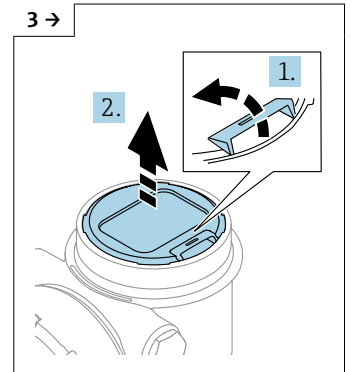
A0046831

▶ (取り付けている場合) 六角レンチを使用して、表示部カバーのカバーロックのネジを緩めます。



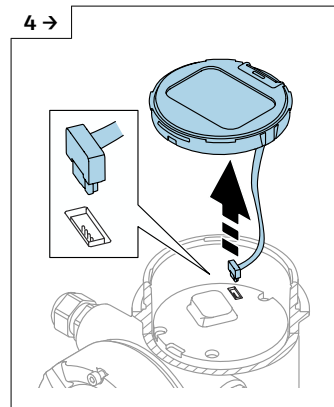
A0046832

▶ 表示部カバーを外して、カバーシールを確認します。



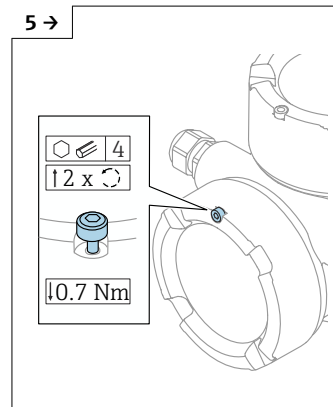
A0046833

▶ リリース機構を押して表示モジュールを取り外します。



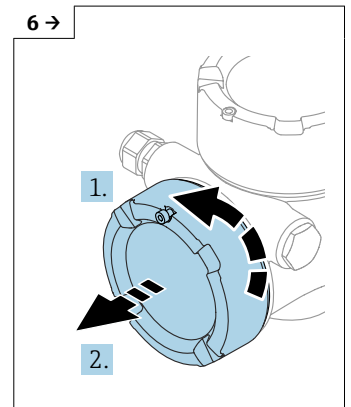
A0046834

▶ プラグ接続を外します。



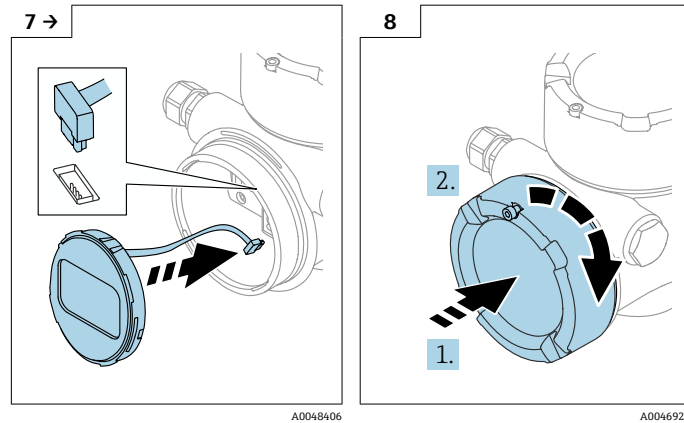
A0046923

▶ (取り付けている場合) 六角レンチを使用して、端子部蓋のカバーロックのネジを緩めます。



A0046924

▶ 端子部蓋を外して、カバーシールを確認します。この蓋を、表示部カバーの代わりにアンブ部にねじ込みます。(取り付けている場合) 六角レンチを使用して、カバーロックのネジを締め付けます。



- ▶ 端子部に表示モジュールの接続を差し込みます。
- ▶ 目的の位置でカチッと音がするように表示モジュールを取り付けます。

- ▶ 表示部カバーをハウジングにしっかりとねじ込みます。(取り付けている場合) 六角レンチを使用して、カバーロックのネジを締め付けます (0.7 Nm (0.52 lbf ft))。

### 5.3.8 ハウジングカバーの密閉

#### 注記

汚れによりネジやハウジングが損傷する可能性があります。

- ▶ カバーおよびハウジングのネジの汚れ（砂など）を取り除いてください。
- ▶ カバーを閉じるときに抵抗を感じた場合は、ネジに汚れがないことを確認し、清掃してください。

#### **i** ハウジングのネジ

電子回路部と端子接続部のネジは、摩擦防止コーティングを施すことが可能です。以下は、すべてのハウジング材質に適用されます。

- ☒ ハウジングのネジは潤滑しないでください。

## 5.4 設置状況の確認

- 機器は損傷していないか（外観検査）？
- 測定点の識別番号とそれに対応する銘板は正しいか（外観検査）？
- 機器が降雨や日光から保護されているか？
- 固定ネジとカバーロックがしっかりと締め付けられているか？
- 機器が測定点の仕様を満たしているか？

例：

- プロセス温度
- プロセス圧力
- 周囲温度
- 測定範囲

## 6 電気接続

### 6.1 接続要件

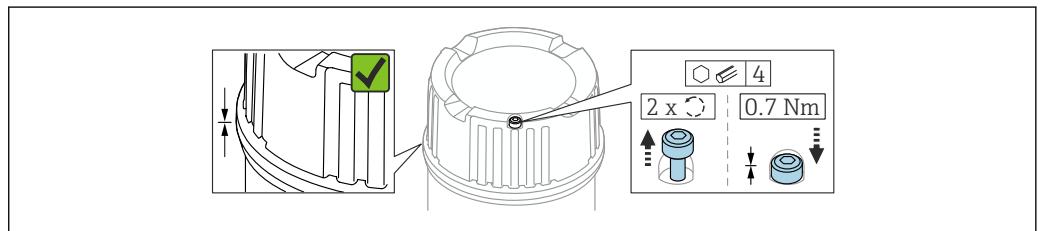
#### 6.1.1 固定ねじ付きカバー

危険場所で使用するための特定の防爆機器では、カバーは固定ねじでロックされています。

##### 注記

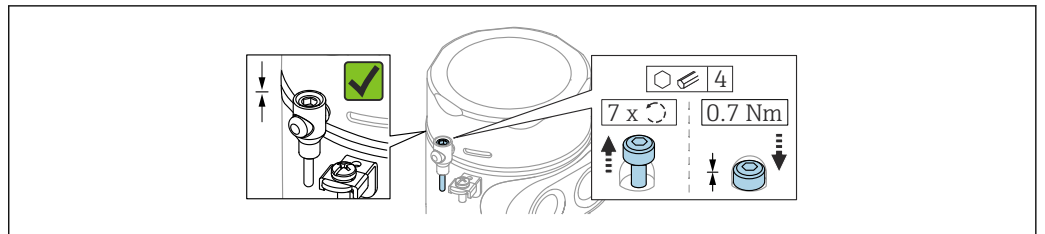
**固定ネジが正しく配置されていないと、カバーを確実に封止できません。**

- ▶ カバーを開ける：カバーロックのネジを抜け落ちない程度に緩めます(最大 2 回転)。カバーを取り付けてカバーシールを確認します。
- ▶ カバーを閉める：カバーをハウジングにしっかりとネジ留めし、固定ネジが正しく配置されていることを確認します。カバーとハウジングの間に隙間ができないようにしてください。



A0039520

図 2 固定ねじ付きカバー

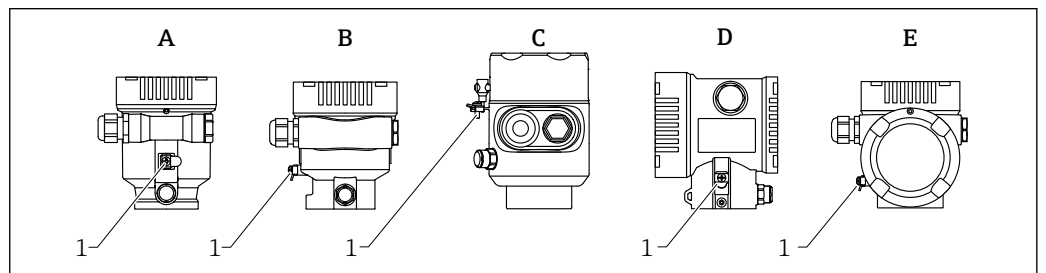


A0050983

図 3 固定ねじ付きカバー；サニタリハウジング（粉塵防爆仕様のみ）

#### 6.1.2 電位平衡

機器の保護接地は接続しないでください。必要な場合は、機器の接続前に、アース線をハウジングの外部接地端子に接続することができます。



A0046583

- A シングルコンパートメントハウジング、プラスチック
- B シングルコンパートメントハウジング、アルミニウム、コーティング
- C シングルコンパートメントハウジング、SUS 316L 相当、サニタリ仕様（防爆機器）
- D デュアルコンパートメントハウジング、アルミニウム、コーティング
- E デュアルコンパートメントハウジング、L字型、アルミニウム、コーティング
- 1 アース線接続用の接地端子

**警告**

発火性のある火花または許容できない高い表面温度。

爆発の危険性

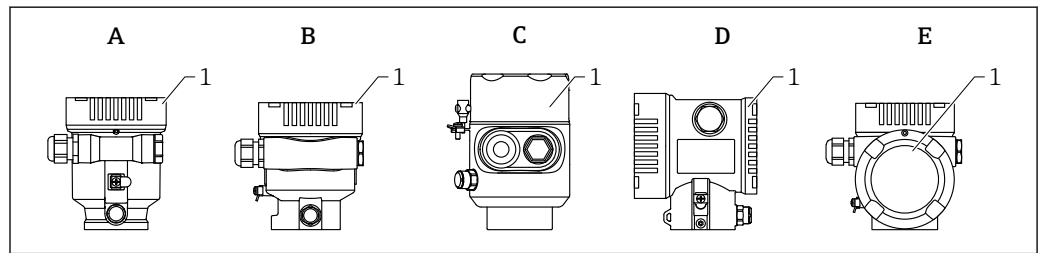
▶ 危険場所のアプリケーションにおける安全上の注意事項については、個別の関連資料を参照してください。



電磁適合性を最適化するには、以下を実施してください。

- アース線をできるだけ短くします。
- 最小断面積  $2.5 \text{ mm}^2$  (14 AWG) を遵守します。

## 6.2 機器の接続



A0046659

- A シングルコンパートメントハウジング、プラスチック
- B シングルコンパートメントハウジング、アルミニウム、コーティング
- C シングルコンパートメントハウジング、SUS 316L 相当、サニタリ仕様
- D デュアルコンパートメントハウジング、アルミニウム、コーティング
- E デュアルコンパートメントハウジング、L字型、アルミニウム、コーティング
- 1 端子部蓋



シングルコンパートメント SUS 316L 相当製サニタリハウジングとコンジットネジ接続を備えた機器は、終端機器として接続する必要があり、1つの「コンジット入口」のみを使用できます。



### ハウジングのネジ

電子回路部と端子接続部のネジは、摩擦防止コーティングを施すことが可能です。以下は、すべてのハウジング材質に適用されます。

ハウジングのネジは潤滑しないでください。

### 6.2.1 電源電圧

APL 性能クラス A ( $9.6 \sim 15 \text{ V}_{\text{DC}}$  540 mW)



APL フィールドスイッチは試験により、安全要件 (例: PELV、SELV、クラス 2) に適合し、関連するプロトコル仕様に準拠していることを確認する必要があります。

### 6.2.2 ケーブル仕様

#### 定格断面積

- 電源電圧
  - $0.5 \sim 2.5 \text{ mm}^2$  (20~13 AWG)
- 保護接地またはケーブルシールドの接地
  - $> 1 \text{ mm}^2$  (17 AWG)
- 外部の接地端子
  - $0.5 \sim 4 \text{ mm}^2$  (20~12 AWG)



**適合ケーブル外径**

適合ケーブル外径は、使用するケーブルグランドに応じて異なります。

- カップリング、プラスチック：  
ø5～10 mm (0.2～0.38 in)
- カップリング、ニッケルめっき真鍮：  
ø7～10.5 mm (0.28～0.41 in)
- カップリング、ステンレス：  
ø7～12 mm (0.28～0.47 in)

**PROFINET (Ethernet-APL)**

APL セグメントの基準ケーブルタイプは、フィールドバスケーブルタイプ A、MAU タイプ 1 および 3 です (IEC 61158-2 に規定)。このケーブルは、IEC TS 60079-47 に準拠した本質安全アプリケーションの要求事項を満たし、また、非本質安全アプリケーションにも使用できます。

ケーブルタイプ	A
ケーブル静電容量	45～200 nF/km
ループ抵抗	15～150 Ω/km
ケーブルインダクタンス	0.4～1 mH/km

詳細については、「Ethernet-APL Engineering Guideline」を参照してください (<https://www.ethernet-apl.org>)。

**6.2.3 過電圧保護**

過電圧保護は、製品構成の「取付アクセサリ」からオプションとしてご注文いただけます。

**過電圧保護機能 (オプション) のない機器**

本機器は、IEC/DIN EN IEC 61326-1 製品規格 (表 2 産業環境) に適合しています。

ポートのタイプ (DC 電源、入力/出力ポート) に応じて、過渡過電圧に関する IEC/DIN EN 61326-1 に準拠した、以下のさまざまな試験水準が適用されます (IEC/DIN EN 61000-4-5 サージ)。

DC 電源ポートおよび入力/出力ポートの試験水準は 1000 V (ライン - 接地間) です。

**オプションの過電圧保護機能付き機器**

- スパーク電圧：最小 400 V<sub>DC</sub>
- IEC/DIN EN 60079-14 第 12.3 節 (IEC/DIN EN 60060-1 第 7 章) に準拠した試験済み
- 公称放電電流：10 kA

**注記**

本機器は、過度に高い電圧により破損する恐れがあります。

- ▶ 必ず過電圧保護機能付きの機器を接地してください。

**過電圧カテゴリー**

過電圧カテゴリー II

## 6.2.4 配線

### ⚠ 警告

#### 通電している可能性があります。

感電および/または爆発の危険性があります。

- ▶ 機器を危険場所で使用する場合、該当する国内規格および安全上の注意事項 (XA) に記載される仕様を遵守してください。指定のケーブルグランドを使用する必要があります。
- ▶ 供給電圧が銘板に示されている仕様と一致している必要があります。
- ▶ 電源を切ってから機器を接続してください。
- ▶ 必要に応じて、電源ラインの接続前に、等電位線を機器の外部接地端子に接続することができます。
- ▶ IEC/EN 61010 に従って、本機器に適合するサーキットブレーカーを用意する必要があります。
- ▶ 供給電圧と過電圧カテゴリを十分に考慮して、ケーブルを適切に絶縁する必要があります。
- ▶ 周囲温度を十分に考慮して、接続ケーブルには適切な温度安定性が必要です。
- ▶ 必ずカバーを閉めた状態で機器を操作してください。

以下の手順に従って機器を接続します。

1. カバーのロックを解除します (使用している場合)。
2. カバーのネジを取り外します。
3. ケーブルをケーブルグランドまたは電線管接続口に通します。
4. ケーブルを接続します。
5. 漏れ防止のため、ケーブルグランドまたは電線管接続口を締め付けます。ハウジング接続口を逆に締め付けます。
6. カバーのネジを端子部にしっかりと締め付けます。
7. (取り付けている場合) 六角レンチを使用して、カバーロックのネジを締め付けます (0.7 Nm (0.52 lbf ft) ± 0.2 Nm (0.15 lbf ft))。

## 6.2.5 端子の割当て

### シングルコンパートメントハウジング

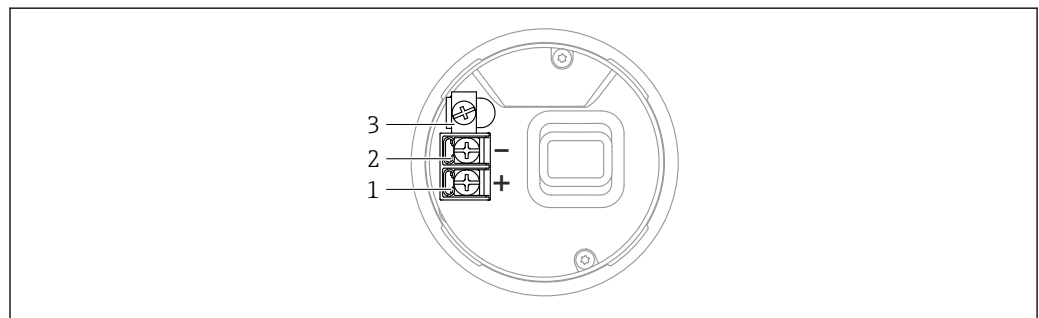
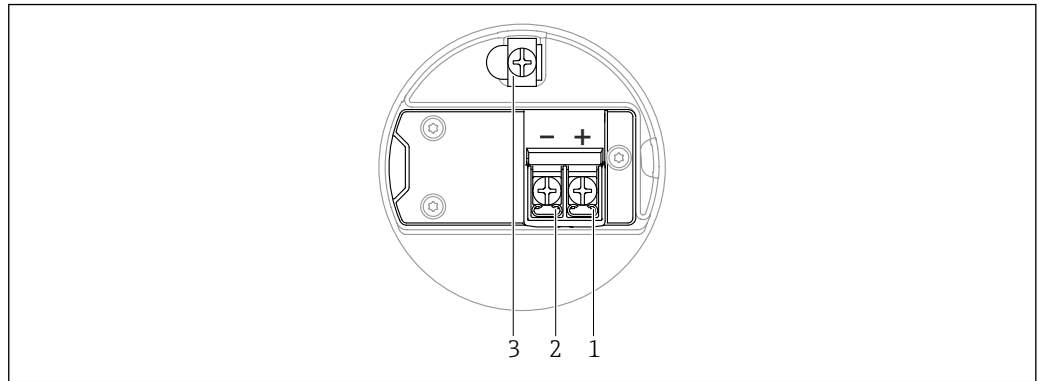


図 4 端子部の接続端子と接地端子 (シングルコンパートメントハウジング)

- 1 正極端子
- 2 負極端子
- 3 内部の接地端子

### デュアルコンパートメントハウジング

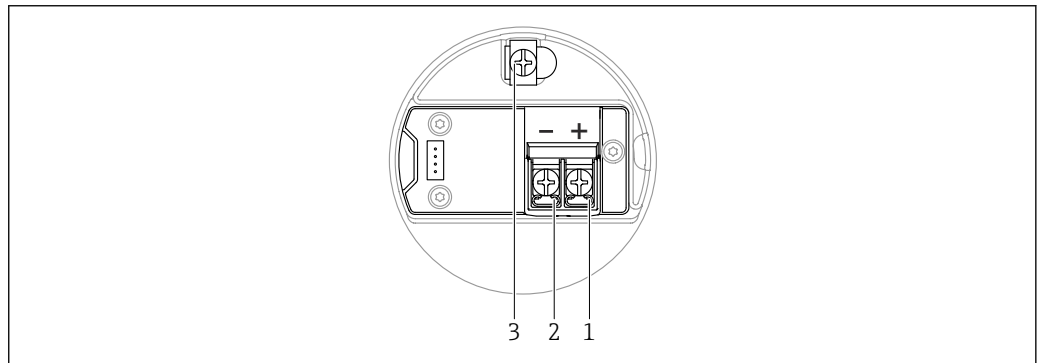


A0042803

図 5 端子部の接続端子と接地端子

- 1 正極端子
- 2 負極端子
- 3 内部の接地端子

### デュアルコンパートメントハウジング、L字型

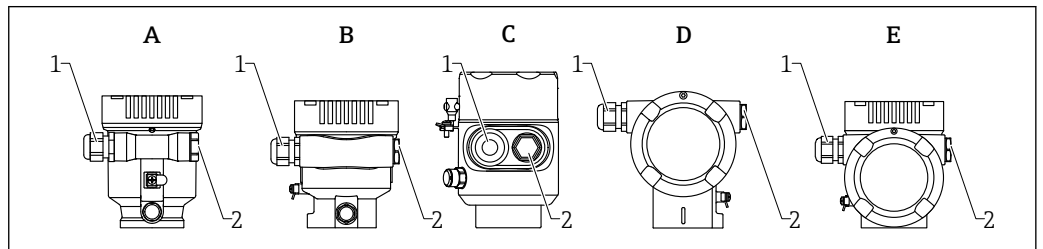


A0045842

図 6 端子部の接続端子と接地端子

- 1 正極端子
- 2 負極端子
- 3 内部の接地端子

## 6.2.6 電線口



A0046584

- A シングルコンパートメントハウジング、プラスチック
- B シングルコンパートメントハウジング、アルミニウム、コーティング
- C シングルコンパートメントハウジング、SUS 316L 相当、サニタリ仕様
- D デュアルコンパートメントハウジング、アルミニウム、コーティング
- E デュアルコンパートメントハウジング、L字型、アルミニウム、コーティング
- 1 電線口
- 2 ダミープラグ

電線口の数とタイプは、ご注文の機器バージョンに応じて異なります。

**i** 接続ケーブルを必ず下向きに通して、端子部に湿気などの水分が侵入しないようにしてください。

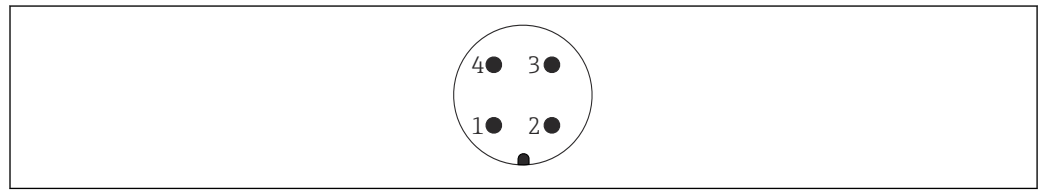
必要に応じて、ドリップループを作成するか、または日除けカバーを使用してください。

### 6.2.7 使用可能な機器プラグ

**i** プラグ付き機器の場合、接続のためにハウジングを開く必要はありません。

密閉シールを使用して、湿気などの水分が機器内に侵入することを防止してください。

#### M12 プラグ付き機器



A0011175

図 7 機器側のプラグイン接続

- 1 APL 信号 -
- 2 APL 信号 +
- 3 シールド
- 4 割当てなし

M12 プラグ付き機器用のアクセサリとして、各種の M12 ソケットが用意されています。

## 6.3 保護等級の保証

### 6.3.1 電線管接続口

- M20 カップリング、プラスチック、IP66/68 NEMA Type 4X/6P
- M20 カップリング、ニッケルめっき真鍮、IP66/68 NEMA Type 4X/6P
- M20 カップリング、SUS 316L 相当、IP66/68 NEMA Type 4X/6P
- M20 ネジ、IP66/68 NEMA Type 4X/6P
- G1/2 ネジ、IP66/68 NEMA Type 4X/6P
  - G1/2 ネジを選択した場合、M20 ネジ（標準）および G1/2 アダプタが関連資料とともに納入範囲に含まれます。
- NPT 1/2 ネジ、IP66/68 NEMA Type 4X/6P
- ダミープラグ輸送保護：IP22、NEMA Type 2
- M12 プラグ
  - ハウジング閉鎖および接続ケーブルの接続時：IP66/67、NEMA Type 4X
  - ハウジング開放または接続ケーブルの非接続時：IP20、NEMA Type 1

#### 注記

**M12 プラグ：不適切な設置により、IP 保護等級が失われる場合があります。**

- ▶ 保護等級は、使用する接続ケーブルを接続し、ネジをしっかりと締め付けている場合にのみ有効です。
- ▶ 保護等級は、使用する接続ケーブルの仕様が IP67、NEMA Type 4X に準拠している場合にのみ有効です。
- ▶ IP 保護等級は、ダミーキャップを使用するか、またはケーブルを接続している場合にのみ保持されます。

## 6.4 配線状況の確認

- 機器あるいはケーブルに損傷はないか（外観検査）？
- 使用しているケーブルが要件を満たしているか？
- 取り付けたケーブルに適切なストレインリリーフがあるか？
- ケーブルグランドが取り付けられ、しっかりと締め付けられており、漏れ止めされているか？
- 供給電圧が銘板の仕様と一致しているか？
- 逆接がなく、端子割当が正しいか？
- カバーが適切にネジ留めされているか？
- カバーロックが適切に締め付けられているか？

## 7 操作オプション

### 7.1 操作オプションの概要

- エレクトロニックインサートの操作キーおよび DIP スイッチによる操作
- 機器ディスプレイ (オプション) の光学式操作キーによる操作
- Bluetooth® ワイヤレス技術 (オプションの Bluetooth 対応機器ディスプレイ使用) による、SmartBlue アプリ、FieldXpert、DeviceCare を使用した操作
- Web サーバーを使用した操作
- 操作ツール (Endress+Hauser FieldCare/DeviceCare) または FDI ホスト (例: PDM) を使用した操作

### 7.2 エレクトロニックインサート上の操作キーおよび DIP スイッチ

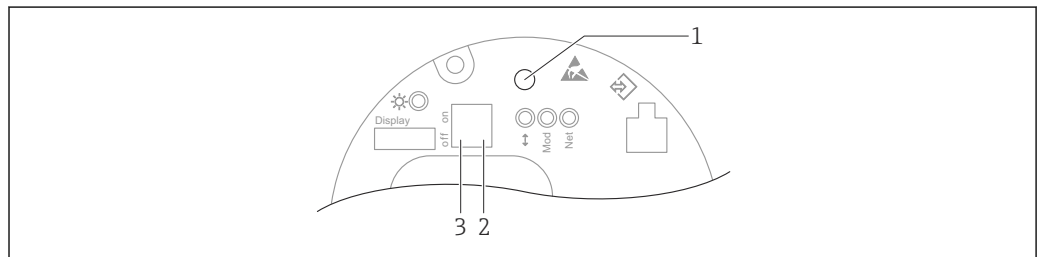


図 8 Ethernet-APL エレクトロニックインサート上の操作キーおよび DIP スイッチ

- 1 パスワードリセットおよび 機器リセット用の操作キー
- 2 サービス IP アドレス設定用の DIP スイッチ
- 3 機器のロック/ロック解除用 DIP スイッチ

**i** エレクトロニックインサートの DIP スイッチの設定は、その他の操作手段 (例: FieldCare/DeviceCare) による設定よりも優先されます。

### 7.3 操作メニューの構成と機能

現場表示器と Endress+Hauser 製 FieldCare/DeviceCare 操作ツールの操作メニューの構成の違いは、以下のように要約できます。

現場表示器は単純なアプリケーションの設定に適しています。

操作ツール (FieldCare、DeviceCare、SmartBlue、AMS、PDM など) は、広範なアプリケーションのパラメータ設定に使用できます。

Web サーバーを使用すると、より複雑なアプリケーションを設定することができます。

ウィザードにより、さまざまなアプリケーションを容易に設定できます。ユーザーは個々の設定手順を確認しながら設定作業を進めることができます。

#### 7.3.1 ユーザーの役割と関連するアクセス権

機器固有のアクセスコードが設定されている場合、2つのユーザーの役割 (**オペレータ** と **メンテナンス** (納入時の状態)) では、書き込みアクセス権が異なります。このアクセスコードは、不正なアクセスから機器設定を保護するものです。

不正なアクセスコードを入力した場合、そのユーザーの役割として **オペレータ** のアクセス権が付与されます。


## 7.4 現場表示器を使用した操作メニューへのアクセス


### 7.4.1 機器ディスプレイ（オプション）

カバーから光学式操作キーによる操作が可能です。機器の開閉は不要です。

機能：

- 測定値、エラーメッセージ、通知メッセージの表示
- バックライト、機器エラー発生時は緑から赤に変化
- 機器ディスプレイは容易に取り外すことができます。

 供給電圧および消費電流に応じて、バックライトのオン/オフが切り替わります。

 オプションとして機器ディスプレイでも Bluetooth® ワイヤレス技術を利用できません。

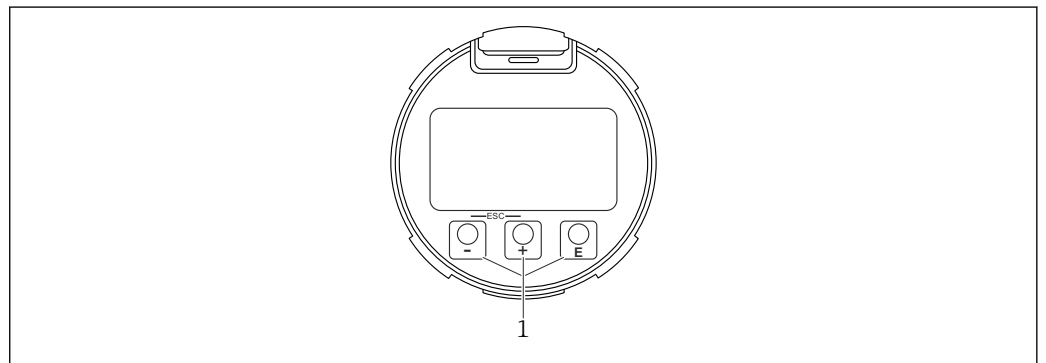








図 9 光学式操作キー (1) 付きグラフィックディスプレイ

- キー 
  - 選択項目が下方向へ移動
  - パラメータ数値の入力
- キー 
  - 選択項目が上方向へ移動
  - パラメータ数値の入力
- キー 
  - メインディスプレイからメインメニューへの切替え
  - 入力値の確定
  - 次の項目にジャンプ
  - メニュー項目を選択して編集モードを有効化
  - ディスプレイ操作のロック解除およびロック
  -  キーの長押しにより、選択したパラメータの簡単な説明を表示（利用可能な場合）
-  キーおよび  キー（ESC 機能）
  - 変更した値を保存せずにパラメータの編集モードを終了
  - メニューの選択レベル：これらのキーを同時に押すと、メニュー内のレベルが 1 つ上に戻ります。
  - これらのキーを同時に押すと上のレベルに戻ります

### 7.4.2 Bluetooth® ワイヤレス技術を介した操作（オプション）

必須条件

- Bluetooth 対応ディスプレイ付きの機器
- Endress+Hauser 製の SmartBlue アプリをインストールしたスマートフォン/タブレット端末、DeviceCare (バージョン 1.07.05 以上) をインストールした PC、または FieldXpert SMT70

接続範囲は最大 25 m (82 ft) です。範囲は、設置物、壁、天井などの環境条件に応じて異なる場合があります。

**i** Bluetooth を使用して機器を接続すると、すぐにディスプレイの操作キーがロックされます。

Bluetooth シンボルの点滅は Bluetooth 接続が利用可能であることを示します。

**i** 以下の点に注意してください。

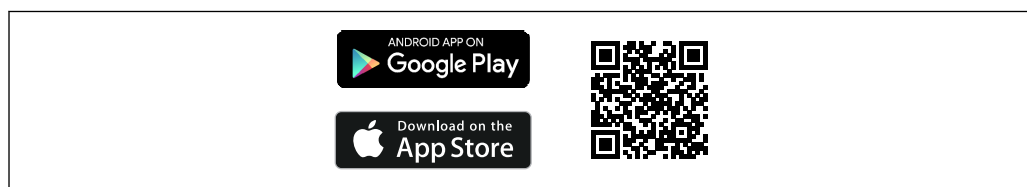
Bluetooth ディスプレイを機器から取り外して、別の機器に取り付ける場合：

- すべてのログインデータは Bluetooth ディスプレイに保存され、機器には保存されません。
- お客様が変更したパスワードも同様に Bluetooth ディスプレイに保存されます。

### SmartBlue アプリ経由の操作

SmartBlue アプリを使用して機器の操作や設定を行うことができます。

- そのために、SmartBlue アプリをモバイル機器にダウンロードする必要があります。
- SmartBlue アプリとモバイル機器の互換性については、**Apple App Store (iOS 機器)** または **Google Play ストア (Android 機器)** を参照してください。
- 暗号化された通信およびパスワードの暗号化により、権限のない人による不正な操作を防止
- Bluetooth® 機能は、機器の初期設定後に無効にすることができます。



A0033202

図 10 無料の Endress+Hauser SmartBlue アプリの QR コード

ダウンロードおよびインストール：

1. QR コードをスキャンするか、または Apple App Store (iOS) /Google Play ストア (Android) の検索フィールドに **SmartBlue** と入力します。
2. SmartBlue アプリをインストールして、起動します。
3. Android 機器の場合：位置追跡 (GPS) を有効にします (iOS 機器の場合は必要ありません)。
4. 表示される機器リストから受信可能な機器を選択します。

ログイン：

1. ユーザー名を入力します：admin
2. 初期パスワードを入力します：機器のシリアル番号
3. 初めてログインした後、パスワードを変更します。

**i** パスワードおよびリセットコードに関する注意事項

- ユーザー設定されたパスワードを紛失した場合、リセットコードを使用してアクセスを復元できます。リセットコードは、機器のシリアル番号を逆にしたものです。リセットコードを入力すると、初期パスワードが再び有効になります。
- パスワードと同様に、リセットコードも変更できます。
- ユーザー設定されたリセットコードを紛失した場合、SmartBlue アプリ経由でパスワードをリセットできなくなります。その場合は、弊社サービスにお問い合わせください。



## 7.5 ウェブブラウザを使用した操作メニューへのアクセス

### 7.5.1 機能範囲


内蔵された Web サーバーにより、本機器はウェブブラウザを使用して操作および設定を行うことが可能です。操作メニューの構造は現場表示器と同じです。測定値に加え、機器ステータス情報も表示されるため、ユーザーは機器のステータスを監視できます。また、機器データの管理およびネットワークパラメータの設定が可能です。

### 7.5.2 必須条件

#### コンピュータソフトウェア

##### 推奨のオペレーティングシステム

- Microsoft Windows 7 以上
- モバイルオペレーティングシステム：
  - iOS
  - Android

 Microsoft Windows XP に対応します。

#### 対応のウェブブラウザ

- Microsoft Internet Explorer 8 以上
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Google Chrome
- Safari

#### コンピュータ設定

##### ユーザー権限


TCP/IP およびプロキシサーバー設定が可能なユーザー権限（例：管理者権限）が必要です（IP アドレスやサブネットマスクの変更が必要なため）。

##### ウェブブラウザのプロキシサーバー設定

ウェブブラウザの「LAN にプロキシサーバーを使用する」設定を**オフ**にする必要があります。

#### JavaScript

JavaScript を有効にする必要があります。

 新しいファームウェアのバージョンをインストールする場合：正確なデータ表示を可能にするため、ウェブブラウザの一時的なメモリ（キャッシュ）を**インターネットオプション**で消去します。

### 7.5.3 接続の確立

#### PROFINET (Ethernet-APL 対応) ネットワーク経由

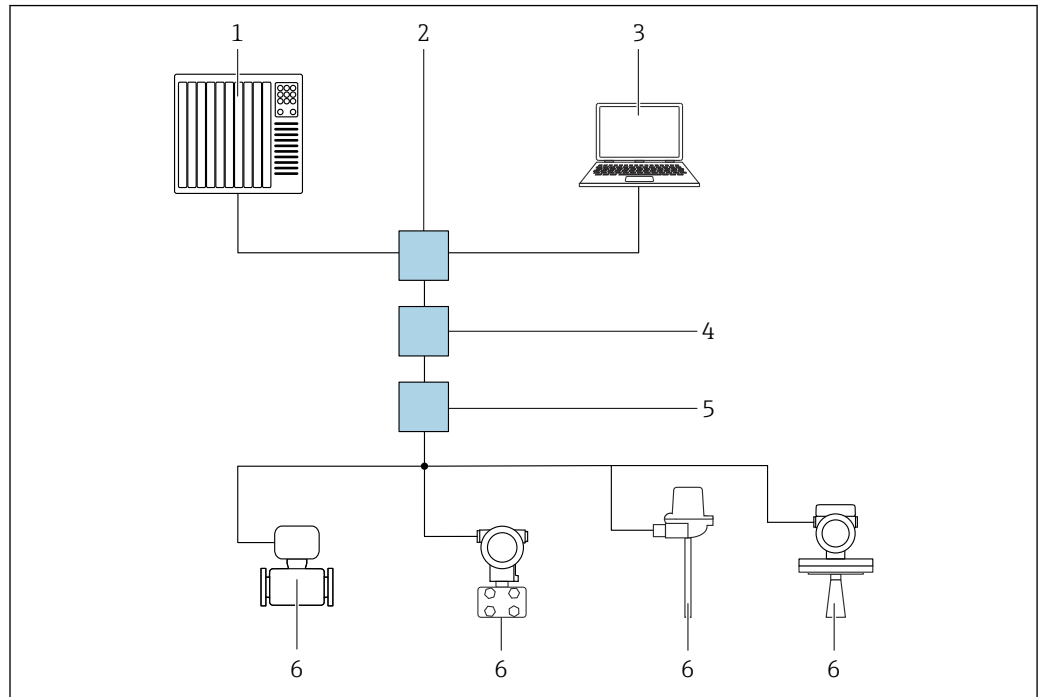


図 11 PROFINET (Ethernet-APL 対応) ネットワーク経由のリモート操作用オプション：スター型トポロジ

- 1 オートメーションシステム、例：Simatic S7 (Siemens)
- 2 イーサネットスイッチ
- 3 機器の内蔵 Web サーバーにアクセスするためのウェブブラウザ (例：Microsoft Edge) を搭載したコンピュータ、または操作ツール (例：FieldCare、DeviceCare、SIMATIC PDM) と iDTM の Profinet 通信機能を搭載したコンピュータ
- 4 APL 電源スイッチ (オプション)
- 5 APL フィールドスイッチ
- 6 APL フィールド機器

ネットワークでコンピュータからウェブサイトを起動します。機器の IP アドレスを確認しておく必要があります。

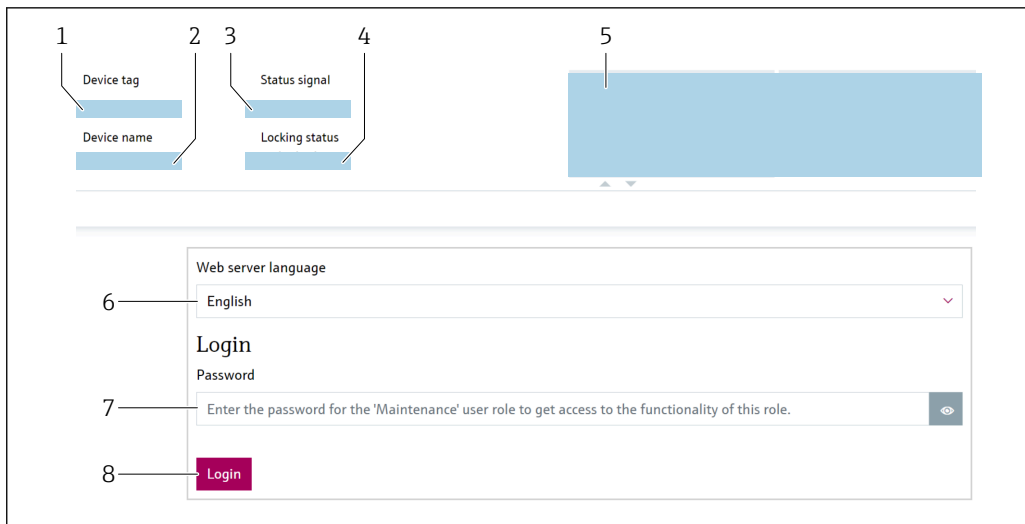
以下のさまざまな方法で、機器に IP アドレスを割り当てることができます。

- **Dynamic Configuration Protocol (DCP)、工場設定**  
オートメーションシステム (例：Simatic S7 (Siemens)) では、IP アドレスが機器に自動的に割り当てられます。
- **ソフトウェアのアドレス指定**  
IP アドレスパラメータを使用して、IP アドレスを入力します。
- **サービス用 DIP スイッチ**  
機器に固定 IP アドレス (192.168.1.212) が割り当てられます。  
■ IP アドレスは、再起動後にのみ取り込まれます。  
 これで、IP アドレスを使用してネットワークとの接続を確立できるようになります。

デフォルト設定では、機器は Dynamic Configuration Protocol (DCP) を使用します。オートメーションシステム (例：Simatic S7 (Siemens)) では、機器の IP アドレスが自動的に割り当てられます。

#### ウェブブラウザの起動およびログイン

1. コンピュータのウェブブラウザを起動します。
2. 機器の IP アドレスをウェブブラウザのアドレス行に入力します。  
 ↳ ログイン画面が表示されます。



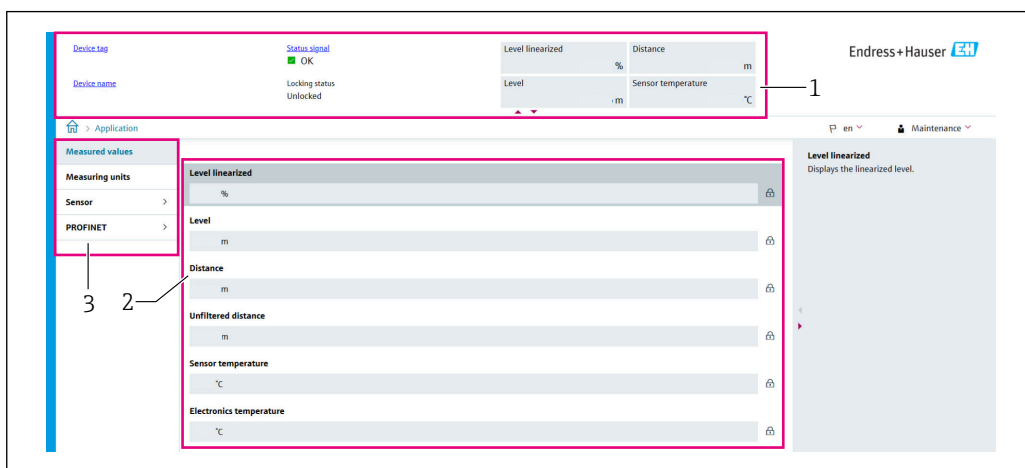
A0046626

12 ウェブブラウザログイン

- 1 デバイスタグ
- 2 機器名
- 3 ステータス信号
- 4 ロック状態
- 5 現在の測定値
- 6 言語の選択
- 7 「パスワード」パラメータの入力
- 8 ログイン

1. ウェブブラウザで希望する **Language** パラメータ を選択します。
2. **パスワード** パラメータ を入力します (初期設定 0000)。
3. ログイン を押して入力項目を確定します。

### 7.5.4 ユーザーインターフェイス



A0052432

13 ユーザーインターフェイスと項目例

- 1 ヘッダー
- 2 作業エリア
- 3 ナビゲーションエリア

### ヘッダー

以下の情報がヘッダーに表示されます。

- デバイスタグ
- 機器名
- ステータス信号
- ロック状態
- 現在の測定値

### ナビゲーションエリア

機能バーで1つの機能を選択した場合、ナビゲーションエリアに機能のサブメニューが表示されます。ユーザーは、メニュー構造内を移動することができます。

### 作業エリア

選択した機能と関連するサブメニューに応じて、このエリアでさまざまな処理を行うことができます。

- パラメータの設定
- 測定値の読み取り
- ヘルプテキストの呼び出し

### 値の取り込み

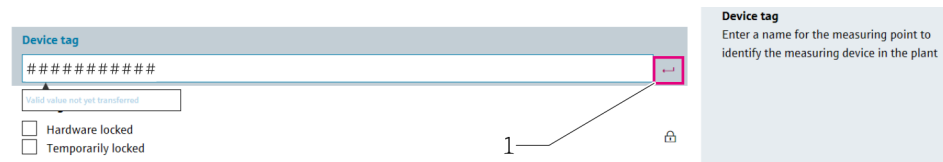


図 14 Enter ボタンの例

- 1 操作ツール上の Enter ボタン

入力した値は、Enter キーを押すか、Enter ボタン (1) をクリックすることによってのみ取り込まれます。

## 7.5.5 Web サーバーの無効化

必要に応じて **Web サーバ 機能** パラメータを使用して、機器の Web サーバーのオン/オフを切り替えることができます。

### ナビゲーション

「システム」メニュー → 接続性 → インターフェース

### パラメータ概要 (簡単な説明付き)

パラメータ	説明	選択
Web サーバ 機能	Web サーバーをオン、オフ、HTML をオフします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 無効</li> <li>■ 有効</li> </ul>

### 「Web サーバ 機能」パラメータの機能範囲

選択項目	説明
無効	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Web サーバは完全に無効になります。</li> <li>■ ポート 80 はロックされます。</li> </ul>
有効	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Web サーバのすべての機能を使用できます。</li> <li>■ JavaScript が使用されます。</li> <li>■ パスワードは暗号化された状態で伝送されます。</li> <li>■ パスワードの変更も暗号化された状態で伝送されます。</li> </ul>


#### Web サーバの有効化

Web サーバが無効の場合は、以下の操作オプションを介した **Web サーバ 機能** パラメータでのみ、再び有効にすることが可能です。

- 現場表示器を使用
- 「FieldCare」操作ツールを使用
- 「DeviceCare」操作ツールを使用
- PROFINET 起動記録を使用

#### 7.5.6 ログアウト

1. 機能バーで **ログアウト** 入力項目を選択します。  
↳ ホームページにログインボックスが表示されます。
2. ウェブブラウザを閉じます。

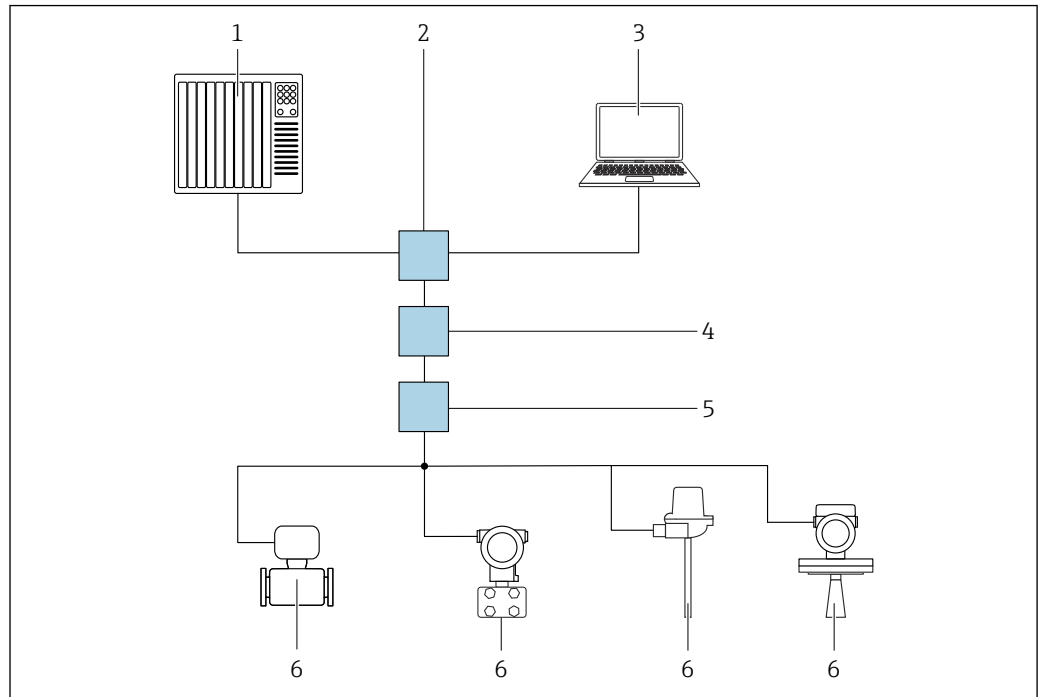
 標準 IP アドレス (192.168.1.212) を使用して Web サーバとの通信を確立してから、DIP スイッチをリセットする必要があります (**ON** → **OFF**)。再起動後、機器の設定済み IP アドレスが再度、ネットワーク通信用に有効になります。

### 7.6 操作ツールによる操作メニューへのアクセス

操作ツールを使用する場合の操作メニュー構成は、現場表示器による操作と同じです。ただし、以下に示すように機能範囲が異なります。

## 7.6.1 操作ツールの接続

### PROFINET (Ethernet-APL 対応) ネットワーク経由



A0046097

図 15 PROFINET (Ethernet-APL 対応) ネットワーク経由のリモート操作用オプション：スター型トポロジ

- 1 オートメーションシステム、例：Simatic S7 (Siemens)
- 2 イーサネットスイッチ
- 3 機器の内蔵 Web サーバーにアクセスするためのウェブブラウザ (例：Microsoft Edge) を搭載したコンピュータ、または操作ツール (例：FieldCare、DeviceCare、SIMATIC PDM) と iDTM の Profinet 通信機能を搭載したコンピュータ
- 4 APL 電源スイッチ (オプション)
- 5 APL フィールドスイッチ
- 6 APL フィールド機器

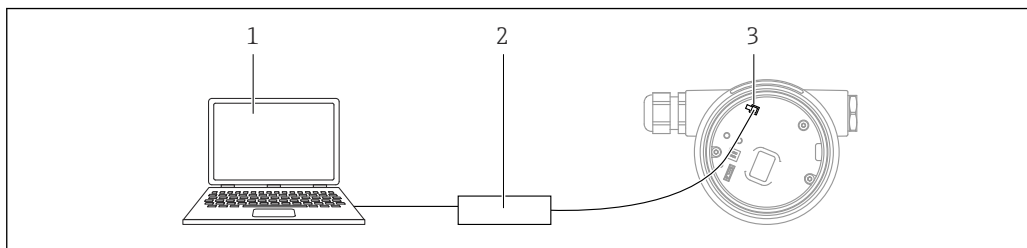
ネットワークでコンピュータからウェブサイトを起動します。機器の IP アドレスを確認しておく必要があります。

以下のさまざまな方法で、機器に IP アドレスを割り当てることができます。

- **Dynamic Configuration Protocol (DCP)、工場設定**  
 オートメーションシステム (例：Simatic S7 (Siemens)) では、IP アドレスが機器に自動的に割り当てられます。
- **ソフトウェアのアドレス指定**  
 IP アドレスパラメータを使用して、IP アドレスを入力します。
- **サービス用 DIP スイッチ**  
 機器に固定 IP アドレス (192.168.1.212) が割り当てられます。  
**i** IP アドレスは、再起動後にのみ取り込まれます。  
 これで、IP アドレスを使用してネットワークとの接続を確立できるようになります。

デフォルト設定では、機器は Dynamic Configuration Protocol (DCP) を使用します。オートメーションシステム (例：Simatic S7 (Siemens)) では、機器の IP アドレスが自動的に割り当てられます。

## サービスインターフェイス



A0039148

- 1 FieldCare/DeviceCare 操作ツール搭載のコンピュータ
- 2 Commubox FXA291
- 3 機器のサービスインターフェイス (CDI) (= Endress+Hauser Common Data Interface)

**i** 機器ファームウェアを更新 (フラッシュ) するには、電源端子から機器に給電する必要があります。

## 7.7 FieldCare

### 7.7.1 機能範囲

Endress+Hauser の FDT ベースのプラントアセットマネジメントツールです。FieldCare により、システム内のすべての高性能フィールド機器を設定できるため、機器の管理作業を簡素化できます。FieldCare では、ステータス情報を使用することによって各機器のステータスと状況をシンプルかつ効果的に確認できます。

アクセス方法：

- CDI サービスインターフェイス
- PROFINET インターフェイス

標準機能：

- 変換器パラメータの設定
- 機器データの読み込みおよび保存 (アップロード/ダウンロード)
- 測定点のドキュメント作成
- 測定値メモリ (ラインレコーダ) およびイベントログブックの視覚化

**b** FieldCare に関する追加情報については、取扱説明書 BA00027S および BA00059S を参照してください。

## 7.8 DeviceCare

### 7.8.1 機能範囲

Endress+Hauser 製フィールド機器の接続および設定用ツールです。

専用の「DeviceCare」ツールを使用すると、Endress+Hauser 製フィールド機器を簡単に設定できます。デバイスタイプマネージャ (DTM) と組み合わせることで、DeviceCare を効率的かつ包括的なソリューションとして活用できます。

**b** 詳細については、イノベーションカタログ IN01047S を参照してください。

## 8 システム統合

### 8.1 デバイス記述 (DD) ファイルの概要

#### 8.1.1 現在の機器バージョンデータ

ファームウェアのバージョン	01.00.zz	<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱説明書の表紙に明記</li> <li>変換器の銘板に明記</li> <li>システム → 情報 → ファームウェアのバージョン</li> </ul>
ファームウェアのバージョン パラメータ リリース日付	04.2023	-
製造者 ID	ID : 0x11	ガイドランス → 設定 → 機器固有情報 → 製造者 ID
Device ID	ID : A1C1	ガイドランス → 設定 → 機器固有情報 → Device ID 変換器の銘板に明記
Profile 4 機器 ID	B321	変換器の銘板に明記
機器リビジョン	1	変換器の銘板に明記
PROFINET バージョン	2.4x	-
PA プロファイル版	4.0x	アプリケーション → PROFINET → 情報 → PA プロファイル版

#### 8.1.2 操作ツール

以下の表には、個々の操作ツールに適したデバイス記述ファイル (DD ファイル) とそのファイルの入手先情報が記載されています。

操作ツール： サービスインターフェイス (CDI)	DD ファイルの入手方法
FieldCare	<ul style="list-style-type: none"> <li><a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a> → ダウンロードエリア</li> <li>CD-ROM (当社にお問い合わせください)</li> <li>DVD (当社にお問い合わせください)</li> </ul>
DeviceCare	<ul style="list-style-type: none"> <li><a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a> → ダウンロードエリア</li> <li>CD-ROM (当社にお問い合わせください)</li> <li>DVD (当社にお問い合わせください)</li> </ul>
SMT70	ハンドヘルドターミナルの更新機能を使用
AMS Device Manager (エマソン・プロセス・マネジメント社)	<a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a> → ダウンロードエリア
SIMATIC PDM (シーメンス社)	<a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a> → ダウンロードエリア

## 8.2 機器マスターファイル (GSD)

フィールド機器をバスシステムに統合するために、PROFIBUS (Ethernet-APL 対応) システムでは機器パラメータに関する記述 (例：出力データ、入力データ、データ形式、データ容量) が必要です。

これらのデータは、通信システム稼働時にオートメーションシステムに提供される機器マスターファイル (GSD) に記載されています。また、ネットワーク構造にアイコンとして表示される機器ビットマップも統合できます。

機器マスターファイル (GSD) は XML 形式であり、ファイルは GSDML 記述マークアップ言語で作成されます。

機器マスターファイル (GSD) のダウンロード

- Web サーバー経由：メニューパス システム → Device drivers
- [www.endress.com/download](http://www.endress.com/download) 経由



### 8.2.1 機器マスターファイル (GSD) のファイル名

機器マスターファイルのファイル名の例：

GSDML-V2.43-EH-Micropilot-202304dd.xml (dd はリリース日付)

<b>GSDML</b>	記述言語
<b>V2.43</b>	PROFINET 仕様のバージョン
<b>EH</b>	Endress+Hauser
<b>Micropilot</b>	機器シリーズ
<b>20230422</b>	発行日 (年、月、日)
<b>.xml</b>	ファイル名拡張子 (XML ファイル)

## 8.3 サイクリックデータ伝送

### 8.3.1 モジュールの概要

以下の図は、機器のサイクリックデータ交換に使用可能なモジュールを示します。サイクリックデータ交換はオートメーションシステムを使用して行われます。

アプリケーション → PROFINET → アナログ入力 → アナログ入力 1~11 → プロセス変数の割り当て

機器		方向 データの流れ	制御システム
モジュール	スロット		
アナログ入力 レベル	1	→	PROFINET
アナログ入力 距離	2	→	
アナログ入力 容量	3	→	
アナログ入力 センサ温度	20	→	
アナログ入力 電気部内温度	21	→	
アナログ入力 エコーの絶対振幅	22	→	
アナログ入力 エコーの相対振幅	23	→	
アナログ入力 レンジのパーセント	24	→	
アナログ入力 (インカップリング領域)	25	→	
アナログ入力 付着インデックス	26	→	
アナログ入力 泡インデックス	27	→	
バイナリ入力 Heartbeat Technology	80	→	
バイナリ入力 (付着物/泡)	81	→	
バイナリ出力 Heartbeat Technology	210	←	

### 8.3.2 モジュールの説明

- i** オートメーションシステムの観点からのデータ構造の説明：
- 入力データ：機器からオートメーションシステムに送信されます。
  - 出力データ：オートメーションシステムから機器に送信されます。

#### モジュール：アナログ入力

機器からオートメーションシステムへの入力変数の伝送：

アナログ入力 モジュールは、機器からオートメーションシステムに対して、選択された入力変数（ステータスなど）を周期的に伝送します。入力変数は、最初の4バイトが IEEE 754 規格に準拠する浮動小数点数という形で表されます。第5バイトには、入力変数に関するステータス情報が含まれます。スロット1のアナログ入力モジュールレベルはレベル PA PROFILE GSD に含まれており、他のアナログ入力モジュールは製造者の GSD でのみ使用できます。

#### モジュール：バイナリ出力

バイナリ出力モジュールでは、オートメーションシステムからディスクリット出力値を周期的に受信できます。機器は PA PROFILE 4.0x に記述される8ビット型を実装します。この1ビットを使用して、Heartbeat 検証の開始が必要であることを機器に通知します。

ビット	機能	説明
0	検証の開始	検証の開始
1-7	-	-

### モジュール：バイナリ入力

バイナリ入力 モジュールでは、機器からオートメーションシステムに対して、ディスクリット値を周期的に送信できます。Heartbeat Verification のステータスが機器に伝送されます。

### モジュール：バイナリ入力 Heartbeat Technology スロット 80

ビット	機能	説明
0	ステータス パラメータ 未完了 オプション	検証が行われていません。
1	ステータス パラメータ 不合格 オプション	機器は検証に失敗しました。1つ以上のテストグループが仕様範囲外です。
2	ステータス パラメータ 進行中 オプション	検証中
3	ステータス パラメータ 完了 オプション	検証が行われました。
4	検証結果 パラメータ 不合格 オプション	機器は検証に失敗しました。1つ以上のテストグループが仕様範囲外です。
5	検証結果 パラメータ 合格 オプション	機器は検証に成功しました。検証されたすべてのテストグループが仕様に対応しています。
6	1つのテストグループの結果が「失敗」で、その他のすべてのテストグループの結果が「成功」の場合も、検証結果は「成功」になります。	
7	検証結果 パラメータ 未完了 オプション	検証が行われていません。

### モジュール：バイナリ入力 センサ診断スロット 81

ビット	機能	説明
0	センサへの付着物	センサの付着物を検知
1	泡発生	泡発生を検知
2-7	-	

## 8.3.3 ステータス符号化

ステータス	符号化 (16 進)	意味
BAD (不良) - メンテナンスアラーム	0x24	機器エラーが発生したため、測定値を取得できません。
BAD (不良) - プロセス関連	0x28	プロセス条件が機器の技術仕様範囲外であるため、測定値を取得できません。
BAD (不良) - 機能チェック	0x3C	機能チェックがアクティブです (例: 洗浄、校正)。
UNCERTAIN (不明) - 初期値	0x4F	正しい測定値を再び取得できるようになるまで、またはこのステータスを変更するための対策が実施されるまで、既定の測定値が出力されます。
UNCERTAIN (不明) - メンテナンス要求	0x68	摩耗や損傷が検出されました。機器の正常動作を保証するために、直ちにメンテナンスを実施する必要があります。測定値が無効である可能性があります。測定値の用途はアプリケーションに応じて異なります。
UNCERTAIN (不明) - プロセス関連	0x78	プロセス条件が機器の技術仕様範囲内にありません。これは、測定値の品質と精度に悪影響を及ぼす可能性があります。測定値の用途はアプリケーションに応じて異なります。
GOOD (良好) - OK	0x80	エラーは診断されていません。

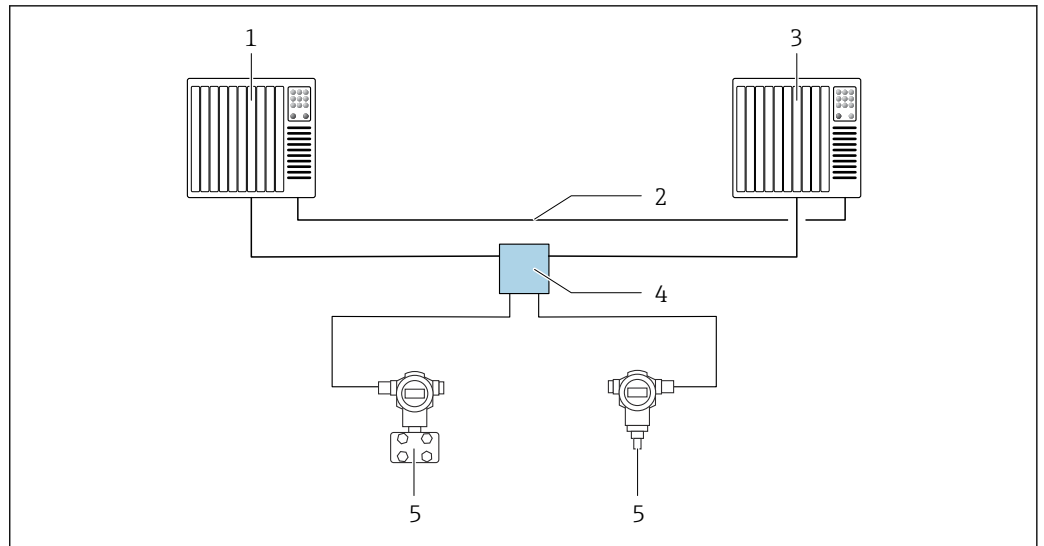
ステータス	符号化 (16 進)	意味
GOOD (良好) - メンテナンス要求	0xA8	測定値が有効です。 近いうちに、機器を修理することを強く推奨します。
GOOD (良好) - 機能チェック	0xBC	測定値が有効です。 機器の内部機能チェックが実行されます。機能チェックにより、プロセスが目立った影響を受けることはありません。

### 8.3.4 スタートアップ設定

スタートアップ設定 (NSU)	<p>オートメーションシステムでは、機器の最重要パラメータの設定が使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ インターフェース: <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ディスプレイ操作</li> <li>■ Web サーバ 機能</li> <li>■ Bluetooth 有効化</li> <li>■ サービス(UART-CDI)</li> </ul> </li> <li>■ システムの単位: <ul style="list-style-type: none"> <li>■ レベル単位</li> <li>■ 体積単位</li> <li>■ 温度の単位</li> </ul> </li> <li>■ アプリケーション: <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最大値</li> <li>■ 中間高さ</li> <li>■ 測定物タイプ</li> <li>■ 満量校正</li> <li>■ 空校正</li> <li>■ 直径</li> </ul> </li> <li>■ 診断設定: <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各種の診断情報に対する診断時の動作</li> </ul> </li> <li>■ アナログ入力: <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ダンピング</li> </ul> </li> </ul>
-----------------	--

## 8.4 システム冗長 S2

2つのオートメーションシステムを持つ冗長レイアウトは、連続運転中のプロセスに必要です。1つのシステムにエラーが発生した場合、2つめのシステムが連続かつ中断のない運転を保証します。機器は冗長システム (S2) をサポートしており、両方のオートメーションシステムと同時に通信できます。



A0046154

図 16 冗長システム (S2) のレイアウト例：スター型トポロジー

- 1 オートメーションシステム 1
- 2 オートメーションシステムの同期
- 3 オートメーションシステム 2
- 4 Ethernet-APL フィールドスイッチ
- 5 機器

**i** ネットワークのすべての機器は冗長システム (S2) をサポートしている必要があります。

## 9 設定

**i** すべての設定ツールは設定アシスタント機能を備えているため、これを利用して最も重要な設定パラメータを容易に設定できます (**ガイドンス** メニュー **設定** ウィザード)。


### 9.1 準備

測定範囲および測定値の伝送単位は、銘板のデータと一致します。

### 9.2 設置確認および機能チェック

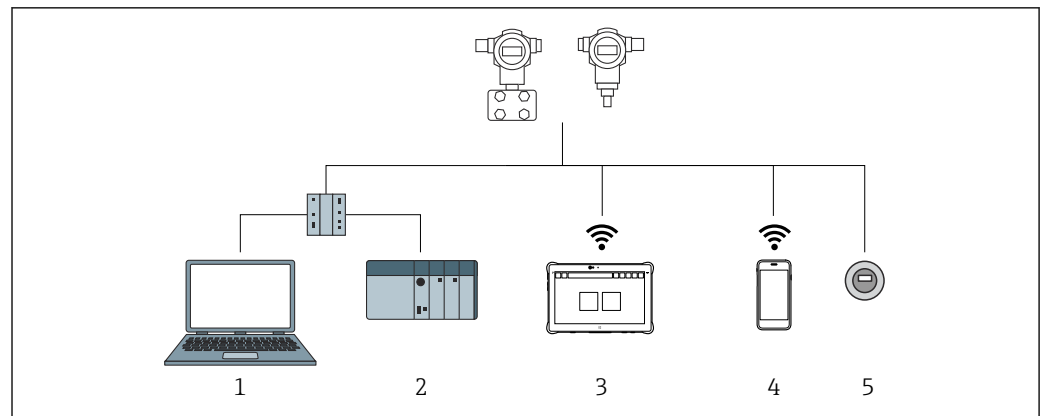
測定点を設定する前に、設置状況および配線状況を確認してください。

 設置状況の確認

 配線状況の確認

### 9.3 FieldCare および DeviceCare を使用した設定

#### 9.3.1 PROFINET プロトコル経由

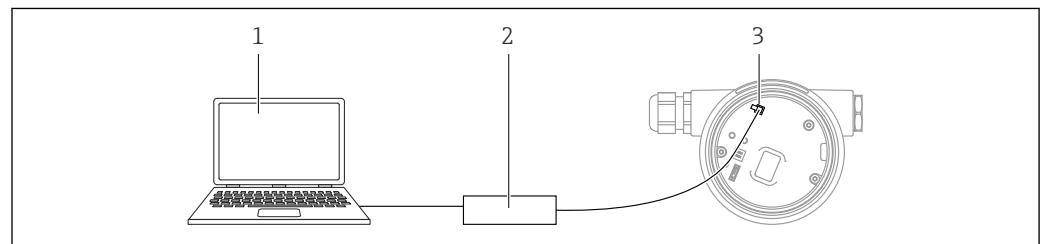


A0046623

図 17 PROFINET プロトコル経由のリモート操作オプション

- 1 ウェブブラウザまたは操作ツール (例: DeviceCare) を搭載したコンピュータ
- 2 オートメーションシステム
- 3 Field Xpert SMT70
- 4 携帯型ハンドヘルドターミナル
- 5 表示モジュールによる現場操作

#### 9.3.2 サービスインタフェース (CDI) 経由



A0039148

- 1 FieldCare/DeviceCare 操作ツール搭載のコンピュータ
- 2 Commubox
- 3 機器のサービスインタフェース (CDI) (= Endress+Hauser Common Data Interface)

### 9.3.3 ハードウェア設定

#### 機器名の設定

**デバイスタグ** パラメータおよび **PROFINET デバイス名** パラメータに基づいて、プラント内で測定点を迅速に識別できます。**デバイスタグ** パラメータ（工場出荷時の指定またはご注文時の設定）は、操作メニューで変更できます。

#### 操作メニューを介した「デバイスタグ」パラメータの設定

**デバイスタグ** パラメータは、操作メニューまたはオートメーションシステムから変更できます。

システム → 機器管理

#### 操作メニューを介した「PROFINET デバイス名」パラメータの設定

アプリケーション → PROFINET → 設定

#### オートメーションシステムを介した「PROFINET デバイス名」パラメータの設定

**PROFINET デバイス名** パラメータは、オートメーションシステムから個別に変更できます。

 オートメーションシステムを介して **PROFINET デバイス名** パラメータを割り当てる場合：

機器名を小文字で割り当てます。

#### 初期設定の IP アドレスの有効化

##### DIP スイッチによる初期設定の IP アドレスの有効化

DIP スイッチを使用して、初期設定の IP アドレス 192.168.1.212 を機器に設定できます。

1. エレクトロニックインサートの DIP スイッチ 2 を **オフ** → **オン** に設定します。
2. 本機器を電源に再接続します。  
↳ 機器を再起動すると、初期設定の IP アドレスが使用されます。

### 9.3.4 ソフトウェアによる通信パラメータの設定


- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ



メニューパス：システム → 接続性 → Ethernet




## 9.4 操作言語の設定


### 9.4.1 現場表示器

#### 操作言語の設定

 操作言語を設定する場合、最初にディスプレイのロックを解除する必要があります。

1.  キーを 2 秒以上押します。  
↳ ダイアログボックスが表示されます。
2. ディスプレイ操作のロックを解除します。
3. メインメニューで **Language** パラメータを選択します。
4.  キーを押します。

5.  または  キーを使用して目的の言語を選択します。
6.  キーを押します。

-  以下の場合、表示部の操作が自動的にロックされます（安全モード ウィザードを除く）。
- メインページでキー入力のない状態が 1 min 続いた場合
  - 操作メニュー内でキー入力のない状態が 10 min 続いた場合

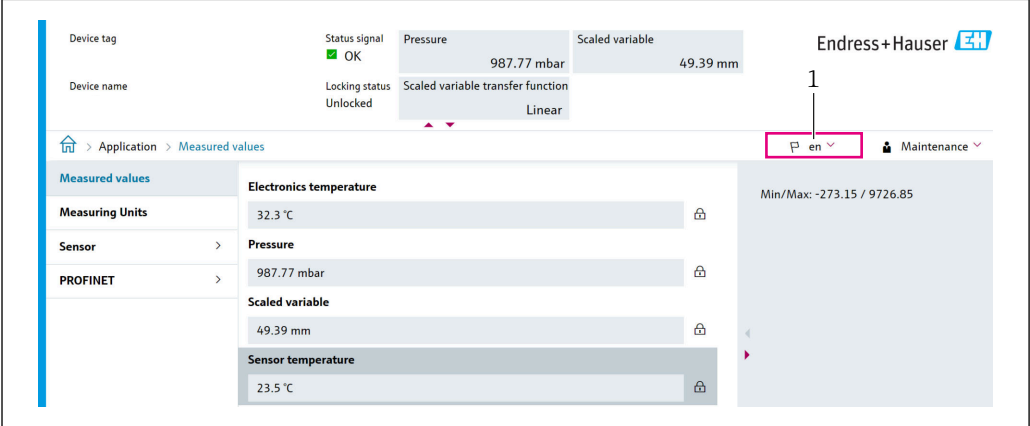
## 9.4.2 操作ツール

表示言語を設定

システム → 表示 → Language

**Language** パラメータ で選択; 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

## 9.4.3 Web サーバー



The screenshot shows the 'Measured values' page in the Endress+Hauser web interface. The language is set to 'en'. The page displays various sensor readings including Electronics temperature (32.3 °C), Pressure (987.77 mbar), Scaled variable (49.39 mm), and Sensor temperature (23.5 °C). A red box highlights the language dropdown menu.

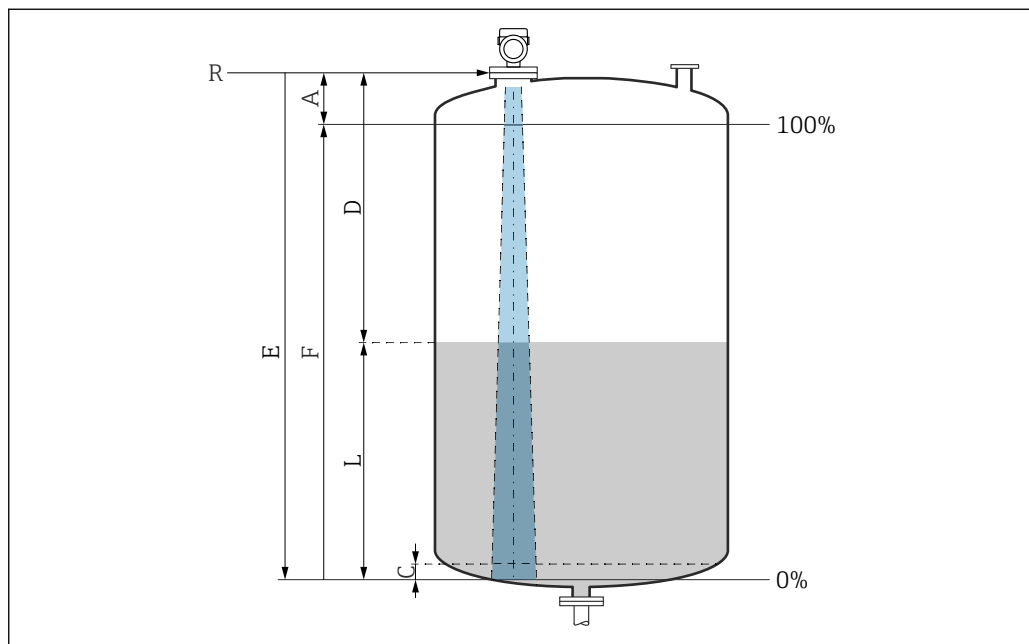
A0048882

1 言語設定



## 9.5 機器の設定

### 9.5.1 液体用レベル計



A0016933

図 18 液体のレベル測定用パラメータの設定

- R 測定基準点
- A アンテナサイズ + 10 mm (0.4 in)
- C 50~80 mm (1.97~3.15 in) ; 測定物  $\epsilon_r < 2$
- D 距離
- L レベル
- E 「空校正」パラメータ (= 0%)
- F 「満量校正」パラメータ (= 100%)

測定物の比誘電率が低い場合 ( $\epsilon_r < 2$ )、液面のレベルが非常に低いときに (レベル C 未満)、測定物を透過してタンク底部をとらえてしまうことがあります。この場合、この範囲において測定精度の低下が予想されます。このような精度の低下を許容できないアプリケーションでは、タンク底部から上方に距離 C の間隔を空けた位置にゼロ点を設定してください → 図 18 液体のレベル測定用パラメータの設定。

### 9.5.2 設定ウィザードによる設定

FieldCare、DeviceCare、SmartBlue、ディスプレイでは、設定ウィザードに従って、初期調整ステップを実行できます。

機器を設定するためにこのウィザードを完了してください。


各パラメータに対して適切な値を入力するか、または適切なオプションを選択します。

#### 注意

必要なすべてのパラメータを完了させる前にウィザードを終了すると、変更は保存されません。このため、機器の状態が不定になる可能性があります！

この場合はデフォルト設定へのリセットを推奨します。

## 9.6 エコーカーブの記録

 エコーカーブは関連する操作ツールにのみ保存されます。

**後で診断するために、現在のエコーカーブを基準エコーカーブとして記録**

測定の設定後に現在のエコーカーブを基準エコーカーブとして記録することを推奨します。

**エコーカーブ** サブメニューの**基準カーブの保存** パラメータを使用して、エコーカーブを記録します。

診断 → エコーカーブ → 基準カーブの保存

▶ **基準カーブの保存** パラメータで、**カスタマ基準マップ** オプションを有効にします。

## 9.7 「シミュレーション」サブメニュー

プロセス変数、パルス出力、診断イベントのシミュレーション

## 10 操作

### 10.1 機器ロック状態の読取り

アクティブな書き込み保護の表示：

- **ロック状態** パラメータ：
  - 現場表示器のメニューパス：最上位の操作レベル
  - 操作ツールのメニューパス：システム → 機器管理
- 操作ツールのヘッダー：

### 10.2 測定値の読取り

多くの測定値は、Web サーバーのヘッダーで読み取ることができます。

**測定値** サブメニューを使用すると、すべての測定値を読み取ることができます。

#### ナビゲーション

「アプリケーション」メニュー → 測定値

### 10.3 プロセス条件への機器の適合

これには以下のメニューを使用できます。

- 基本設定：**ガイダンス** メニュー
- 高度な設定：
  - **診断** メニュー
  - **アプリケーション** メニュー
  - **システム** メニュー

## 11 診断とトラブルシューティング

### 11.1 一般トラブルシューティング

#### 11.1.1 一般エラー

##### 機器が応答しない

- 考えられる原因：電源電圧が銘板に記載された電圧と異なる  
対処法：正しい電圧を印加する
- 考えられる原因：接続ケーブルが端子に接触していない  
対処法：ケーブル間の電気接触を確認し、必要に応じて修復する

##### ディスプレイの値が見えない

- 考えられる原因：表示設定が明るすぎる/暗すぎる  
対処法：  
**表示のコントラスト** パラメータを使用して、コントラストの強弱を調整します。  
ナビゲーションパス：システム → 表示 → 表示のコントラスト
- 考えられる原因：ディスプレイケーブルのプラグが正しく接続されていない  
対処法：プラグを正しく接続する
- 考えられる原因：ディスプレイの故障  
対処法：ディスプレイを交換する

##### 機器の起動時、またはディスプレイの接続時に、表示部に「通信エラー」が表示される

- 考えられる原因：電磁干渉の影響  
対処法：機器の接地を確認する
- 考えられる原因：ケーブル接続またはディスプレイプラグの不良  
対処法：ディスプレイを交換する

##### CDI インターフェイス経由の通信が機能しない

考えられる原因：コンピュータの COM ポートの設定が正しくない  
対処法：コンピュータの COM ポートの設定を確認し、必要に応じて修正する

##### 機器の測定が正しくない

考えられる原因：パラメータ設定エラー  
対処法：パラメータ設定を確認し、修正する

### 11.2 エラー - SmartBlue 操作

SmartBlue を介した操作は、Bluetooth 機能（オプションで使用可能）を搭載したディスプレイ付きの機器でのみ可能です。

#### ライブラリに機器が表示されない

- 考えられる原因：Bluetooth 通信が確立されていない  
対処法：ディスプレイか、ソフトウェアツールおよび/またはスマートフォン/タブレットを使用して、フィールド機器の Bluetooth を有効にする
- 考えられる原因：Bluetooth 信号の到達範囲外になっている  
対処法：フィールド機器とスマートフォン/タブレットの距離を詰める  
接続範囲は最大 25 m (82 ft) です。  
相互に視認可能な操作可能範囲（半径）：10 m (33 ft)
- 考えられる原因：Android 機器の位置情報が無効になっているか、SmartBlue アプリのアクセスが許可されていない  
対処法：Android 機器の位置情報サービスを有効/無効にして、SmartBlue アプリに対応させる
- ディスプレイに Bluetooth 機能が搭載されていない
- HistoROM が接続されていない

**機器がライブリストに表示されるが、接続が確立されない**

- 考えられる原因：機器がすでに Bluetooth を使用して別のスマートフォン/タブレット端末と接続されている  
ポイント・トゥー・ポイント接続が許可されるのは1つのみです。  
対処法：機器からスマートフォン/タブレットの接続を解除する
- 考えられる原因：ユーザー名やパスワードが正しくない  
対処法：標準のユーザー名「admin」を使用する。パスワードは、機器の銘板に表示されているシリアルナンバーを使用する（ユーザーが事前にパスワードを変更していない場合のみ有効）  
パスワードを忘れた場合は、当社サービス ([www.addresses.endress.com](http://www.addresses.endress.com)) にお問い合わせください

**SmartBlue を使用して接続できない**

- 考えられる原因：不正なパスワードが入力されている  
対処法：大文字/小文字に注意して、正しいパスワードを入力する
- 考えられる原因：パスワードを忘れた  
対処法：当社サービスセンター ([www.addresses.endress.com](http://www.addresses.endress.com)) にお問い合わせください

**SmartBlue を介してログインできない**

- 考えられる原因：機器が初めて使用される  
対処法：大文字/小文字に注意して、ユーザー名「admin」およびパスワード（機器のシリアル番号）を入力する
- 考えられる原因：電流および電圧が正しくない  
対処法：供給電圧を上げる

**SmartBlue を介して機器を操作できない**

- 考えられる原因：不正なパスワードが入力されている  
対処法：大文字/小文字に注意して、正しいパスワードを入力する
- 考えられる原因：パスワードを忘れた  
対処法：当社サービス ([www.addresses.endress.com](http://www.addresses.endress.com)) にお問い合わせください
- 考えられる原因：オペレータ オプションにアクセス権がない  
対処法：システム → ユーザー管理 → ユーザーの役割 **メンテナンス** オプションに変更する

## 11.3 診断メッセージ

機器の自己監視システムで検出されたエラーが、測定値と交互に診断メッセージとして表示されます。

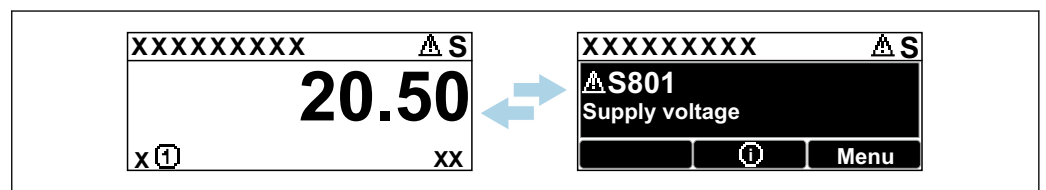
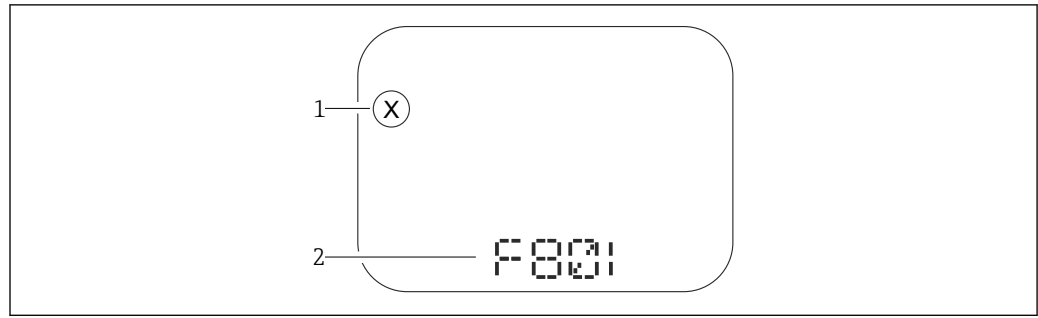


図 19 測定値と交互に表示される診断メッセージ

A0051136

2 つ以上の診断イベントが同時に発生した場合は、最も優先度の高い診断メッセージのみが表示されます。

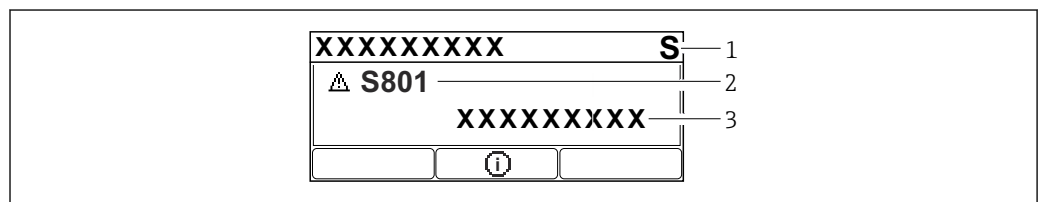
### 11.3.1 現場表示器の診断情報



A0043759

図 20 セグメント表示部 (キーなし)

- 1 イベントレベルのステータスシンボル
- 2 ステータス信号と診断イベント



A0043103

図 21 グラフィック表示部 (キー付き)

- 1 ステータス信号
- 2 ステータスシンボルと診断イベント、イベントレベルの先頭シンボル
- 3 イベントテキスト

### 11.3.2 操作ツール上の診断情報

機器で診断イベントが発生した場合、操作ツールのステータスエリア左上にステータス信号が、対応するイベントレベルのシンボルとともに表示されます (NAMUR NE 107 に準拠)。

ステータス信号をクリックすると、ステータス信号の詳細情報が表示されます。

未処理の診断メッセージは、**現在の診断メッセージ** パラメータにも表示されます。

診断イベントと対処法は、**診断リスト** サブメニューで印刷することができます。

### 11.3.3 ステータス信号

#### F

故障 (F)

機器エラーが発生。測定値は無効。

#### C

機能チェック (C)

機器はサービスモード (例: シミュレーション中)

#### S

仕様外 (S)

機器操作:

- 技術仕様の範囲外 (例: 始動時または洗浄中)
- ユーザーによる設定が範囲外 (例: センサ周波数が設定スパンの範囲外)

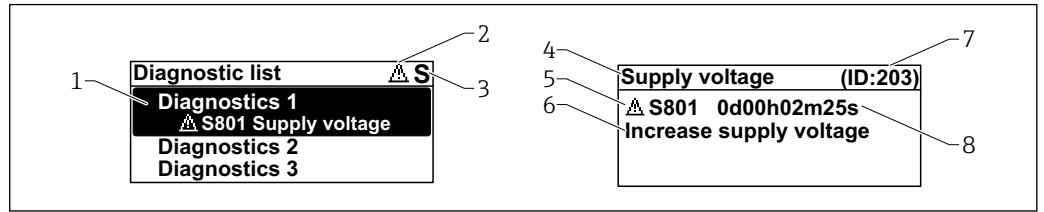
#### M

メンテナンスが必要 (M)

メンテナンスが必要。測定値は依然として有効。

### 11.3.4 診断イベントおよびイベントテキスト

診断イベントを使用してエラーを特定できます。イベントテキストにより、エラーに関する情報が提供されます。さらに、診断イベントの前に関連するステータスシンボルが表示されます。



A0051137

- 1 診断メッセージ
- 2 イベントレベルのシンボル
- 3 ステータス信号
- 4 ショートテキスト
- 5 イベントレベルのシンボル、ステータス信号、診断番号
- 6 対策
- 7 サービス ID
- 8 イベントの発生時間

#### イベントレベルのシンボル

##### ⊗「アラーム」ステータス

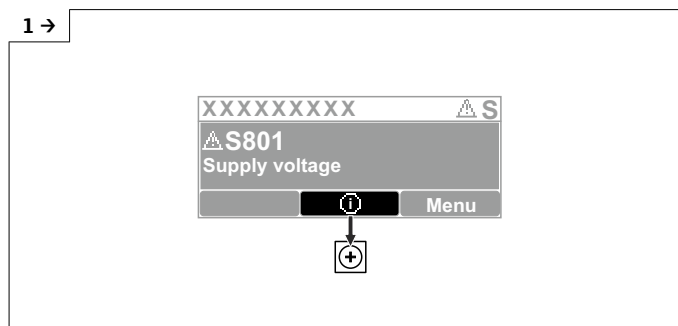
測定が中断します。信号出力が設定されたアラーム状態になります。診断メッセージが生成されます。

##### △「警告」ステータス

機器は測定を継続します。診断メッセージが生成されます。

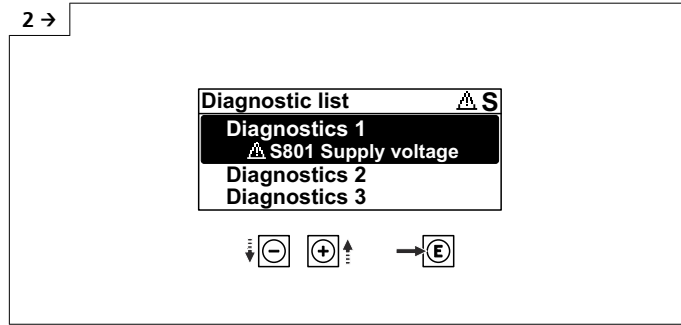
## 11.4 対処方法呼び出し

### 11.4.1 グラフィック表示部（キー付き）



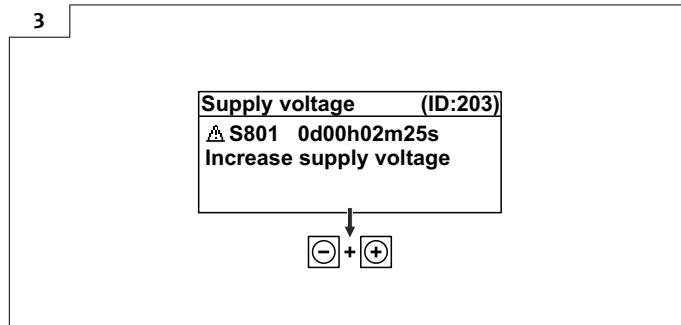
A0051131

- ▶ 診断リスト サブメニューを開きます。



A0051132

▶ 診断イベントを選択し、確認します。



A0051133

▶ 対処方法終了

### 11.4.2 操作メニュー

**診断リスト** サブメニューには、現在未処理の診断メッセージが最大 5 件表示されます。5 件以上のメッセージが未処理の場合は、最優先に処理する必要のあるメッセージが表示部に示されます。

#### ナビゲーションパス

診断 → 診断リスト

待機中の診断メッセージは、**現在の診断メッセージ** パラメータにも表示されます。

ナビゲーション：診断 → 現在の診断メッセージ

### 11.5 診断情報の適合

イベントレベルを設定できます。

ナビゲーション：診断 → 診断設定 → 設定

### 11.6 診断イベントのリスト

**i** 「対処方法 **Contact the Service Department** (当社サービス部門にお問い合わせください) と表示された場合は ([www.addresses.endress.com](http://www.addresses.endress.com))、示されたサービス ID を用意しておいてください。

診断番号	ショートテキスト	修理	ステータス信号 [工場出荷時]	診断動作 [工場出荷時]
<b>センサの診断</b>				
062	センサの接続不良	センサ接続を確認してください	F	Alarm



診断番号	ショートテキスト	修理	ステータス信号 [工場出荷時]	診断動作 [工場出荷時]
151	センサ基板故障	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	F	Alarm
168	付着を検知しました	プロセスの状態をチェックして下さい。	M	Warning <sup>1)</sup>
<b>電子部の診断</b>				
232	RTC 異常	メイン基板交換	M	Warning
242	ファームウェア互換性なし	1. ソフトウェアをチェックして下さい。 2. メイン電子モジュールのフラッシュまたは交換をして下さい。	F	Alarm
252	モジュールの互換性なし	1. 正しい電子モジュールが使われているか確認する 2. 電子モジュールを交換する	F	Alarm
270	メイン基板の故障	メイン基板交換	F	Alarm
272	メイン基板の不具合	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	F	Alarm
273	メイン基板の故障	メイン基板交換	F	Alarm
282	保存データが不整合	機器を再起動	F	Alarm
283	メモリ内容が不整合	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	F	Alarm
287	メモリ内容が不整合	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	M	Warning
331	ファームウェアのアップデートエラー	1. 機器のファームウェアをアップデートする。 2. 機器を再起動する。	M	Warning
388	電子部と HistoROM の故障	1. 機器を再起動してください。 2. エレクトロニックインサートと HistoROM を交換してください。 3. サービスに連絡してください。	F	Alarm
<b>設定の診断</b>				
410	データ転送エラー	1. データ転送を再試行して下さい。 2. 接続をチェックして下さい。	F	Alarm
412	ダウンロード処理中	ダウンロード中です。しばらくお待ち下さい。	S	Warning
435	リニアライゼーションが不完全	リニアライゼーションテーブルをチェックして下さい。	F	Alarm
436	日付と時刻が誤っている	日付と時刻の設定を確認	M	Warning <sup>1)</sup>
437	設定の互換性なし	1. ファームウェアをアップデートする 2. 工場リセットを実行する	F	Alarm
438	データセットの不一致	1. データセットファイルを確認してください。 2. 機器の変数を確認してください。 3. 新しい機器の設定をダウンロードしてください。	M	Warning
484	フェールセーフモードのシミュレーション実行中	シミュレータの無効化	C	Alarm
485	測定値のシミュレーション	シミュレータの無効化	C	Warning
495	診断イベントのシミュレーションを実行中	シミュレータの無効化	S	Warning
538	センサユニットのパラメータ設定が無効	1. センサの設定を確認してください 2. 機器の設定を確認してください	F	Alarm

診断番号	ショートテキスト	修理	ステータス信号 [工場出荷時]	診断動作 [工場出荷時]
585	シミュレーション距離	シミュレータの無効化	C	Warning
586	マップ記録	マッピング記録中 お待ち下さい	C	Warning
<b>プロセスの診断</b>				
801	供給電圧不足	供給電圧が低すぎます。電圧を上げてください。	S	Warning
802	供給電圧過多	供給電圧を下げてください	S	Warning
825	電気部内温度	1. 周囲温度をチェックして下さい。 2. プロセス温度をチェックして下さい。	S	Warning
826	センサ温度が仕様範囲外	1. 周囲温度をチェックして下さい。 2. プロセス温度をチェックして下さい。	S	Warning
941	エコーロスト	1. パラメータ'DC 値'のチェックして下さい	S	Warning <sup>1)</sup>
942	安全距離内	1. レベルをチェックして下さい 2. 安全距離のチェックして下さい	S	Warning <sup>1)</sup>
952	泡を検知しました	プロセスの状態をチェックして下さい。	S	Warning <sup>1)</sup>
968	レベル制限	1. レベルのチェックして下さい。 2. 制限パラメータのチェックして下さい。	S	Warning

1) 診断動作を変更できます。

## 11.7 イベントログブック

### 11.7.1 イベント履歴

**イベントログブック** サブメニューでは、発生したイベントメッセージの一覧を時系列に表示できます。このサブメニューは、現場表示器のキーによる操作でのみ表示されます。FieldCare を介して操作する場合、イベントリストは FieldCare の「イベントリスト/HistoROM」機能で表示できます。

#### ナビゲーション：

診断 → イベントログブック → イベントリスト

最大 100 件のイベントメッセージを時系列に表示できます。

イベント履歴には、次の入力項目が含まれます。

- 診断イベント
- 情報イベント

各イベントの発生時間に加えて、そのイベントの発生または終了を示すシンボルも割り当てられます。

- 診断イベント
  - ⊕：イベントの発生
  - ⊖：イベントの終了
- 情報イベント
  - ⊕：イベントの発生

#### 対処法の呼び出しと終了

1. **⊖** を押します。
  - ↳ 選択した診断イベントの対処法に関するメッセージが開きます。

2. □ + ⊕ を同時に押します。  
 ↳ 対処法に関するメッセージが閉じます。

### 11.7.2 イベントログのフィルタ処理

フィルタを使用して、**イベントリスト** サブメニューに表示するイベントメッセージの  
 カテゴリーを指定できます。

ナビゲーション：診断 → イベントログブック

#### フィルタカテゴリー

- すべて
- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様範囲外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 情報

### 11.7.3 情報イベントの概要

情報番号	情報名
I1000	----- (装置 OK)
I1079	センサが交換されました。
I1089	電源オン
I1090	設定のリセット
I1091	設定変更済
I11036	日時が設定されました
I11074	機器の検証がアクティブ
I1110	書き込み禁止スイッチ変更
I1151	履歴のリセット
I1154	最小/最大端子電圧のリセット
I1155	電子部内温度のリセット
I1157	メモリエラー イベントリスト
I1256	表示: アクセスステータス変更
I1264	安全機能が中断されました
I1335	ファームウェアの変更
I1397	フィールドバス: アクセスステータス変更
I1398	CDI: アクセスステータス変更
I1440	メイン電子モジュールが交換されました
I1444	機器の検証パス
I1445	機器の検証のフェール
I1461	フェール: センサの検証
I1512	ダウンロードを開始しました
I1513	ダウンロード終了
I1514	アップロード開始
I1515	アップロード完了
I1551	割り当てエラーの修正
I1552	フェール: メイン電子モジュール検証
I1554	安全手順の開始


情報番号	情報名
I1555	安全手順が確認されました
I1556	安全モードオフ
I1663	電源オフ
I1666	クロック同期
I1712	新しいフラッシュファイルを受領
I1956	リセット

## 11.8 機器のリセット

### 11.8.1 操作ツールを使用したパスワードリセット

現在の「メンテナンス」パスワードをリセットするコードを入力します。  
コードは現地サポートから提供されます。


ナビゲーション: システム → ユーザー管理 → パスワードリセット → パスワードリセット

 **パスワードリセット** パラメータの詳細: 機能説明書

### 11.8.2 操作ツールを使用した機器リセット

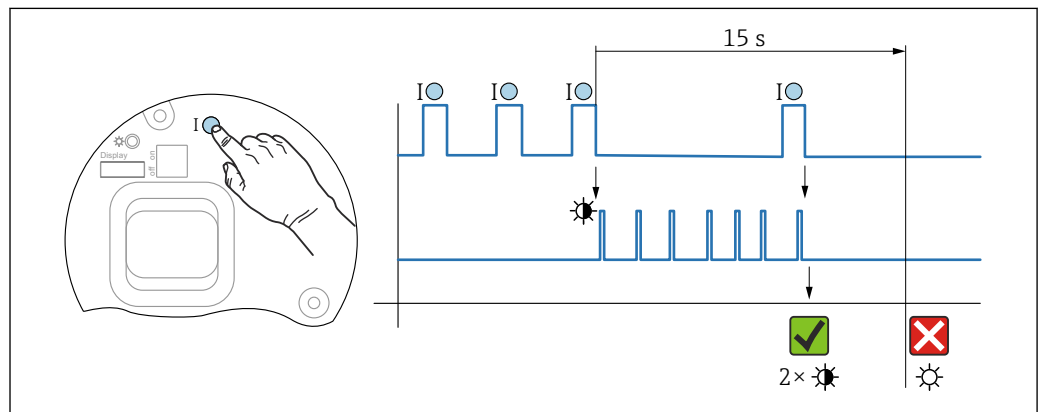
機器の設定をリセットします-全部または一部を-決められた状態に


ナビゲーション: システム → 機器管理 → 機器リセット

 **機器リセット** パラメータの詳細: 機能説明書

### 11.8.3 エレクトロニックインサートのキーによる機器のリセット

#### パスワードのリセット



 22 パスワードリセットのシーケンス

#### パスワードの削除/リセット

1. 操作キー I を 3 回押します。  
↳ パスワードのリセット機能が開始され、LED が点滅します。
2. 操作キー I を 15 秒以内に 1 回押します。  
↳ パスワードがリセットされ、LED が短く点滅します。

操作キー I を 15 秒以内に押さなかった場合、アクションがキャンセルされ、LED が消灯します。

## 機器を初期設定にリセット

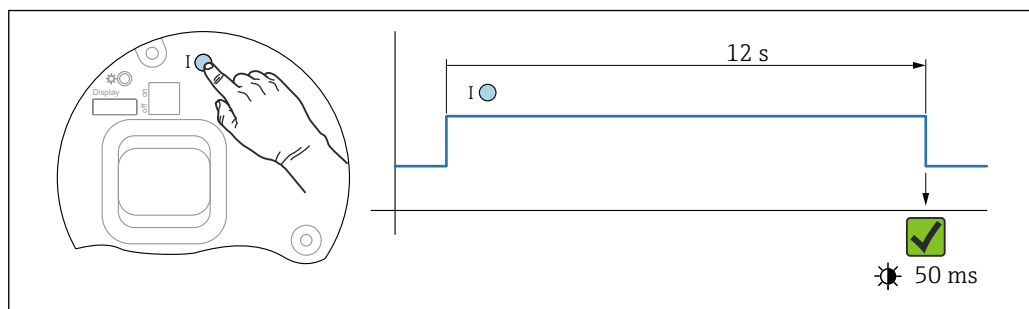


図 23 シーケンス - 初期設定

## 機器を初期設定にリセット

- ▶ 操作キー I を 12 秒以上押します。
  - ↳ 機器データが初期設定にリセットされ、LED が短く点滅します。

## 11.9 機器情報

機器に関するすべての情報は、**情報** サブメニューで確認できます。

ナビゲーション：システム → 情報

📖 **情報** サブメニューの詳細：機能説明書

## 11.10 ファームウェアの履歴

**i** ファームウェアバージョンは、製品構成を使用して注文時に指定できます。これにより、既存のまたは計画中のシステムインテグレーションとファームウェアバージョンの互換性を確保することが可能です。

### バージョン

#### 01.00.00

- 初期ソフトウェア
- 2023 年 5 月 1 日から有効

## 12 メンテナンス

特別なメンテナンスは不要です。

### 12.1 洗浄

#### 12.1.1 非接液部の表面の洗浄

- 推奨：乾いた布、または水で少し湿らせた糸くずの出ない布を使用してください。
- 先の尖ったもの、または表面（ディスプレイ、ハウジングなど）やシールを腐食させる腐食性の高い洗浄剤は使用しないでください。
- 高圧蒸気を使用しないでください。
- 機器の保護等級に注意してください。

**i** 使用する洗浄剤は、機器構成の材質と適合する必要があります。濃硫酸、塩基、有機溶剤を含む洗浄剤は使用しないでください。

### 12.1.2 接液部の表面の洗浄

定置洗浄/定置滅菌 (CIP/SIP) については、以下の点に注意してください。

- 接液部材質が十分に耐性を持つ洗浄剤のみを使用してください。
- 最高許容測定物温度に注意してください。

## 12.2 シール

**i** 機器のプロセス接続部に配置されたプロセスシールは、定期的に交換する必要があります。交換間隔は、洗浄サイクルの頻度、洗浄温度、および流体温度に左右されます。


## 13 修理

### 13.1 一般情報

#### 13.1.1 修理コンセプト

Endress+Hauser 修理コンセプト

- 機器はモジュール構造です。
- 当社サービス部門または適切なトレーニングを受けたユーザーが修理を実施できます。
- スペアパーツは合理的なキットに分類され、関連する交換説明書が付属します。

 点検およびスペアパーツの詳細については、当社営業所もしくは当社代理店にお問い合わせください。

#### 13.1.2 防爆認定機器の修理

##### 警告

**不適切な修理により、電気の安全性が損なわれます。**

爆発の危険性

- ▶ 防爆認証機器は、国内規制に従って専門家または当社サービス担当者のみが修理できます。
- ▶ 関連規格、危険場所に関する国内規制、安全上の注意事項および証明書に従ってください。
- ▶ 当社の純正スペアパーツのみを使用してください。
- ▶ 銘板に記載された機器構成に注意してください。同等のパーツのみ交換パーツとして使用できます。
- ▶ 適切な関連資料の指示に従って修理してください。
- ▶ 認定機器を改造して別の認定バージョンに変更できるのは、当社サービス担当者に限られます。

### 13.2 スペアパーツ



現在用意されている機器のスペアパーツをオンラインでご確認いただけます：  
<https://www.endress.com/deviceviewer> (→ シリアル番号を入力)。

### 13.3 交換

##### 注意

**機器を安全関連アプリケーションに使用する場合、データのアップロード/ダウンロードは禁止されています。**

- ▶ 機器全体または電子モジュールの交換後、通信インターフェイスを介して機器にパラメータを再度ダウンロードすることができます。これを行うには、「FieldCare/DeviceCare」ソフトウェアを使用して、事前にデータを PC にアップロードしておく必要があります。

### 13.3.1 HistoROM

表示ディスプレイまたは変換器の電子モジュールの交換後に、新しい機器校正を実行する必要はありません。



スペアパーツに HistoROM は付属しません。

変換器の電子モジュールを取り外してから HistoROM を取り外し、交換後の新しいスペアパーツに装着します。

## 13.4 返却

機器の安全な返却要件は、機器の種類と各国の法によって異なります。

1. ウェブページの情報を参照してください。  
<https://www.endress.com/support/return-material>  
↳ 地域を選択します。
2. 機器を返却する場合、機器が衝撃や外部の影響から確実に保護されるように梱包してください。納入時の梱包材を使用すると、最適な保護効果が得られます。

## 13.5 廃棄



電子・電気機器廃棄物 (WEEE) に関する指令 2012/19/EU により必要とされる場合、分別されていない一般廃棄物として処理する WEEE を最小限に抑えるため、製品には絵文字シンボルが付いています。このマークが付いている製品は、分別しない一般ゴミとしては廃棄しないでください。代わりに、適切な条件下で廃棄するために製造者へご返送ください。



## 14 アクセサリ

### 14.1 日除けカバー : SUS 316L 相当、XW112

日除けカバーは、製品構成の「同梱アクセサリ」から機器と一緒に注文できます。

これは機器を直射日光、雨水、雹などから保護するために使用します。

SUS 316L 相当製の日除けカバーは、アルミニウムまたは SUS 316L 相当製のデュアルコンパートメントハウジングに適合します。納入品には、ハウジングへの直接取付け用のホルダが含まれます。

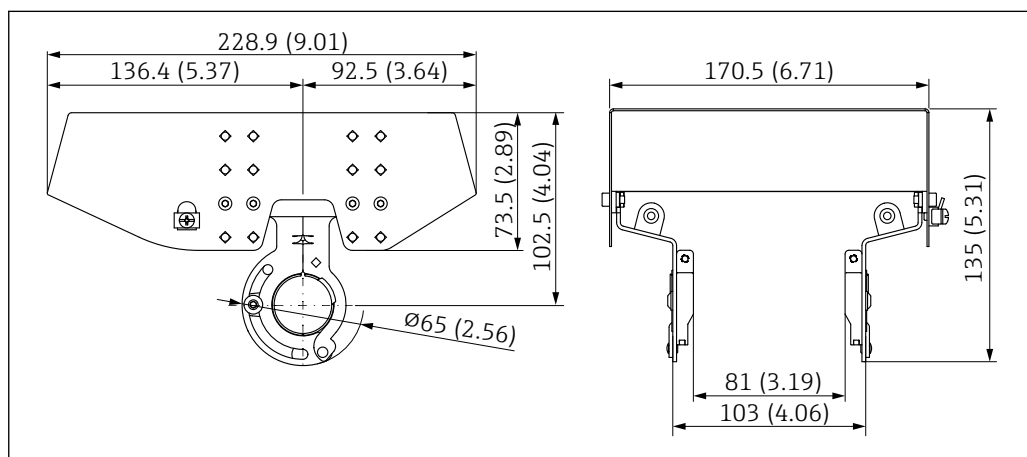



図 24 日除けカバー、SUS 316L 相当、XW112 の寸法。測定単位 mm (in)

#### 材質

- 日除けカバー : SUS 316L 相当
- 締付けネジ : A4
- ホルダ : SUS 316L 相当

アクセサリオーダーコード :

71438303

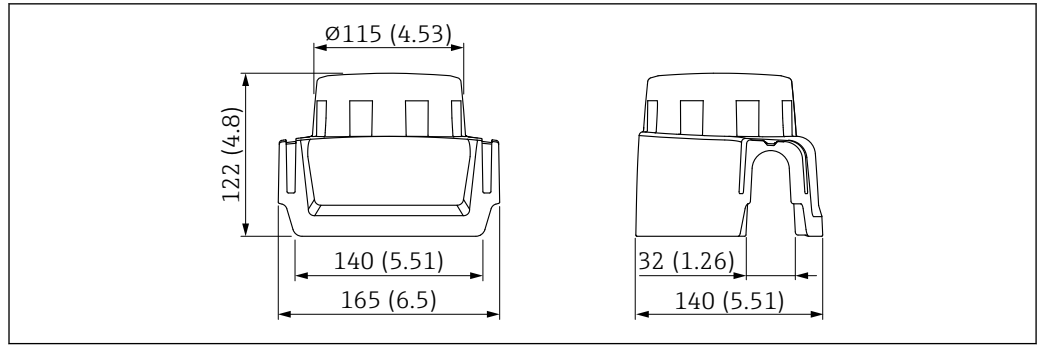
 個別説明書 SD02424F

### 14.2 日除けカバー、プラスチック、XW111

日除けカバーは、製品構成の「同梱アクセサリ」から機器と一緒に注文できます。

これは機器を直射日光、雨水、雹などから保護するために使用します。

プラスチック製の日除けカバーは、アルミニウム製のシングルコンパートメントハウジングに適合します。納入品には、ハウジングへの直接取付け用のホルダが含まれます。




A0038280

図 25 日除けカバー、プラスチック、XW111 の寸法。測定単位 mm (in)

**材質**

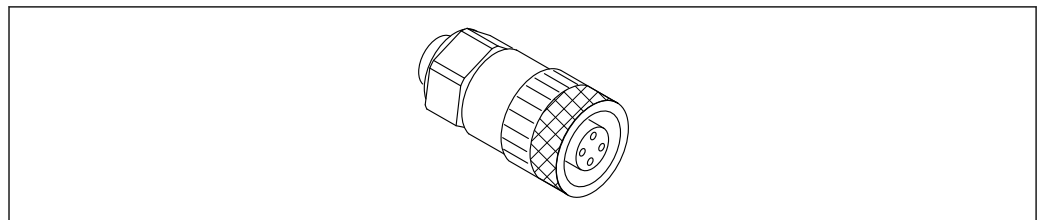
プラスチック

アクセサリオーダーコード：  
71438291

 個別説明書 SD02423F

**14.3 M12 プラグコネクタ**


**14.3.1 M12 ソケット、ケーブル側**



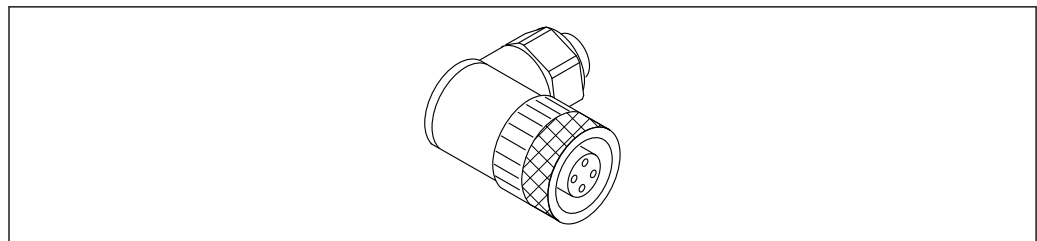
A0051231

図 26 M12 ソケット、ケーブル側

- 材質：
  - 本体：PBT
  - ユニオンナット：ニッケルめっきダイカスト亜鉛
  - シール：NBR
- 保護等級（完全ロック時）：IP67
- Pg カップリング：Pg7
- オーダーコード：52006263

 個別説明書 SD02586F


**14.3.2 M12 ソケット、90 度、ケーブル側**



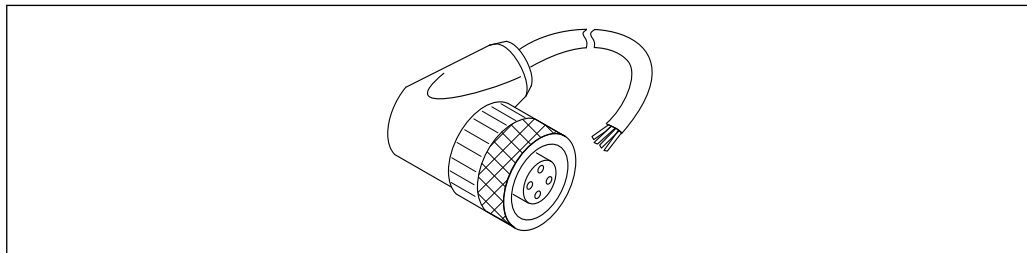
A0051232

図 27 M12 ソケット、アングル


- 材質：
  - 本体：PBT
  - ユニオンナット：ニッケルめっきダイカスト亜鉛
  - シール：NBR
- 保護等級（完全ロック時）：IP67
- Pg カップリング：Pg7
- オーダーコード：71114212

 個別説明書 SD02586F


### 14.3.3 M12 ソケット、100 度、5 m (16 ft) ケーブル



A0051233

 28 M12 ソケット、100 度、5 m (16 ft) ケーブル

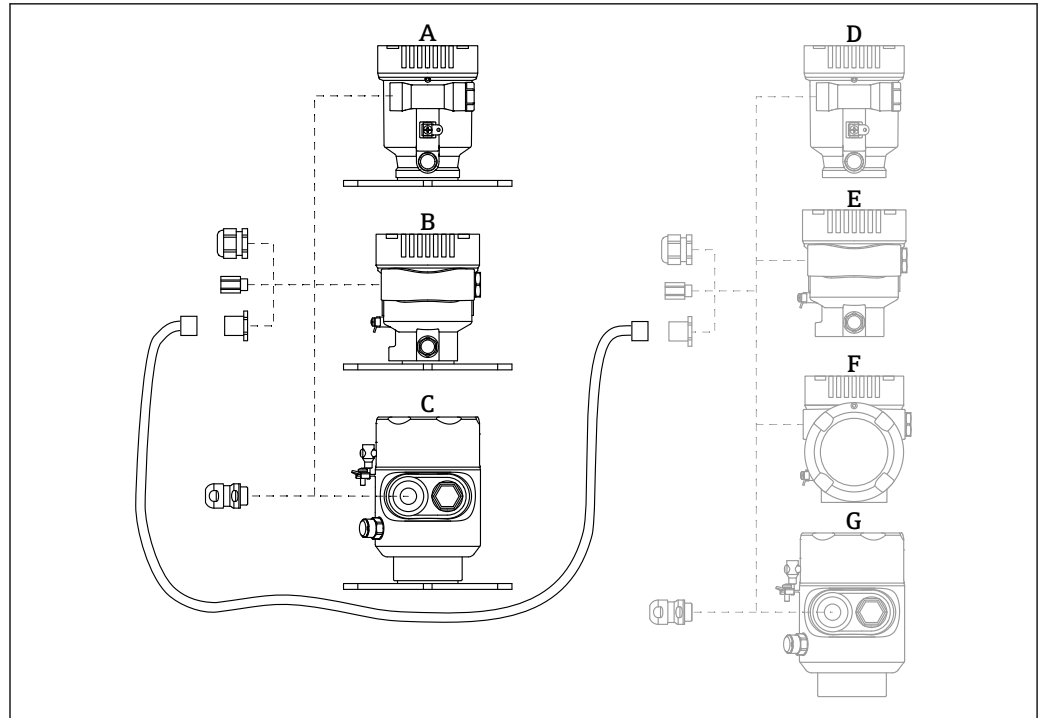
- M12 ソケット材質：
  - 本体：TPU
  - ユニオンナット：ニッケルめっきダイカスト亜鉛
- ケーブル材質：
  - PVC
- ケーブル Li Y YM 4×0.34 mm<sup>2</sup> (20 AWG)
- ケーブルカラー
  - 1 = BN = 茶
  - 2 = WH = 白
  - 3 = BU = 青
  - 4 = BK = 黒
- オーダーコード：52010285

 個別説明書 SD02586F

## 14.4 リモートディスプレイ FHX50B

リモートディスプレイは製品コンフィギュレータからご注文いただけます。

リモート表示部を使用する場合、機器バージョン「**表示部 FHX50 用**」を注文する必要があります。



A0046692

- A シングルコンパートメントハウジング、プラスチック、リモートディスプレイ
- B シングルコンパートメントハウジング、アルミニウム、リモートディスプレイ
- C シングルコンパートメントハウジング、SUS 316L 相当、サニタリ仕様、リモートディスプレイ
- D 機器側、シングルコンパートメントハウジング、プラスチック、FHX50B 表示部用
- E 機器側、シングルコンパートメントハウジング、アルミニウム、FHX50B 表示部用
- F 機器側、デュアルコンパートメントハウジング、L 字型、FHX50B 表示部用
- G 機器側、シングルコンパートメントハウジング、SUS 316L 相当、サニタリ仕様、FHX50B 表示部用

### シングルコンパートメントハウジング（リモートディスプレイ）の材質

- アルミニウム
- プラスチック

### 保護等級：

- IP68 / NEMA 6P
- IP66 / NEMA 4x

### 接続ケーブル：

- 接続ケーブル（オプション）：最大 30 m (98 ft)
- ユーザー側で用意する標準ケーブル、最大 60 m (197 ft)  
推奨：EtherLine®-P CAT.5e (LAPP 製)

### ユーザー側で用意する接続ケーブルの仕様

Push-in CAGE CLAMP® 接続技術、プッシュイン接続

- 導体断面積：
  - 単線 0.2~0.75 mm<sup>2</sup> (24~18 AWG)
  - 細より線 0.2~0.75 mm<sup>2</sup> (24~18 AWG)
  - 細より線、絶縁棒端子付き 0.25~0.34 mm<sup>2</sup>
  - 細より線、絶縁棒端子なし 0.25~0.34 mm<sup>2</sup>
- ケーブルの剥きしろ 7~9 mm (0.28~0.35 in)
- 外径：6~10 mm (0.24~0.4 in)
- 最大ケーブル長：60 m (197 ft)

### 周囲温度：

- -40~+80 °C (-40~+176 °F)
- オプション：-50~+80 °C (-58~+176 °F)



個別説明書 SD02991F


## 14.5 ガスタイトフィードスルー

化学的に不活性なガラスフィードスルーにより、電子回路部ハウジングへのガスの流入が防止されます。

製品構成の「取付アクセサリ」からオプションとしてご注文いただけます。


## 14.6 Field Xpert SMT70

危険場所 (Ex ゾーン 2) および非危険場所でのユニバーサル機器設定が可能な高性能タブレット PC

 技術仕様書 TI01342S

## 14.7 DeviceCare SFE100


フィールド機器 (HART、PROFIBUS、FOUNDATION フィールドバス) 用の設定ツール

 技術仕様書 TI01134S

## 14.8 FieldCare SFE500

FDT ベースのプラントアセットマネジメントツール

システム内のすべてのインテリジェントフィールド機器を設定できるため、管理作業に役立ちます。ステータス情報を使用することにより、各機器のステータスと状態を容易かつ効果的にチェックできます。

 技術仕様書 TI00028S

## 15 技術データ

### 15.1 入力

測定変数 測定変数は測定基準点から測定対象物表面までの距離となります。入力した 0 % 距離「E」に基づき、レベルが算出されます。

測定範囲 測定範囲はビームがタンク底部に当たる地点から始まります。特に球形の基部やコンカル形状をした排出部の場合、この点より下のレベルを測定できません。

#### 最大測定範囲

最大測定範囲は、アンテナサイズおよび構成に応じて異なります。

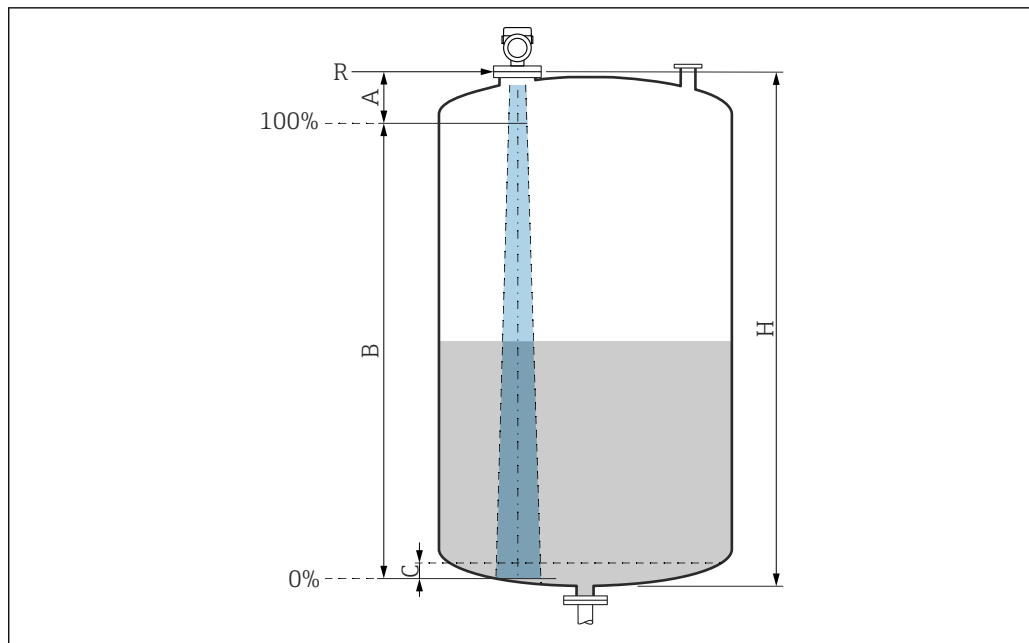
アンテナ	最大測定範囲
ホーン、SUS 316L 相当、65 mm (2.6 in)	80 m (262 ft)
ドリップオフ、PTFE、50 mm (2 in)	50 m (164 ft)
外装付フラッシュマウント、PTFE、50 mm (2 in)	50 m (164 ft)
外装付フラッシュマウント、PTFE、80 mm (3 in)	80 m (262 ft)

#### 有効な測定範囲

有効な測定範囲はアンテナサイズ、測定物の反射特性、設置位置、不要反射の度合いに応じて異なります。

原則として、アンテナの先端まで測定することができます。

腐食性の高い測定物やアンテナ上の付着物による機器の損傷を回避するために、測定範囲の上限はアンテナ先端より 10 mm (0.4 in) 手前の位置を選択してください。



A0051658

#### 図 29 有効な測定範囲

- A アンテナサイズ + 10 mm (0.4 in)
- B 有効な測定範囲
- C 50~80 mm (1.97~3.15 in) ; 測定物  $\epsilon_r < 2$
- H タンク高さ
- R 測定基準点、アンテナシステムに応じて異なる

図 29 基準点の詳細については、→ 図 28 構造を参照

測定物の比誘電率が低い場合 ( $\epsilon_r < 2$ )、液面のレベルが非常に低いときに (レベル C 未満)、測定物を透過してタンク底部をとらえてしまうことがあります。この場合、この範囲において測定精度の低下が予想されます。このような精度の低下を許容できないアプリケーションでは、タンク底部から上方に距離 C の間隔を空けた位置にゼロ点を設定してください → 図 29 有効な測定範囲。

次のセクションでは、アプリケーションおよび測定物グループの種類に応じた測定可能な測定範囲について説明します。測定物の比誘電率が不明な場合は、信頼性の高い測定を実現するために測定物グループを B と仮定してください。

**測定物グループ**

- **A0** ( $\epsilon_r$  1.2~1.4)  
例：n-ブタン、液体窒素、液体水素
- **A** ( $\epsilon_r$  1.4~1.9)  
非導電性液体、例：液化ガス
- **B** ( $\epsilon_r$  1.9~4)  
非導電性液体、例：ガソリン、石油、トルエンなど
- **C** ( $\epsilon_r$  4~10)  
例：濃酸、有機溶剤、エステル、アニリンなど
- **D** ( $\epsilon_r > 10$ )  
導電性液体、水溶液、希釈酸、塩基、アルコール

**i** 以下の吸収気相を含む測定物の測定

- 例：
- アンモニア
  - アセトン
  - 塩化メチレン
  - メチルエチルケトン
  - 酸化プロピレン
  - VCM (塩化ビニルモノマー)

吸収気体を測定する場合は、測定周波数または測定原理が異なるガイドレーダー機器を使用してください。

上記のいずれかの測定物を測定する場合は、弊社にお問い合わせください。

**i** 産業で一般的に使用される多数の測定物の比誘電率値 ( $\epsilon_r$  値) については、以下を参照してください。

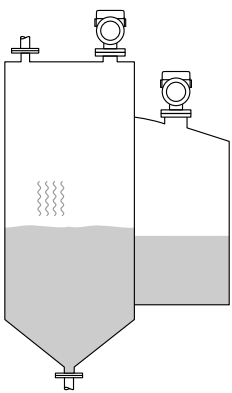
- カタログ「比誘電率 ( $\epsilon_r$  値) 一覧」(CP01076F)
- Endress+Hauser「DC Values (DC 値) アプリ」(Android および iOS で使用可能)

**貯蔵タンク内の測定**

**貯蔵タンク - 測定条件**

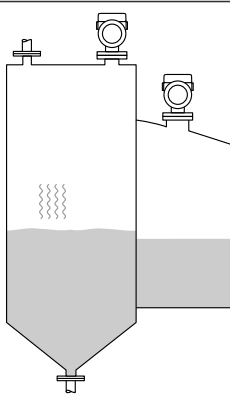
静かな液面 (例：底部から充填する場合、浸漬パイプにより充填する場合、上部からの充填をほとんど行わない場合)

**PTFE ドリップオフアンテナ、50 mm (2 in)、貯蔵タンク内**

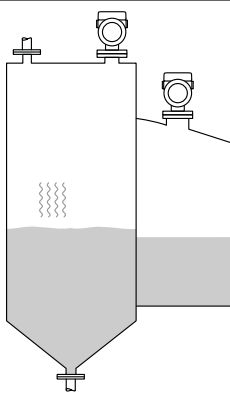
	測定物グループ	測定範囲
	<b>A0</b> ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	7 m (23 ft)
	<b>A</b> ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	12 m (39 ft)
	<b>B</b> ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	23 m (75 ft)
	<b>C</b> ( $\epsilon_r$ 4~10)	40 m (131 ft)
	<b>D</b> ( $\epsilon_r > 10$ )	50 m (164 ft)



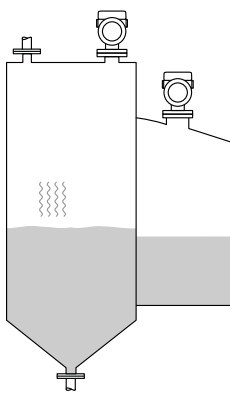
## PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、50 mm (2 in)、貯蔵タンク内

	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	7 m (23 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	12 m (39 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	23 m (75 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	40 m (131 ft)
	D ( $\epsilon_r$ >10)	50 m (164 ft)

## PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、80 mm (3 in)、貯蔵タンク内

	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	22 m (72 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	40 m (131 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	50 m (164 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	65 m (231 ft)
	D ( $\epsilon_r$ >10)	80 m (262 ft)

## ホーンアンテナ、SUS 316L 相当、65 mm (2.6 in)、貯蔵タンク内

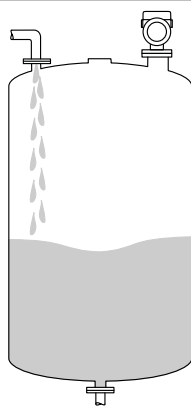
	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	20 m (66 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	36 m (118 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	45 m (148 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	58 m (190 ft)
	D ( $\epsilon_r$ >10)	72 m (236 ft)

## バッファタンク内の測定

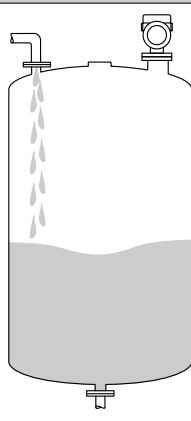
## バッファタンク - 測定条件

動きのある液面 (例: 上部から継続的に充填を行う場合、タンクで液循環を行う場合)

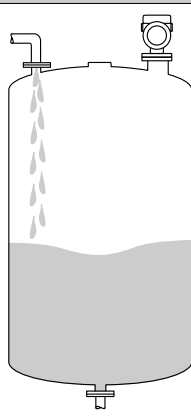
**PTFE ドリップオフアンテナ、50 mm (2 in)、バッファタンク内**

	測定物グループ	測定範囲
	<b>A0</b> ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	4 m (13 ft)
	<b>A</b> ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	7 m (23 ft)
	<b>B</b> ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	13 m (43 ft)
	<b>C</b> ( $\epsilon_r$ 4~10)	28 m (92 ft)
	<b>D</b> ( $\epsilon_r >10$ )	44 m (144 ft)

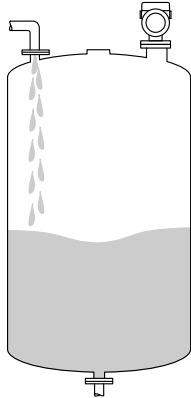
**PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、50 mm (2 in)、バッファタンク内**

	測定物グループ	測定範囲
	<b>A0</b> ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	4 m (13 ft)
	<b>A</b> ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	7 m (23 ft)
	<b>B</b> ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	13 m (43 ft)
	<b>C</b> ( $\epsilon_r$ 4~10)	28 m (92 ft)
	<b>D</b> ( $\epsilon_r >10$ )	44 m (144 ft)

**PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、80 mm (3 in)、バッファタンク内**

	測定物グループ	測定範囲
	<b>A0</b> ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	12 m (39 ft)
	<b>A</b> ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	23 m (75 ft)
	<b>B</b> ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	45 m (148 ft)
	<b>C</b> ( $\epsilon_r$ 4~10)	60 m (197 ft)
	<b>D</b> ( $\epsilon_r >10$ )	70 m (230 ft)

ホーンアンテナ、SUS 316L 相当、65 mm (2.6 in)、バッファタンク内

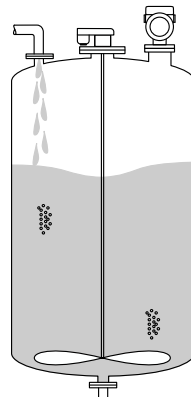
	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	11 m (36 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	21 m (69 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	40 m (131 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	54 m (177 ft)
	D ( $\epsilon_r$ >10)	63 m (207 ft)

攪拌器付きタンク内の測定

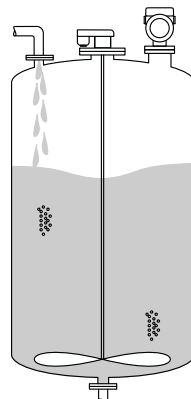
攪拌器付きタンク - 測定条件

荒れた液面 (例: 上部から充填する場合、攪拌器やバッフルを使用する場合)

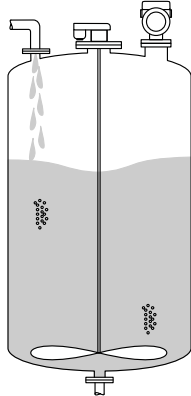
PTFE ドリップオフアンテナ、50 mm (2 in)、攪拌器付きタンク内

	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	2 m (7 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	4 m (13 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	7 m (23 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	15 m (49 ft)
	D ( $\epsilon_r$ >10)	25 m (82 ft)

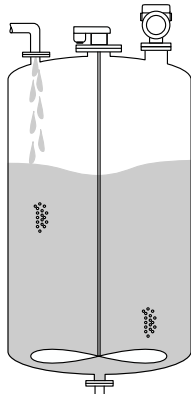
PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、50 mm (2 in)、攪拌器付きタンク内

	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	2 m (7 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	4 m (13 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	7 m (23 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	15 m (49 ft)
	D ( $\epsilon_r$ >10)	25 m (82 ft)

**PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、80 mm (3 in)、攪拌器付きタンク内**

	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	7 m (23 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	13 m (43 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	25 m (82 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	50 m (164 ft)
	D ( $\epsilon_r >10$ )	60 m (197 ft)


**ホーンアンテナ、SUS 316L 相当、65 mm (2.6 in)、攪拌器付きタンク内**

	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	6 m (20 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	12 m (39 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	22 m (72 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	45 m (147 ft)
	D ( $\epsilon_r >10$ )	54 m (177 ft)

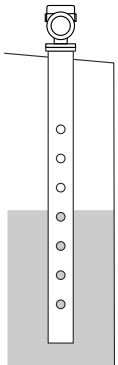
**内筒管内の測定**

**内筒管のプロセス条件**

タンクの使用条件：静かな液面（例：底部から充填する場合、保護パイプにより充填する場合、上部からの充填をほとんど行わない場合）


 内筒管の直径や品質によっては、精度が低下する可能性があります。

**PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、80 mm (3 in)、内筒管内**

	測定物グループ	測定範囲
	A0 ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	20 m (66 ft)
	A ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	20 m (66 ft)
	B ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	20 m (66 ft)
	C ( $\epsilon_r$ 4~10)	20 m (66 ft)
	D ( $\epsilon_r >10$ )	20 m (66 ft)

**バイパスで測定****バイパスのプロセス条件**

タンクの使用条件：動きのある液面（例：上部から継続的に充填を行う場合、タンクで液循環を行う場合）

 バイパスの直径やパイプの品質によっては、精度が低下する可能性があります。

**PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、80 mm (3 in)、外筒管内**

	測定物グループ	測定範囲
	<b>A0</b> ( $\epsilon_r$ 1.2~1.4)	20 m (66 ft)
	<b>A</b> ( $\epsilon_r$ 1.4~1.9)	20 m (66 ft)
	<b>B</b> ( $\epsilon_r$ 1.9~4)	20 m (66 ft)
	<b>C</b> ( $\epsilon_r$ 4~10)	20 m (66 ft)
	<b>D</b> ( $\epsilon_r$ >10)	20 m (66 ft)

動作周波数

約 80 GHz

機器の相互干渉を起こすことなく、最大 8 台の機器を同じタンクに設置できます。

送信出力

- ピーク出力：<1.5 mW
- 平均出力：<70  $\mu$ W

**15.2 出力**

PROFINET-APL

**PROFINET (Ethernet-APL 対応)**  
10BASE-T1L、2 線式 10 Mbit/s

アラーム時の信号

**現場表示器**

ステータス信号 (NAMUR 推奨 NE 107 に準拠)：  
ブレンテキスト表示

**サービスインターフェイス (CDI) 経由の操作ツール**

ステータス信号 (NAMUR 推奨 NE 107 に準拠)：  
ブレンテキスト表示

**PROFINET (Ethernet-APL 対応) 経由の操作ツール**

- 「分散周辺機器用のアプリケーション層プロトコル」バージョン 2.4 に準拠
- PROFINET PA Profile 4.02 に準拠した診断

リニアライゼーション

本機のリニアライゼーション機能を使用すると、測定値を任意の長さ、質量、流量、または体積の単位に変換できます。

**事前プログラムされたリニアライゼーションカーブ**


以下のタンクの体積計算用のリニアライゼーションテーブルが、機器にあらかじめプログラム設定されています。

- 角錐底
- 円錐底
- 傾斜底
- 水平円筒
- 球形

その他リニアライゼーションテーブルの最大 32 までの値の組合せは手動で入力可能です。

**PROFINET (Ethernet-APL 対応)**

<b>プロトコル</b>	分散周辺機器および分散オートメーション用のアプリケーション層プロトコル、バージョン 2.4
<b>通信タイプ</b>	Ethernet 高度な物理層 10BASE-T1L
<b>Conformance Class</b>	Conformance Class B
<b>Netload Class</b>	Netload Class II
<b>通信速度</b>	自動 10 Mbit/s (全二重検出)
<b>サイクル時間</b>	32 ms から
<b>極性</b>	自動極性 (クロスした TxD および RxD ペアの自動補正用)
<b>メディア冗長性プロトコル (MRP)</b>	あり
<b>システム冗長サポート</b>	システム冗長 S2 (2 AR, 1 NAP)
<b>機器プロファイル</b>	アプリケーションインターフェイス識別名 0xB321 一般機器
<b>製造者 ID</b>	0x11
<b>機器タイプ ID</b>	0xA1C1
<b>DD ファイル (GSD、FDI、DTM、DD)</b>	情報およびファイルは以下から入手できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a> 機器の製品ページから：ドキュメント/ソフトウェア → デバイスドライバ</li> <li>■ <a href="http://www.profibus.org">www.profibus.org</a></li> </ul>
<b>サポートされる接続</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2 x AR (IO コントローラ AR)</li> <li>■ 1 x AR (IO スーパーバイザー機器 AR 接続許可)</li> <li>■ 1 x 入力 CR (Communication Relation、通信関係)</li> <li>■ 1 x 出力 CR (Communication Relation、通信関係)</li> <li>■ 1 x アラーム CR (Communication Relation、通信関係)</li> </ul>
<b>機器の設定オプション</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造者固有のソフトウェア (FieldCare、DeviceCare)</li> <li>■ ウェブブラウザ</li> <li>■ 機器マスターファイル (GSD)：機器の内蔵 Web サーバーを介して読み出し可能</li> <li>■ サービス IP アドレス設定用の DIP スイッチ</li> </ul>
<b>機器名の設定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DCP プロトコル</li> <li>■ プロセスデバイスマネージャ (PDM)</li> <li>■ 内蔵 Web サーバー</li> </ul>


サポートされる機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 識別およびメンテナンス 以下による容易な機器識別： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 制御システム</li> <li>■ 銘板</li> </ul> </li> <li>■ 測定値のステータス プロセス変数は測定値ステータスと通信</li> <li>■ 容易な機器識別と割り当てのため、現場表示器を介した点滅機能</li> <li>■ 操作ツール（例：FieldCare、DeviceCare、SIMATIC PDM）を使用した操作</li> </ul>
システム統合	<p>システム統合の詳細については、 取扱説明書を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ サイクリックデータ伝送</li> <li>■ 概要およびモジュールの説明</li> <li>■ ステータス符号化</li> <li>■ スタートアップ設定</li> <li>■ 初期設定</li> </ul>

### 15.3 環境

#### 周囲温度範囲

以下の値は、最高 +85 °C (+185 °F) までのプロセス温度に対して有効です。プロセス温度がこれよりも高い場合は、許容周囲温度は低くなります。


- 液晶ディスプレイなし：
  - 標準：-40～+85 °C (-40～+185 °F)
- 液晶ディスプレイあり：-40～+85 °C (-40～+185 °F)、表示速度やコントラストなどの光学特性に制約あり。-20～+60 °C (-4～+140 °F) までは制約なしで使用できます。

-  強い直射日光が当たる屋外で使用する場合：
- 機器を日陰に設置してください。
  - 特に高温地域では直射日光は避けてください。
  - 日除けカバーを使用してください（アクセサリを参照）。

#### 周囲温度限界

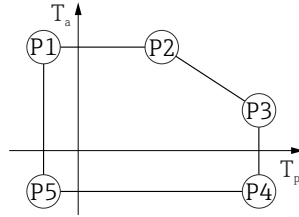
許容周囲温度 ( $T_a$ ) は、選択するハウジング材質（製品コンフィギュレータ → ハウジング；材質 →）および選択するプロセス温度範囲（製品コンフィギュレータ → アプリケーション →）に応じて異なります。

プロセス接続の温度 ( $T_p$ ) に応じて、許容周囲温度 ( $T_a$ ) は低下します。

-  以下の情報は、機能面のみを考慮したものです。認定機器バージョンについては、その他の制約がある場合があります。

プラスチックハウジング

プラスチックハウジング ; プロセス温度  $-20\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )



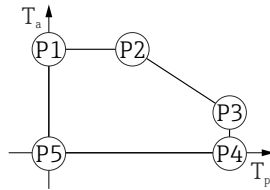
A0032024

図 30 プラスチックハウジング ; プロセス温度  $-20\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

- P1 =  $T_p: -20\text{ }^{\circ}\text{C} (-4\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C} (+169\text{ }^{\circ}\text{F})$
- P2 =  $T_p: +76\text{ }^{\circ}\text{C} (+169\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C} (+169\text{ }^{\circ}\text{F})$
- P3 =  $T_p: +150\text{ }^{\circ}\text{C} (+302\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: +25\text{ }^{\circ}\text{C} (+77\text{ }^{\circ}\text{F})$
- P4 =  $T_p: +150\text{ }^{\circ}\text{C} (+302\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: -20\text{ }^{\circ}\text{C} (-4\text{ }^{\circ}\text{F})$
- P5 =  $T_p: -20\text{ }^{\circ}\text{C} (-4\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: -20\text{ }^{\circ}\text{C} (-4\text{ }^{\circ}\text{F})$

**i** プラスチックハウジングを備えた、CSA C/US 認定機器の場合、選択可能なプロセス温度  $-20\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) は  $0\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) に制限されま  
す。

CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジングの場合はプロセス温度  $0\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) に制限



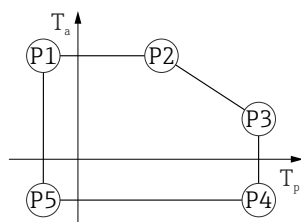
A0048826

図 31 プラスチックハウジング ; プロセス温度  $0\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )、CSA C/US 認定取得

- P1 =  $T_p: 0\text{ }^{\circ}\text{C} (+32\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C} (+169\text{ }^{\circ}\text{F})$
- P2 =  $T_p: +76\text{ }^{\circ}\text{C} (+169\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C} (+169\text{ }^{\circ}\text{F})$
- P3 =  $T_p: +150\text{ }^{\circ}\text{C} (+302\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: +25\text{ }^{\circ}\text{C} (+77\text{ }^{\circ}\text{F})$
- P4 =  $T_p: +150\text{ }^{\circ}\text{C} (+302\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: 0\text{ }^{\circ}\text{C} (+32\text{ }^{\circ}\text{F})$
- P5 =  $T_p: 0\text{ }^{\circ}\text{C} (+32\text{ }^{\circ}\text{F})$  |  $T_a: 0\text{ }^{\circ}\text{C} (+32\text{ }^{\circ}\text{F})$



**プラスチックハウジング ; プロセス温度 -20~+200 °C (-4~+392 °F)**



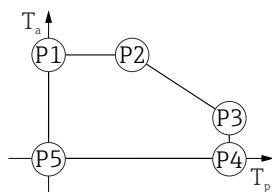
A0032024

図 32 プラスチックハウジング ; プロセス温度 -20~+200 °C (-4~+392 °F)

- P1 =  $T_p$ : -20 °C (-4 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +27 °C (+81 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : -20 °C (-4 °F)
- P5 =  $T_p$ : -20 °C (-4 °F) |  $T_a$ : -20 °C (-4 °F)

**i** プラスチックハウジングを備えた、CSA C/US 認定機器の場合、選択可能なプロセス温度 -20~+200 °C (-4~+392 °F) は 0~+200 °C (+32~+392 °F) に制限されません。

**CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジングの場合はプロセス温度 0~+200 °C (+32~+392 °F) に制限**

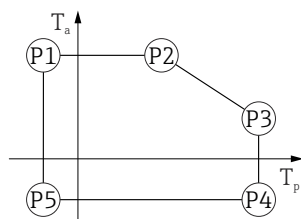


A0048826

図 33 プラスチックハウジング ; プロセス温度 0~+200 °C (+32~+392 °F)、CSA C/US 認定取得

- P1 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +27 °C (+81 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)
- P5 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)

**プラスチックハウジング ; プロセス温度 -40~+150 °C (-40~+302 °F)**



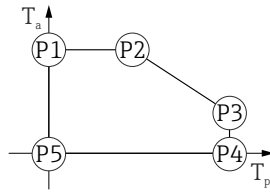
A0032024

図 34 プラスチックハウジング ; プロセス温度 -40~+150 °C (-40~+302 °F)

- P1 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : +25 °C (+77 °F)
- P4 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P5 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)

**i** プラスチックハウジングを備えた、CSA C/US 認定機器の場合、選択可能なプロセス温度 -40~+150 °C (-40~+302 °F) は 0~+150 °C (+32~+302 °F) に制限されません。

**CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジングの場合はプロセス温度 0~+150 °C (+32~+302 °F) に制限**

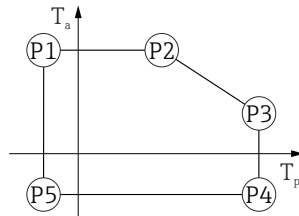


A0048826

☑ 35 プラスチックハウジング ; プロセス温度 0~+150 °C (+32~+302 °F)、CSA C/US 認定取得

- P1 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : +25 °C (+77 °F)
- P4 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)
- P5 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)

**プラスチックハウジング ; プロセス温度 -40~+200 °C (-40~+392 °F)**



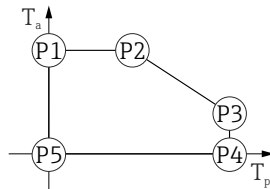
A0032024

☑ 36 プラスチックハウジング ; プロセス温度 -40~+200 °C (-40~+392 °F)

- P1 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +27 °C (+81 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P5 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)

**i** プラスチックハウジングを備えた、CSA C/US 認定機器の場合、選択可能なプロセス温度 -40~+200 °C (-40~+392 °F) は 0~+200 °C (+32~+392 °F) に制限されません。

**CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジングの場合はプロセス温度 0~+200 °C (+32~+392 °F) に制限**

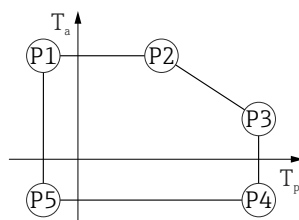


A0048826

☑ 37 プラスチックハウジング ; プロセス温度 0~+200 °C (+32~+392 °F)、CSA C/US 認定取得

- P1 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +27 °C (+81 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)
- P5 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)

**プラスチックハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ )**



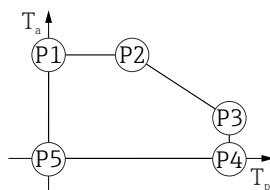
A0032024

図 38 プラスチックハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

- P1 =  $T_p: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P2 =  $T_p: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P3 =  $T_p: +280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +48\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+118\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P4 =  $T_p: +280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P5 =  $T_p: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

**i** プラスチックハウジングを備えた CSA C/US 認定機器の場合、選択可能なプロセス温度  $-40\sim+280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) は  $0\sim+280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\sim+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) に制限されま

**CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジングの場合はプロセス温度  $0\sim+280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\sim+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) に制限**

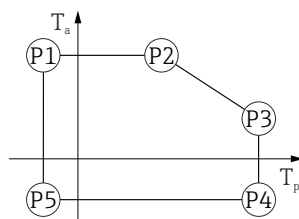


A0048826

図 39 プラスチックハウジング ; プロセス温度  $0\sim+280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\sim+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ )、CSA C/US 認定取得

- P1 =  $T_p: 0\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P2 =  $T_p: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P3 =  $T_p: +280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +48\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+118\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P4 =  $T_p: +280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: 0\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P5 =  $T_p: 0\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: 0\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

**プラスチックハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+450\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+842\text{ }^{\circ}\text{F}$ )**



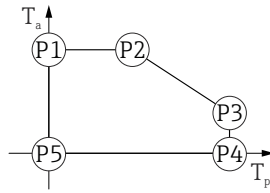
A0032024

図 40 プラスチックハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+450\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+842\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

- P1 =  $T_p: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P2 =  $T_p: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +76\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+169\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P3 =  $T_p: +450\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+842\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +20\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+68\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P4 =  $T_p: +450\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+842\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P5 =  $T_p: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

**i** プラスチックハウジングを備えた CSA C/US 認定機器の場合、選択可能なプロセス温度  $-40\sim+450\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+842\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) は  $0\sim+450\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+32\sim+842\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) に制限されま

**CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジングの場合はプロセス温度 0~+450 °C (+32~+842 °F) に制限**

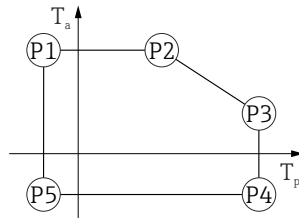


A0048826

図 41 プラスチックハウジング ; プロセス温度 0~+450 °C (+32~+842 °F)、CSA C/US 認定取得

- P1 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +450 °C (+842 °F) |  $T_a$ : +20 °C (+68 °F)
- P4 =  $T_p$ : +450 °C (+842 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)
- P5 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)

**プラスチックハウジング ; プロセス温度 -60~+150 °C (-76~+302 °F)**



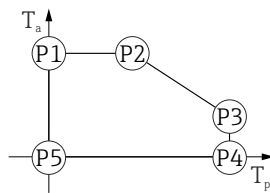
A0032024

図 42 プラスチックハウジング ; プロセス温度 -60~+150 °C (-76~+302 °F)

- P1 =  $T_p$ : -60 °C (-76 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : +25 °C (+77 °F)
- P4 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : -60 °C (-76 °F)
- P5 =  $T_p$ : -60 °C (-76 °F) |  $T_a$ : -60 °C (-76 °F)

**i** プラスチックハウジングを備えた CSA C/US 認定機器の場合、選択可能なプロセス温度 -60~+150 °C (-76~+302 °F) は 0~+150 °C (+32~+302 °F) に制限されます。

**CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジングの場合はプロセス温度 0~+150 °C (+32~+302 °F) に制限**

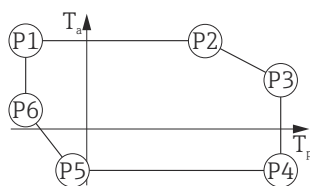


A0048826

図 43 プラスチックハウジング ; プロセス温度 0~+150 °C (+32~+302 °F)、CSA C/US 認定取得

- P1 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : +25 °C (+77 °F)
- P4 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)
- P5 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)

**プラスチックハウジング ; プロセス温度 -196~+200 °C (-320~+392 °F)**



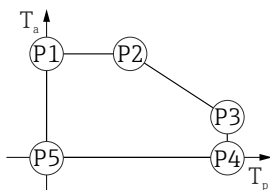
A0050248

図 44 プラスチックハウジング ; プロセス温度 -196~+200 °C (-320~+392 °F)

- P1 =  $T_p$ : -196 °C (-320 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +27 °C (+81 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P5 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P6 =  $T_p$ : -196 °C (-320 °F) |  $T_a$ : +30 °C (+86 °F)

**i** プラスチックハウジングを備えた CSA C/US 認定機器の場合、選択可能なプロセス温度 -196~+200 °C (-320~+392 °F) は 0~+200 °C (+32~+392 °F) に制限されます。

**CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジングの場合はプロセス温度 0~+200 °C (+32~+392 °F) に制限**



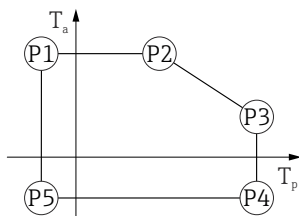
A0048826

図 45 CSA C/US 認定取得およびプラスチックハウジング ; プロセス温度 0~+200 °C (+32~+392 °F)

- P1 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +27 °C (+81 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)
- P5 =  $T_p$ : 0 °C (+32 °F) |  $T_a$ : 0 °C (+32 °F)

**アルミニウムハウジング、コーティング**

**アルミニウムハウジング ; プロセス温度 -20~+150 °C (-4~+302 °F)**

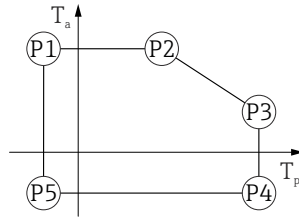


A0032024

図 46 アルミニウムハウジング ; コーティング ; プロセス温度 -20~+150 °C (-4~+302 °F)

- P1 =  $T_p$ : -20 °C (-4 °F) |  $T_a$ : +79 °C (+174 °F)
- P2 =  $T_p$ : +79 °C (+174 °F) |  $T_a$ : +79 °C (+174 °F)
- P3 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : +53 °C (+127 °F)
- P4 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : -20 °C (-4 °F)
- P5 =  $T_p$ : -20 °C (-4 °F) |  $T_a$ : -20 °C (-4 °F)

アルミニウムハウジング ; プロセス温度  $-20\sim+200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\sim+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

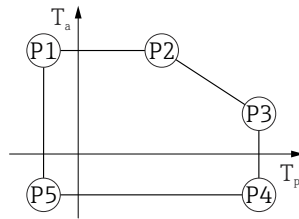


A0032024

図 47 アルミニウムハウジング ; コーティング ; プロセス温度  $-20\sim+200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\sim+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

- P1 =  $T_p: -20\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P2 =  $T_p: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P3 =  $T_p: +200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +47\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+117\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P4 =  $T_p: +200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -20\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P5 =  $T_p: -20\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -20\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-4\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

アルミニウムハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

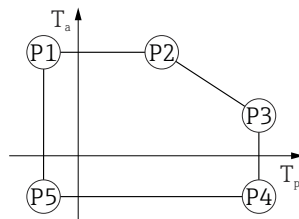


A0032024

図 48 アルミニウムハウジング ; コーティング ; プロセス温度  $-40\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

- P1 =  $T_p: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P2 =  $T_p: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P3 =  $T_p: +150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +53\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+127\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P4 =  $T_p: +150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P5 =  $T_p: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

アルミニウムハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ )



A0032024

図 49 アルミニウムハウジング ; コーティング ; プロセス温度  $-40\sim+200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

- P1 =  $T_p: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P2 =  $T_p: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +79\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+174\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P3 =  $T_p: +200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: +47\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+117\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P4 =  $T_p: +200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- P5 =  $T_p: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ ) |  $T_a: -40\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

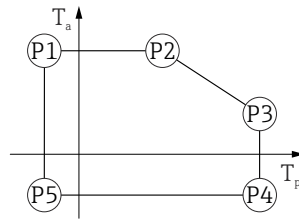
アルミニウムハウジング ; プロセス温度  $-40 \sim +280 \text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40 \sim +536 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

図 50 アルミニウムハウジング ; コーティング ; プロセス温度  $-40 \sim +280 \text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40 \sim +536 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

P1	=	$T_p$ : $-40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P2	=	$T_p$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P3	=	$T_p$ : $+280 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+536 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+59 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+138 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P4	=	$T_p$ : $+280 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+536 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $-40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P5	=	$T_p$ : $-40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $-40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

A0032024

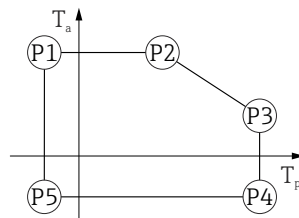
アルミニウムハウジング ; プロセス温度  $-40 \sim +450 \text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40 \sim +842 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

図 51 アルミニウムハウジング ; コーティング ; プロセス温度  $-40 \sim +450 \text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40 \sim +842 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

P1	=	$T_p$ : $-40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P2	=	$T_p$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P3	=	$T_p$ : $+450 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+842 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+39 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+102 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P4	=	$T_p$ : $+450 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+842 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $-40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P5	=	$T_p$ : $-40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $-40 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

A0032024

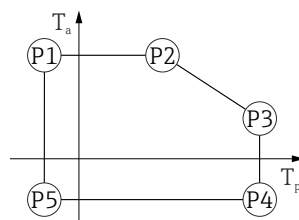
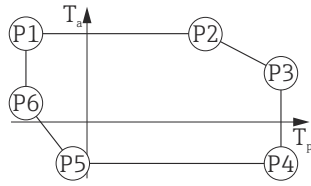
アルミニウムハウジング ; プロセス温度  $-60 \sim +150 \text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-76 \sim +302 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

図 52 アルミニウムハウジング ; コーティング ; プロセス温度  $-60 \sim +150 \text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-76 \sim +302 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

P1	=	$T_p$ : $-60 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-76 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P2	=	$T_p$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+79 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+174 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P3	=	$T_p$ : $+150 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+302 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $+53 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+127 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P4	=	$T_p$ : $+150 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+302 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $-60 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-76 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P5	=	$T_p$ : $-60 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-76 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$ : $-60 \text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-76 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )

A0032024

**アルミニウムハウジング ; プロセス温度 -196~+200 °C (-320~+392 °F)**



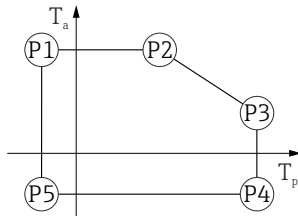
A0050248

図 53 アルミニウムハウジング ; コーティング ; プロセス温度 -196~+200 °C (-320~+392 °F)

- P1 =  $T_p$ : -196 °C (-320 °F) |  $T_a$ : +79 °C (+174 °F)
- P2 =  $T_p$ : +79 °C (+174 °F) |  $T_a$ : +79 °C (+174 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +47 °C (+117 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P5 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P6 =  $T_p$ : -196 °C (-320 °F) |  $T_a$ : +7 °C (+45 °F)

**SUS 316L 相当製ハウジング**

**SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -20~+150 °C (-4~+302 °F)**

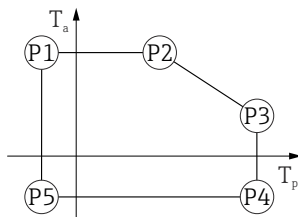


A0032024

図 54 SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -20~+150 °C (-4~+302 °F)

- P1 =  $T_p$ : -20 °C (-4 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P2 =  $T_p$ : +77 °C (+171 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P3 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : +43 °C (+109 °F)
- P4 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : -20 °C (-4 °F)
- P5 =  $T_p$ : -20 °C (-4 °F) |  $T_a$ : -20 °C (-4 °F)

**SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -20~+200 °C (-4~+392 °F)**



A0032024

図 55 SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -20~+200 °C (-4~+392 °F)

- P1 =  $T_p$ : -20 °C (-4 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P2 =  $T_p$ : +77 °C (+171 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +38 °C (+100 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : -20 °C (-4 °F)
- P5 =  $T_p$ : -20 °C (-4 °F) |  $T_a$ : -20 °C (-4 °F)



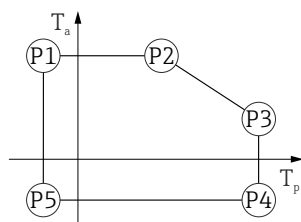
SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

図 56 SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度範囲 :  $-40\sim+150\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

P1	=	$T_p$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P2	=	$T_p$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P3	=	$T_p$	:	$+150\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+43\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+109\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P4	=	$T_p$	:	$+150\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+302\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P5	=	$T_p$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

A0032024

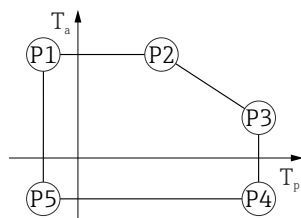
SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

図 57 SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+200\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

P1	=	$T_p$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P2	=	$T_p$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P3	=	$T_p$	:	$+200\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+38\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+100\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P4	=	$T_p$	:	$+200\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+392\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P5	=	$T_p$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

A0032024

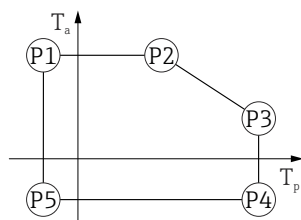
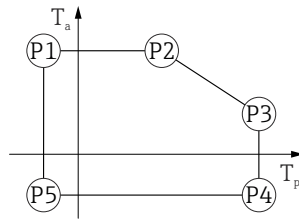
SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

図 58 SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度  $-40\sim+280\text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-40\sim+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

P1	=	$T_p$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P2	=	$T_p$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+77\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+171\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P3	=	$T_p$	:	$+280\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$+54\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+129\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P4	=	$T_p$	:	$+280\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $+536\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )
P5	=	$T_p$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )		$T_a$	:	$-40\text{ }^{\circ}\text{C}$ ( $-40\text{ }^{\circ}\text{F}$ )

A0032024

**SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -40~+450 °C (-40~+842 °F)**

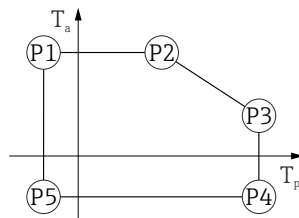


A0032024

☒ 59 SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -40~+450 °C (-40~+842 °F)

- P1 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P2 =  $T_p$ : +77 °C (+171 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P3 =  $T_p$ : +450 °C (+842 °F) |  $T_a$ : +31 °C (+88 °F)
- P4 =  $T_p$ : +450 °C (+842 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P5 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)

**SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -60~+150 °C (-76~+302 °F)**

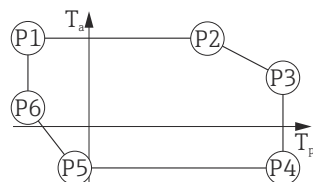


A0032024

☒ 60 SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -60~+150 °C (-76~+302 °F)

- P1 =  $T_p$ : -60 °C (-76 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P2 =  $T_p$ : +77 °C (+171 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P3 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : +43 °C (+109 °F)
- P4 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : -60 °C (-76 °F)
- P5 =  $T_p$ : -60 °C (-76 °F) |  $T_a$ : -60 °C (-76 °F)

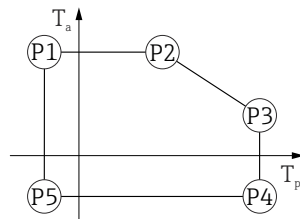
**SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -196~+200 °C (-320~+392 °F)**



A0050248

☒ 61 SUS 316L 相当製ハウジング ; プロセス温度 -196~+200 °C (-320~+392 °F)

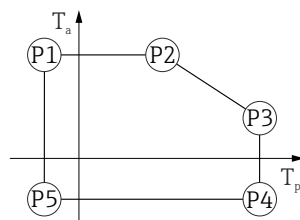
- P1 =  $T_p$ : -196 °C (-320 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P2 =  $T_p$ : +77 °C (+171 °F) |  $T_a$ : +77 °C (+171 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +38 °C (+100 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P5 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P6 =  $T_p$ : -196 °C (-320 °F) |  $T_a$ : +17 °C (+63 °F)

**SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様****SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様 ; プロセス温度  
-20~+150 °C (-4~+302 °F)**

A0032024

図 62 SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様 ; プロセス温度 -20~+150 °C (-4~+302 °F)

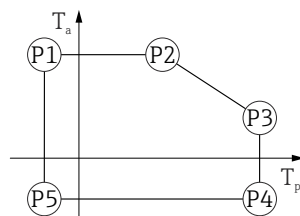
P1	=	$T_p$ : -20 °C (-4 °F)		$T_a$ : +76 °C (+169 °F)
P2	=	$T_p$ : +76 °C (+169 °F)		$T_a$ : +76 °C (+169 °F)
P3	=	$T_p$ : +150 °C (+302 °F)		$T_a$ : +41 °C (+106 °F)
P4	=	$T_p$ : +150 °C (+302 °F)		$T_a$ : -20 °C (-4 °F)
P5	=	$T_p$ : -20 °C (-4 °F)		$T_a$ : -20 °C (-4 °F)

**SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様 ; プロセス温度  
-20~+200 °C (-4~+392 °F)**

A0032024

図 63 SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様 ; プロセス温度 -20~+200 °C (-4~+392 °F)

P1	=	$T_p$ : -20 °C (-4 °F)		$T_a$ : +76 °C (+169 °F)
P2	=	$T_p$ : +76 °C (+169 °F)		$T_a$ : +76 °C (+169 °F)
P3	=	$T_p$ : +200 °C (+392 °F)		$T_a$ : +32 °C (+90 °F)
P4	=	$T_p$ : +200 °C (+392 °F)		$T_a$ : -20 °C (-4 °F)
P5	=	$T_p$ : -20 °C (-4 °F)		$T_a$ : -20 °C (-4 °F)

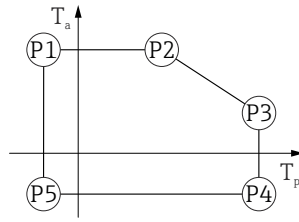
**SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様 ; プロセス温度  
-40~+150 °C (-40~+302 °F)**

A0032024

図 64 SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様 ; プロセス温度範囲 : -40~+150 °C (-40~+302 °F)

P1	=	$T_p$ : -40 °C (-40 °F)		$T_a$ : +76 °C (+169 °F)
P2	=	$T_p$ : +76 °C (+169 °F)		$T_a$ : +76 °C (+169 °F)
P3	=	$T_p$ : +150 °C (+302 °F)		$T_a$ : +41 °C (+106 °F)
P4	=	$T_p$ : +150 °C (+302 °F)		$T_a$ : -40 °C (-40 °F)
P5	=	$T_p$ : -40 °C (-40 °F)		$T_a$ : -40 °C (-40 °F)

**SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様；プロセス温度  
-40~+200 °C (-40~+392 °F)**

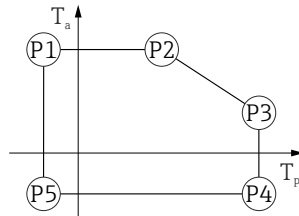


A0032024

☐ 65 SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様；プロセス温度 -40~+200 °C (-40~+392 °F)

- P1 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +32 °C (+90 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P5 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)

**SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様；プロセス温度  
-60~+150 °C (-76~+302 °F)**

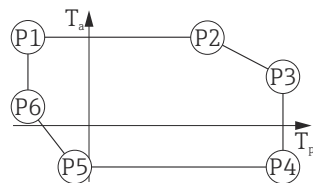


A0050248

☐ 66 SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様；プロセス温度 -60~+150 °C (-76~+302 °F)

- P1 =  $T_p$ : -60 °C (-76 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : +41 °C (+106 °F)
- P4 =  $T_p$ : +150 °C (+302 °F) |  $T_a$ : -60 °C (-76 °F)
- P5 =  $T_p$ : -60 °C (-76 °F) |  $T_a$ : -60 °C (-76 °F)

**SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様；プロセス温度  
-196~+200 °C (-320~+392 °F)**



A0050248

☐ 67 SUS 316L 相当製ハウジング、サニタリ仕様；プロセス温度 -196~+200 °C (-320~+392 °F)

- P1 =  $T_p$ : -196 °C (-320 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P2 =  $T_p$ : +76 °C (+169 °F) |  $T_a$ : +76 °C (+169 °F)
- P3 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : +32 °C (+90 °F)
- P4 =  $T_p$ : +200 °C (+392 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P5 =  $T_p$ : -40 °C (-40 °F) |  $T_a$ : -40 °C (-40 °F)
- P6 =  $T_p$ : -196 °C (-320 °F) |  $T_a$ : +32 °C (+90 °F)

保管温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 液晶ディスプレイなし： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 標準：-40～+90 °C (-40～+194 °F)</li> <li>■ オプションとして使用可能：-60～+90 °C (-76～+194 °F)、稼働寿命および性能に制約あり；-50 °C (-58 °F) 未満：耐圧防爆機器が永続的な損傷を受ける可能性あり</li> </ul> </li> <li>■ 液晶ディスプレイあり：-40～+85 °C (-40～+185 °F)</li> </ul>
気候クラス	DIN EN 60068-2-38 (試験 Z/AD)
設置高さは IEC61010-1 Ed.3 に準拠	通常は、海拔 5 000 m (16 404 ft) 以下
保護等級	IEC 60529 および NEMA 250 に準拠した試験
	<p><b>ハウジング</b></p> <p>IP66/68、NEMA Type 4X/6P</p> <p>IP68 試験条件：水中 1.83 m で 24 時間</p> <p><b>電線口</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ M20 カップリング、プラスチック、IP66/68 NEMA Type 4X/6P</li> <li>■ M20 カップリング、ニッケルめっき真鍮、IP66/68 NEMA Type 4X/6P</li> <li>■ M20 カップリング、SUS 316L 相当、IP66/68 NEMA Type 4X/6P</li> <li>■ M20 カップリング、サニタリ仕様、IP66/68/69 NEMA Type 4X/6P</li> <li>■ M20 ネジ、IP66/68 NEMA Type 4X/6P</li> <li>■ G ½ ネジ、IP66/68 NEMA Type 4X/6P</li> <li>■ G ½ ネジを選択した場合、機器には M20 ネジが標準装備され、M20 - G ½ アダプタと関連資料が付属します。</li> <li>■ NPT ½ ネジ、IP66/68 NEMA Type 4X/6P</li> <li>■ M12 プラグ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ハウジング閉鎖および接続ケーブルの接続時：IP66/67 NEMA Type 4X</li> <li>■ ハウジング開放または接続ケーブルの非接続時：IP20, NEMA Type 1</li> </ul> </li> </ul> <p><b>注記</b></p> <p><b>M12 プラグ：不適切な設置により、IP 保護等級が失われる場合があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 保護等級は、使用する接続ケーブルを接続し、ネジをしっかりと締め付けている場合にのみ有効です。</li> <li>▶ 保護等級は、使用する接続ケーブルの仕様が IP67 NEMA Type 4X に準拠している場合にのみ有効です。</li> <li>▶ 保護等級は、ダミーキャップを使用するか、またはケーブルを接続している場合にのみ保証されます。</li> </ul>
耐振動性	DIN EN 60068-2-64 / IEC 60068-2-64、5～2 000 Hz : 1.25 (m/s <sup>2</sup> ) <sup>2</sup> /Hz
電磁適合性 (EMC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ EN 61326 シリーズおよび NAMUR 推奨 EMC (NE21) に準拠した電磁適合性</li> <li>■ EMC 試験中の最大測定誤差：電流のデジタル測定値の 0.5 % 未満</li> </ul> <p>詳細については、EU 適合宣言を参照してください。</p>

## 15.4 プロセス

### プロセス圧力範囲




**機器の最高圧力は、圧力に関する最も弱い要素に応じて異なります（構成要素：プロセス接続、取付部品またはアクセサリ（オプション））。**


- ▶ 各要素の規定の制限を遵守して機器を使用してください。
- ▶ **MWP（最高動作圧力）**：MWP は銘板に明記されています。この値は基準温度 +20 °C (+68 °F) に基づいており、機器への適用期間に制限はありません。MWP の温度依存性に注意してください。フランジに対してこれよりも高温で許容される圧力値については、規格 EN 1092-1（安定温度特性については、材質 1.4435 と 1.4404 は EN 1092-1 では同じグループに分類されます。したがって、この 2 つの材質の化学組成は同一とみなすことができます）、ASME B16.5、JIS B2220 を参照してください（それぞれ最新版の規格が適用されます）。この値とは異なる MWP のデータについては、技術仕様書の該当セクションに記載されています。
- ▶ 欧州圧力機器指令（2014/68/EU）では、略語「**PS**」が使用されます。これは機器の最高動作圧力（MWP）に相当します。

以下の表は、使用するアンテナに対して選択可能な各プロセス接続のシール材質、プロセス温度 ( $T_p$ )、プロセス圧力範囲の依存関係を示します。

### ホーンアンテナ 65 mm (2.6 in)

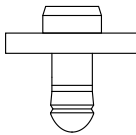
#### プロセス接続標準フランジ


	シール	$T_p$	プロセス圧力範囲
 A0047836	グラファイト	-40~+280 °C (-40~+536 °F)	-0.1~16 MPa (-14.5~2320.6 psi)
	グラファイト	-40~+450 °C (-40~+842 °F)	-0.1~16 MPa (-14.5~2320.6 psi)
	グラファイト	-196~+200 °C (-320~+392 °F)	-0.1~16 MPa (-14.5~2320.6 psi)

 CRN 認定を取得した場合、圧力範囲はさらに制限される可能性があります。

### ドリップオフアンテナ 50 mm (2 in)

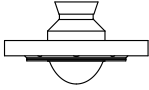
#### プロセス接続フランジ


	シール	$T_p$	プロセス圧力範囲
 A0047953	FKM バイトン GLT	-40~+150 °C (-40~+302 °F)	-0.1~1.6 MPa (-14.5~232 psi)
	FKM バイトン GLT	-40~+200 °C (-40~+392 °F)	-0.1~1.6 MPa (-14.5~232 psi)
	EPDM	-40~+150 °C (-40~+302 °F)	-0.1~1.6 MPa (-14.5~232 psi)
	HNBR	-20~+150 °C (-4~+302 °F)	-0.1~1.6 MPa (-14.5~232 psi)
	FFKM カルレッツ	-20~+150 °C (-4~+302 °F)	-0.1~1.6 MPa (-14.5~232 psi)
	FFKM カルレッツ	-20~+200 °C (-4~+392 °F)	-0.1~1.6 MPa (-14.5~232 psi)

 CRN 認定を取得した場合、圧力範囲はさらに制限される可能性があります。

## PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、50 mm (2 in)

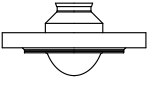
## プロセス接続フランジ ASME、EN1092-1、JIS B2220

	シール	T <sub>p</sub>	プロセス圧力範囲
 A0047824	PTFE 被覆	-40～+150 °C (-40～+302 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 被覆	-40～+200 °C (-40～+392 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 被覆	-60～+150 °C (-76～+302 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 被覆	-196～+200 °C (-320～+392 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 被覆	蒸気アプリケーション -20～+150 °C (-4～+302 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 被覆	蒸気アプリケーション -20～+200 °C (-4～+392 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)


 CRN 認定を取得した場合、圧力範囲はさらに制限される可能性があります。

## PTFE 外装付フラッシュマウントアンテナ、80 mm (3 in)

## プロセス接続フランジ ASME、EN1092-1、JIS B2220

	シール	T <sub>p</sub>	プロセス圧力範囲 <sup>1)</sup>
 A0047835	PTFE 外装付	-40～+150 °C (-40～+302 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 外装付	-40～+200 °C (-40～+392 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 外装付	-60～+150 °C (-76～+302 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 外装付	-196～+200 °C (-320～+392 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 外装付	蒸気アプリケーション -20～+150 °C (-4～+302 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)
	PTFE 外装付	蒸気アプリケーション -20～+200 °C (-4～+392 °F)	-0.1～2.5 MPa (-14.5～362.6 psi)

1) プロセス圧力範囲は、プロセス温度 >+100 °C (+212 °F)、フランジ ≥ DN150/6"/150A の場合、0～2.5 MPa (0～362.6 psi) に制限されます。

 CRN 認定を取得した場合、圧力範囲はさらに制限される可能性があります。

## 比誘電率

## 液体の場合

$$\epsilon_r \geq 1.2$$

記載された比誘電率より低いアプリケーションの場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

## 索引

## 記号

「Device ID」パラメータ	40
「ファームウェアのバージョン」パラメータ	40
「機器リビジョン」パラメータ	40
「製造者 ID」パラメータ	40
返却	64

## B

Bluetooth® ワイヤレス技術	31
--------------------	----

## C

CE マーク	9
--------	---

## D

DeviceCare	39
デバイス記述 (DD) ファイル	40

## F

FieldCare	39
機能	39
デバイス記述 (DD) ファイル	40

## P

PROFINET プロトコル	46
----------------	----

## ア

アクセスコード	30
不正な入力	30
アプリケーション	8
安全上の注意事項	
基本	8

## イ

イベントテキスト	55
イベントリスト	58
イベント履歴	58
イベントログのフィルタ処理	59

## カ

書き込みアクセス権	30
-----------	----

## キ

機器のバージョンデータ	40
機器の用途	
不適切な用途	8
不明な場合	8
機器マスターファイル	
GSD	40
機器ロック状態	51
気候クラス	93

## ケ

計測機器の用途	
指定用途を参照	

## コ

固定ねじ	23
------	----

## サ

サービスインターフェイス (CDI)	39
サービスインタフェース (CDI)	46
サイクリックデータ伝送	42
サブメニュー	
イベントリスト	58
インターフェース	36
測定値	51

## シ

システム冗長 S2	44
指定用途	8
修理コンセプト	63
診断イベント	55

## ス

ステータス信号	54
スペアパーツ	63

## セ

製品の安全性	9
設定	
プロセス条件への機器の適合	51
説明書	
目的	5

## ソ

操作	51
操作上の安全性	9
測定値の読み取り	51
測定物	8
ソフトウェアリリース	40

## テ

適合宣言	9
適用分野	
残存リスク	8
デバイス記述 (DD) ファイル	40

## ト

登録商標	6
トラブルシューティング	52

## ハ

廃棄	64
パラメータのアクセス権	
書き込みアクセス権	30
読み取りアクセス権	30

## ヒ

表示値	
ロック状態用	51
表示モジュールの回転	19

## フ

ファームウェア	
リリース日付	40



**ホ**

本説明書の目的 ..... 5

**ヨ**

要員の要件 ..... 8

読み取りアクセス権 ..... 30

**ク**

労働安全 ..... 8







[www.addresses.endress.com](http://www.addresses.endress.com)

---